
児童・生徒のより良い教育環境づくりのための
町民アンケート

－ 報告書 －

令和4年1月
和歌山県 日高川町

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 在校状況	3
2 性別構成	4
3 年齢別構成	4
4 出身地	5
5 世帯構成	6
6 同居家族	7
III 調査結果	8
1 教育環境への関心度	8
2 小・中学校の規模について	10
3 理想とする児童・生徒数、学級数	15
4 理想とする通学時間、通学方法	24
5 小・中学校の配置について	33
6 小学校の統廃合について	38
7 小学校の統廃合を進めるべきと思う理由	40
8 小学校の統廃合の進め方	42
9 現状のままでよいと思う理由	44
10 中学校の統廃合について	46
11 中学校の統廃合を進めるべきと思う理由	48
12 中学校の統廃合の進め方	50
13 現状のままでよいと思う理由	52
14 統廃合を進める場合に配慮すべき点	54
15 小・中学校が地域に果たす役割について	56
16 小・中学校と地域との関わりについて	58
17 学校規模の適正化について（自由記述回答）	60
資料 調査票	74

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、本町の小・中学校の規模の適正化を検討するに当たり、小・中学校の規模や地域との関わりについて町民の意見等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

20歳以上の町民

【調査方法】

郵送配布～郵送回収

【調査時期】

令和3年11月

【回収結果】

配布数 ----- 1,000件

有効回収数 ----- 572件

有効回収率 ----- 57.2%

【地区別回収状況】（問1回答結果より）

		構成比(%)	件数(件)
川 辺 地 区	鐘巻、土生、小熊、入野、若野、千津川、中津川(川辺西小学校)	17.0	97
	玄子、早藤、蛇尾(川辺西小学校)	6.6	38
	和佐、松瀬(和佐小学校)	13.1	75
	江川(江川小学校)	8.6	49
	山野(山野小学校)	7.5	43
	平川、三百瀬、伊藤川、藤野川(三百瀬小学校)	5.9	34
川辺地区 合計		58.7	336
中 津 地 区	船津、西原、高津尾、高津尾川、姉子、三十木、原日浦、三十井川、佐井、坂野川、大又、老星、三佐、田尻、小釜本、下田原、上田原(中津小学校)	18.4	105
中津地区 合計		18.4	105
美 山 地 区	川原河、皆瀬、熊野川下村、上の段、上越方、浅間、上初湯川、弥谷、愛川(川原河小学校)	9.1	52
	滝頭、初湯川、上初湯川(妹尾)、串本、熊野川友測、竿本(笠松小学校)	6.8	39
	寒川、串本、船原(寒川第一小学校)	3.8	22
美山地区 合計		19.8	113
無回答		3.1	18
合計		100.0	572

注：()内は通学区の小学校

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 在校状況

問2 あなたは、現在お住まいの地区の小学校に在籍しましたか。（○印1つ）

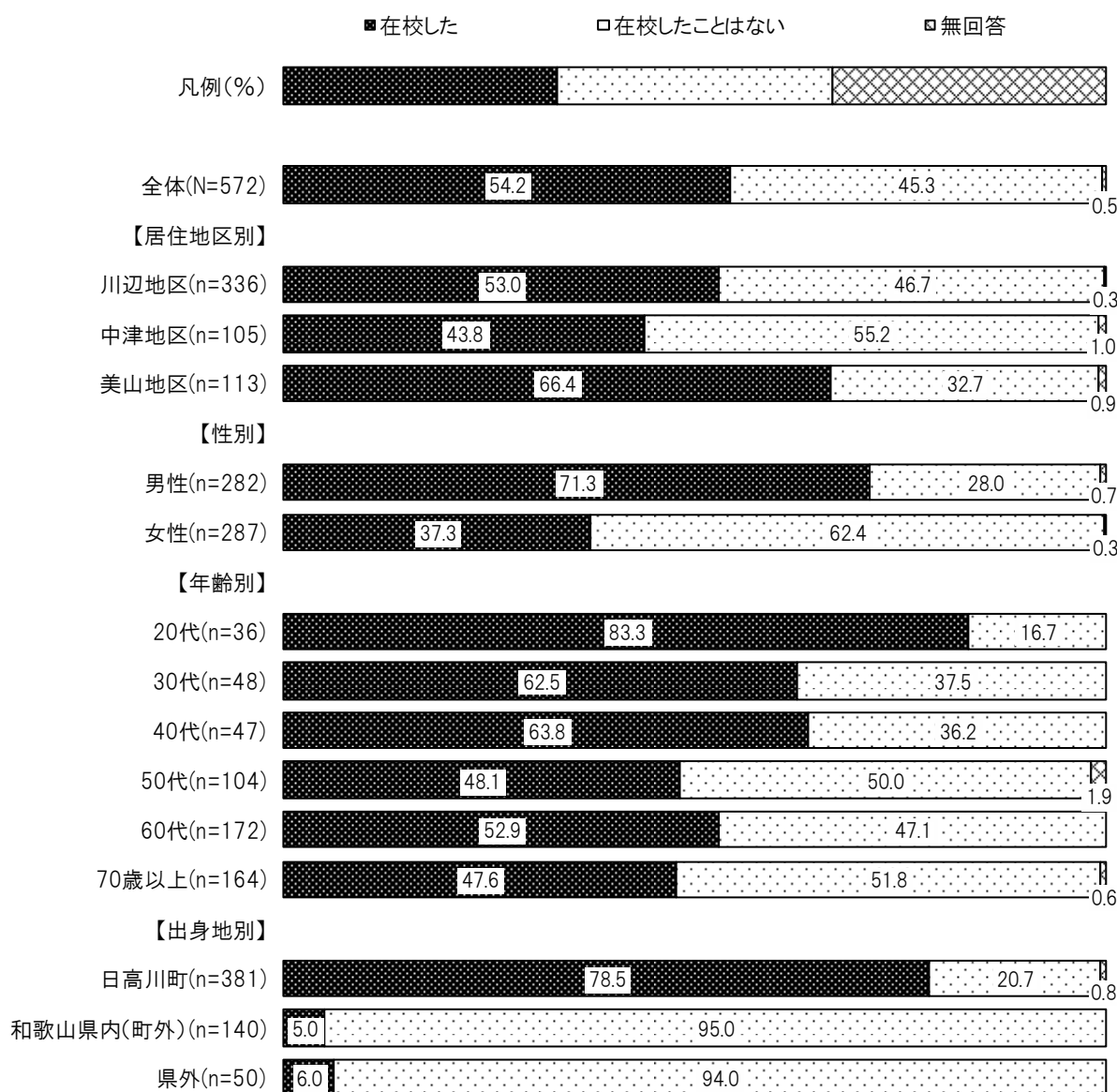
在校状況については、「在籍した」が54.2%、「在籍したことはない」が45.3%となっている。

居住地区別では、美山地区で「在籍した」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は「在籍した」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、20代で「在籍した」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

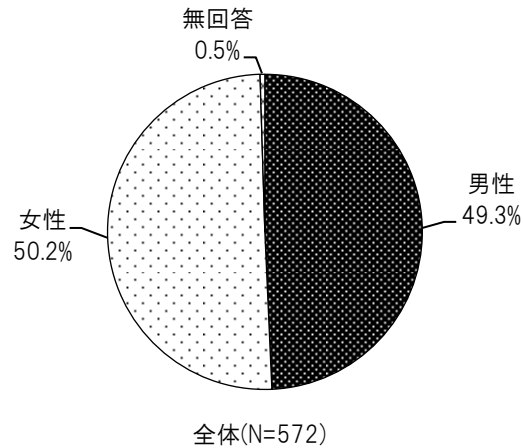
出身地別（問5）では、日高川町出身者の約8割が「在籍した」と回答している。



2 性別構成

問3 あなたの性別をお答えください。(○印1つ)

回答者の性別構成比は、「男性」が49.3%、「女性」が50.2%と、ほぼ同割合となっている。

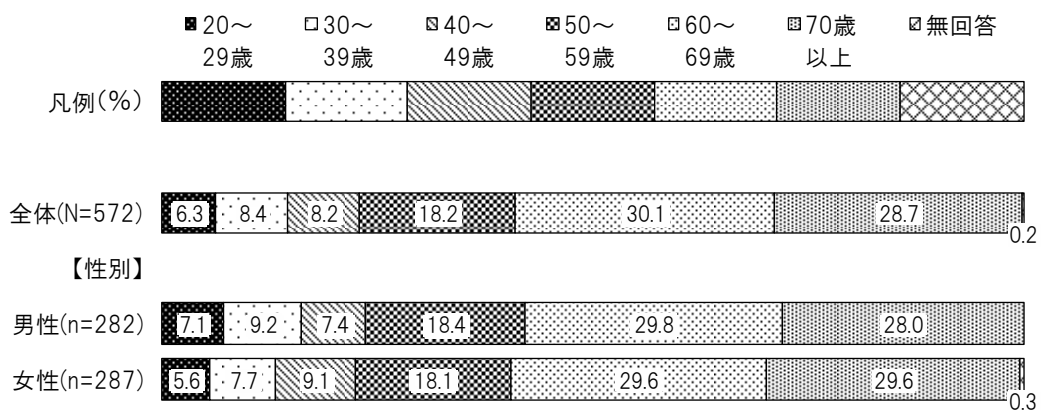


3 年齢別構成

問4 あなたの年齢をお答えください。(○印1つ)

年齢別構成は、「60～69歳」の割合が30.1%と最も高く、次いで「70歳以上」(28.7%)、「50～59歳」(18.2%)が続いており、『60歳以上(合計)』で全体の約6割(58.8%)を占めている。

性別では、大きな差はみられない。



4 出身地

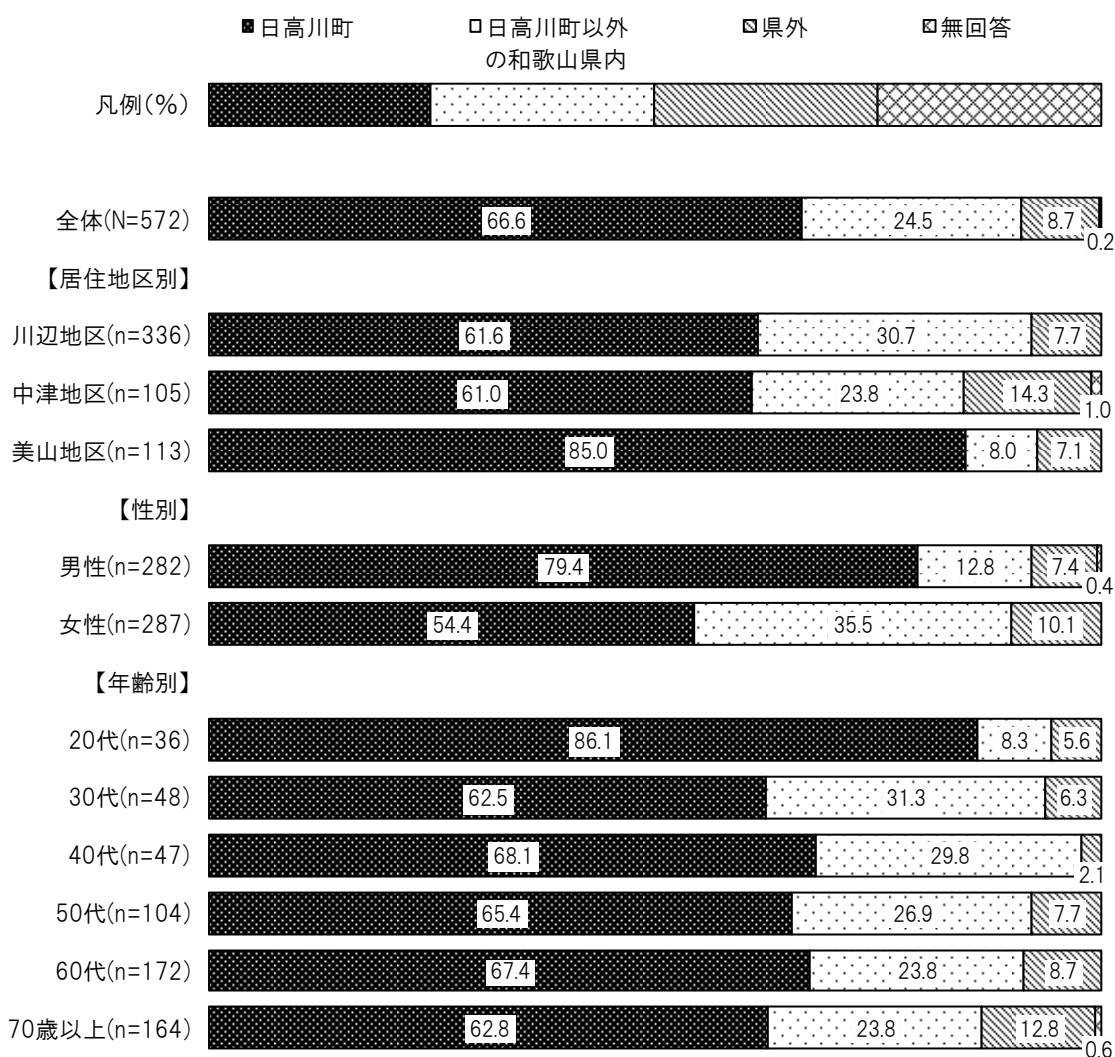
問5 あなたの出身地はどちらですか。(○印1つ)

出身地については、「日高川町」の割合が66.6%と最も高く、次いで「日高川町以外の和歌山県内」が24.5%、「県外」が8.7%となっている。

居住地区別では、美山地区で「日高川町」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は「日高川町」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「日高川町以外の和歌山県内」の割合が高くなっている。

年齢別では、20代で「日高川町」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



5 世帯構成

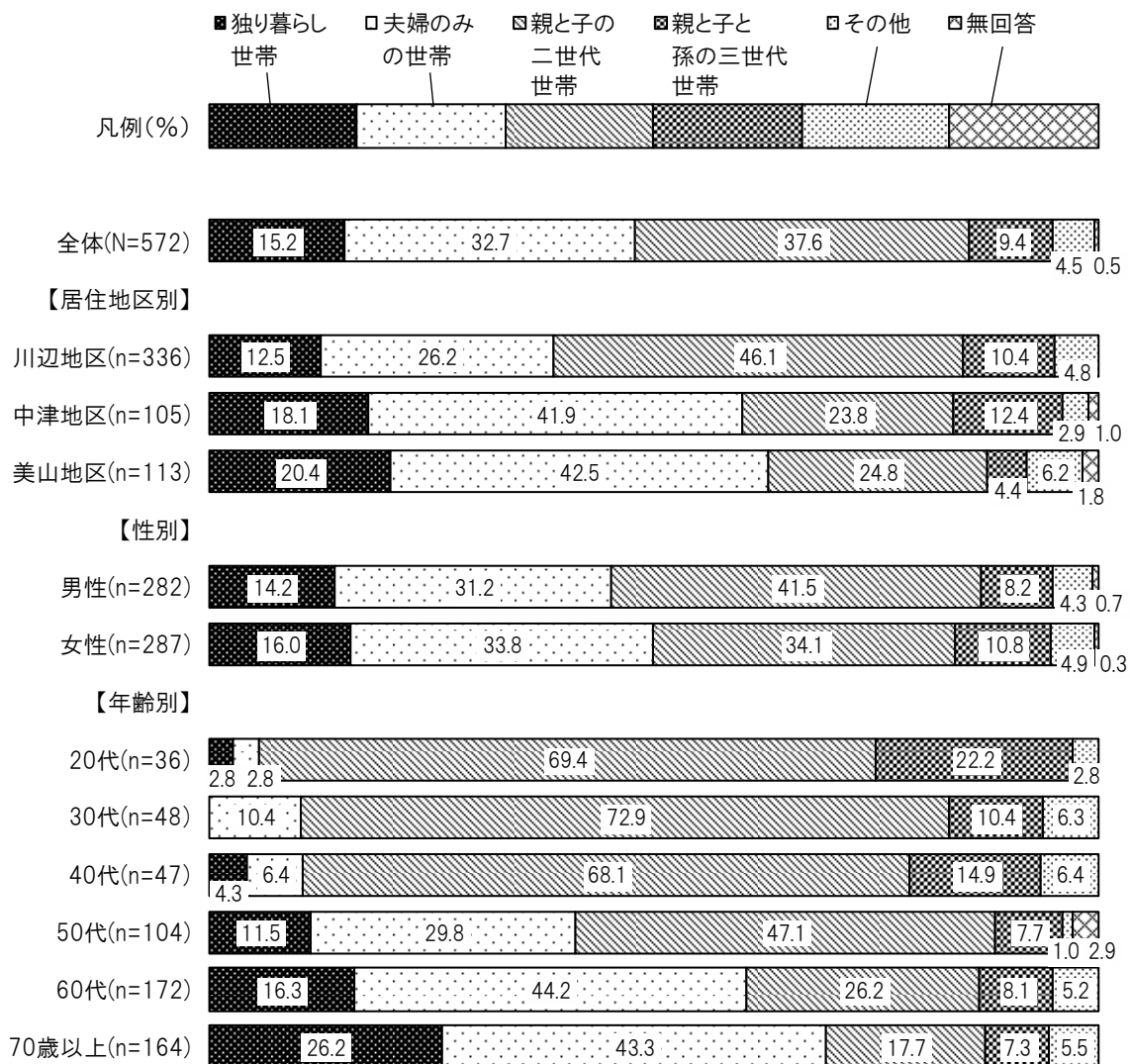
問6 あなたの世帯構成をお答えください。(○印1つ)

世帯構成については、「親と子の二世帯世帯」の割合が37.6%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」(32.7%)、「独り暮らし世帯」(15.2%)の順となっている。

居住地区別では、川辺地区で「親と子の二世帯世帯」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「親と子の二世帯世帯」の割合が高くなっている。

年齢別では、50代以上で「夫婦のみの世帯」、70歳以上で「独り暮らし世帯」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

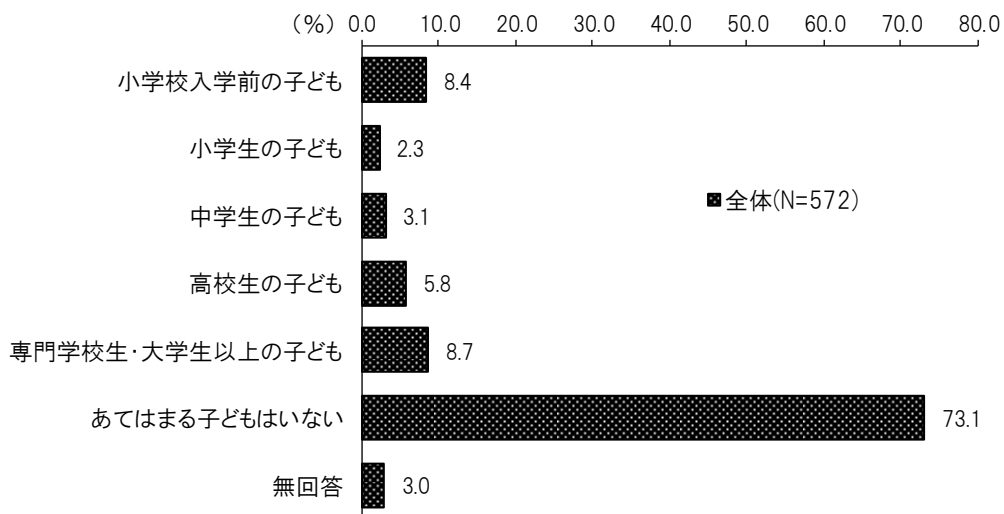


6 同居家族

問7 現在、あなたの同居家族の中に、次の方はいますか。（○印いくつでも）

同居家族については、「あてはまる子どもはいない」の割合が73.1%と最も高く、次いで「専門学校生・大学生以上の子ども」（8.7%）、「小学校入学前の子ども」（8.4%）、「高校生の子ども」（5.8%）の順となっている。

居住地区別では、川辺地区で「小学校入学前の子ども」「専門学校生・大学生以上の子ども」の割合が他の地区に比べて高くなっている。



単位 (%)	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生の子ども	高校生の子ども	専門学校生・大学生以上	あてはまる子どもはいない
全体(N=572)	8.4	2.3	3.1	5.8	8.7	73.1
【居住地区別】						
川辺地区(n=336)	11.9	2.4	4.2	7.1	11.0	66.7
中津地区(n=105)	4.8	2.9	2.9	4.8	4.8	81.9
美山地区(n=113)	0.9	1.8	0.0	2.7	5.3	85.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（居住地区別など）において最も高い割合を示している。
 （例／居住地区別の場合、最も割合が高い地区に網掛け）
 但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

Ⅲ 調査結果

1 教育環境への関心度

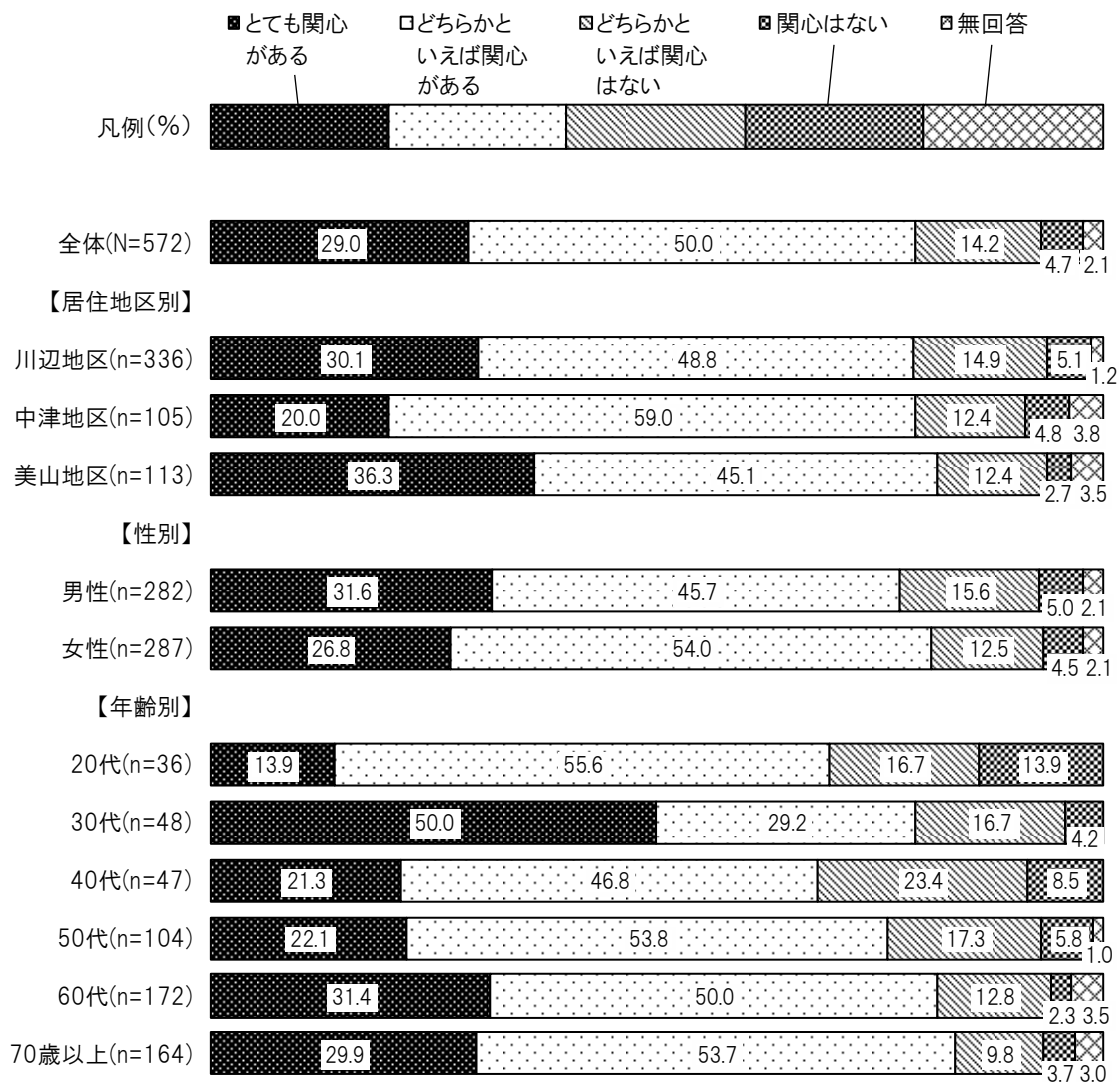
問8 あなたは、本町の小・中学校の教育や児童・生徒が育つ環境のことに関心がありますか。(○印1つ)

教育環境への関心度については、「とても関心がある」が29.0%、「どちらかといえば関心がある」が50.0%で、合計約8割(79.0%)が『関心がある』と回答している。一方、「どちらかといえば関心はない」(14.2%)、「関心はない」(4.7%)の合計は約2割(18.9%)となっている。

居住地区別では、中津地区で「とても関心がある」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

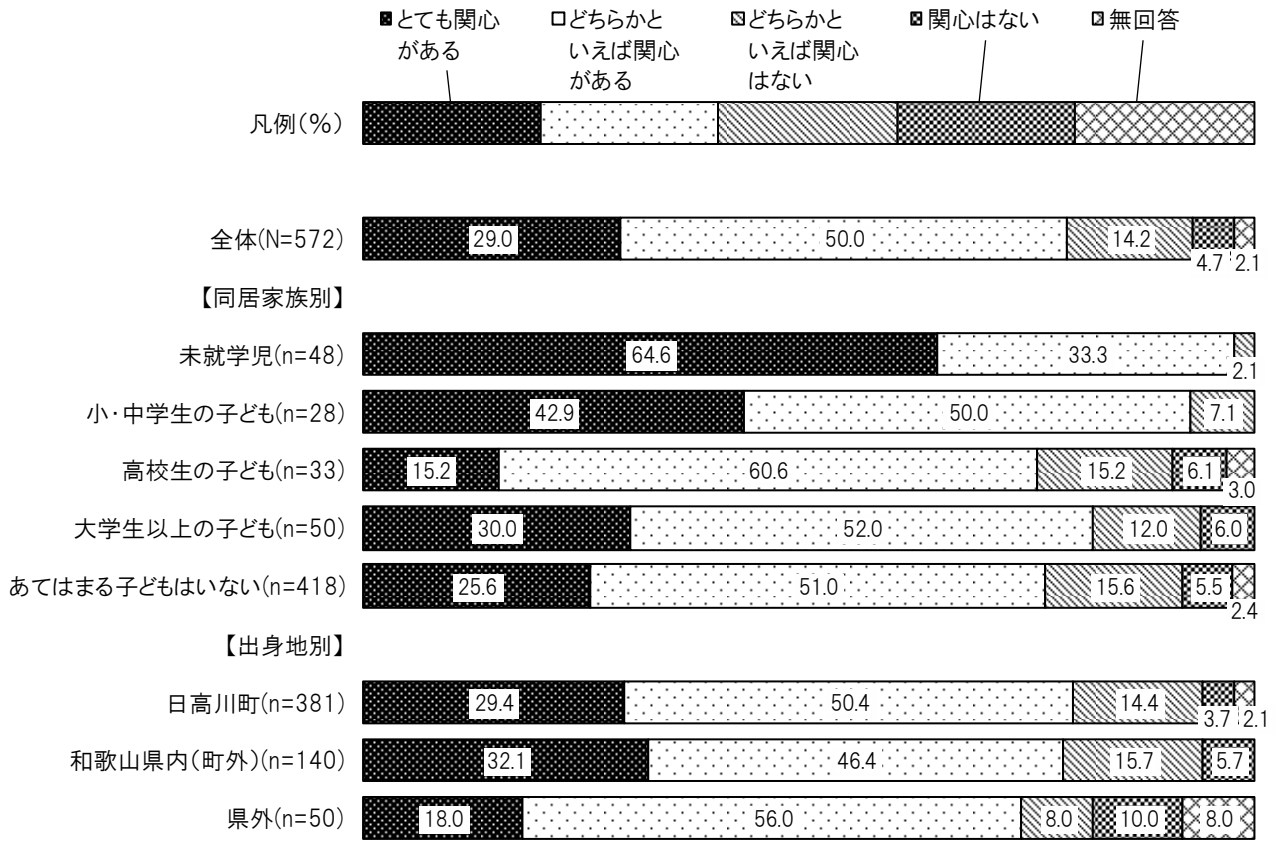
性別では、男性は女性に比べ「とても関心がある」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、30代で「とても関心がある」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



同居家族別では、未就学児で「とても関心がある」の割合が他の層を大きく上回っている。

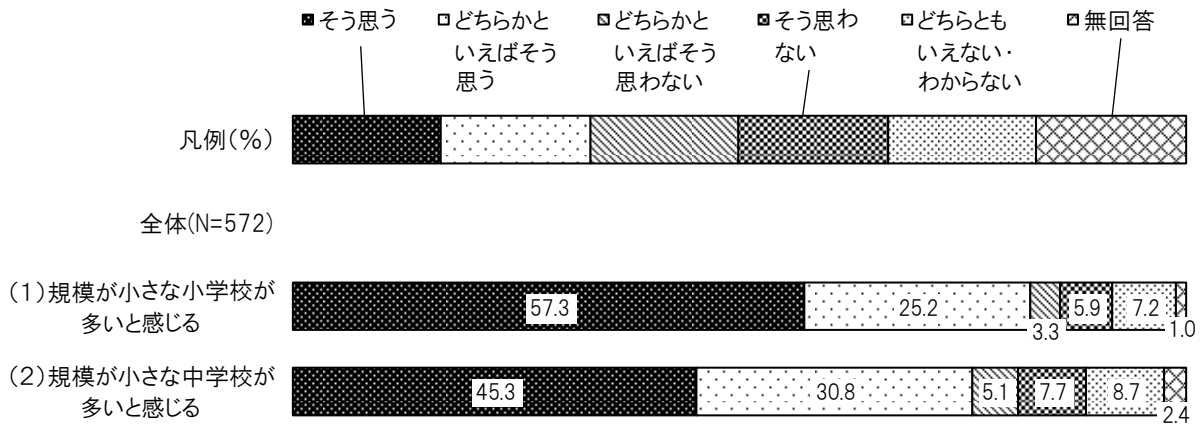
出身地別では、県外で「とても関心がある」の割合が他の層に比べて低くなっている。



2 小・中学校の規模について

問9 日高川町の小・中学校における学校数や学校の規模（児童・生徒数や学級数など）について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○印1つつつ）

小・中学校の規模について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した割合をみると、「(1) 規模が小さな小学校が多いと感じる」が82.5%、「(2) 規模が小さな中学校が多いと感じる」が76.1%となっている。

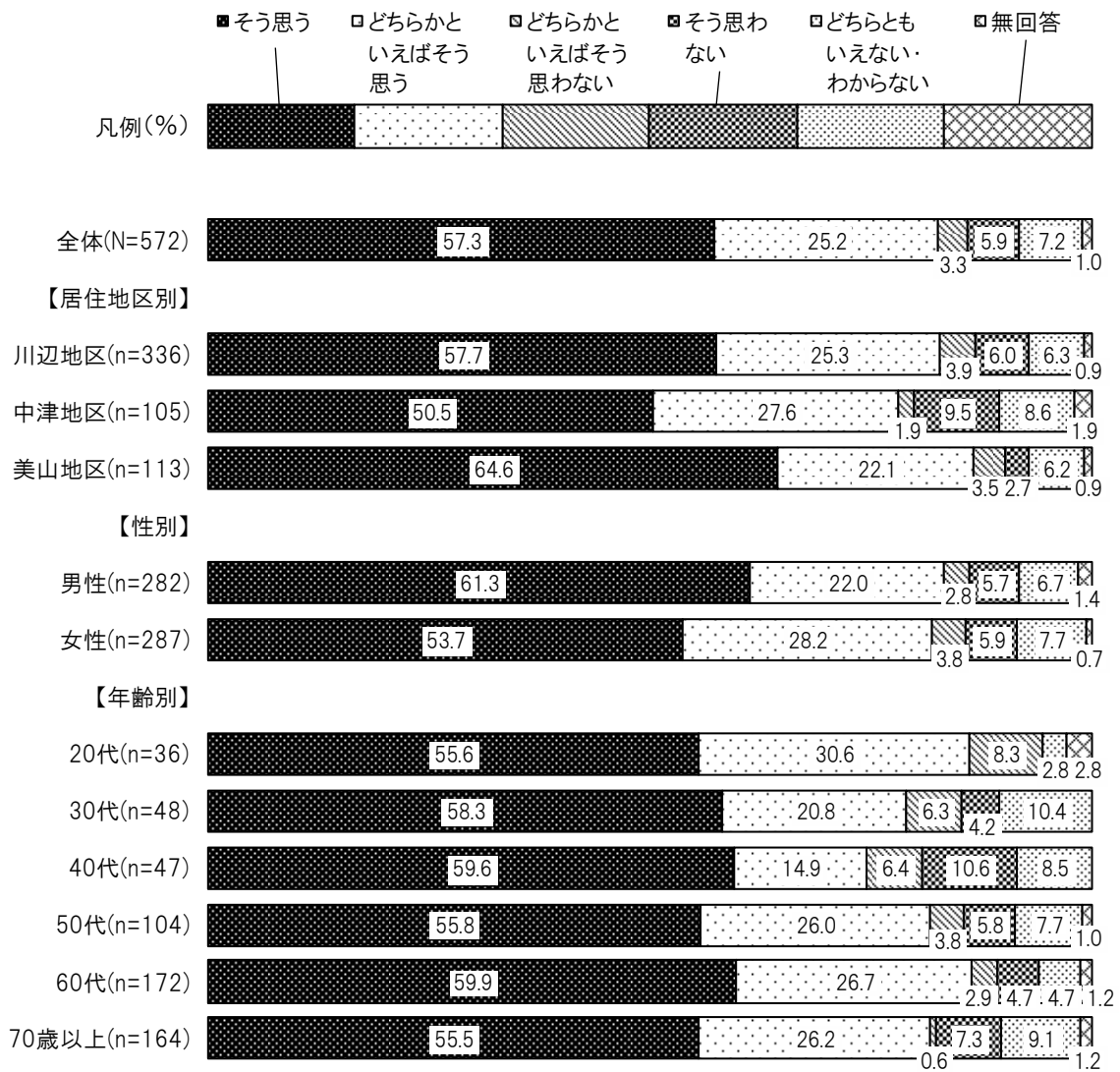


(1) 規模が小さな小学校が多いと感じる

「規模が小さな小学校が多いと感じる」については、「そう思う」が57.3%、「どちらかといえばそう思う」が25.2%で、合計82.5%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(3.3%)、「そう思わない」(5.9%)の合計は9.2%となっている。

居住地区別では、美山地区で「そう思う」の割合が他の地区に比べて高くなっている。性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。

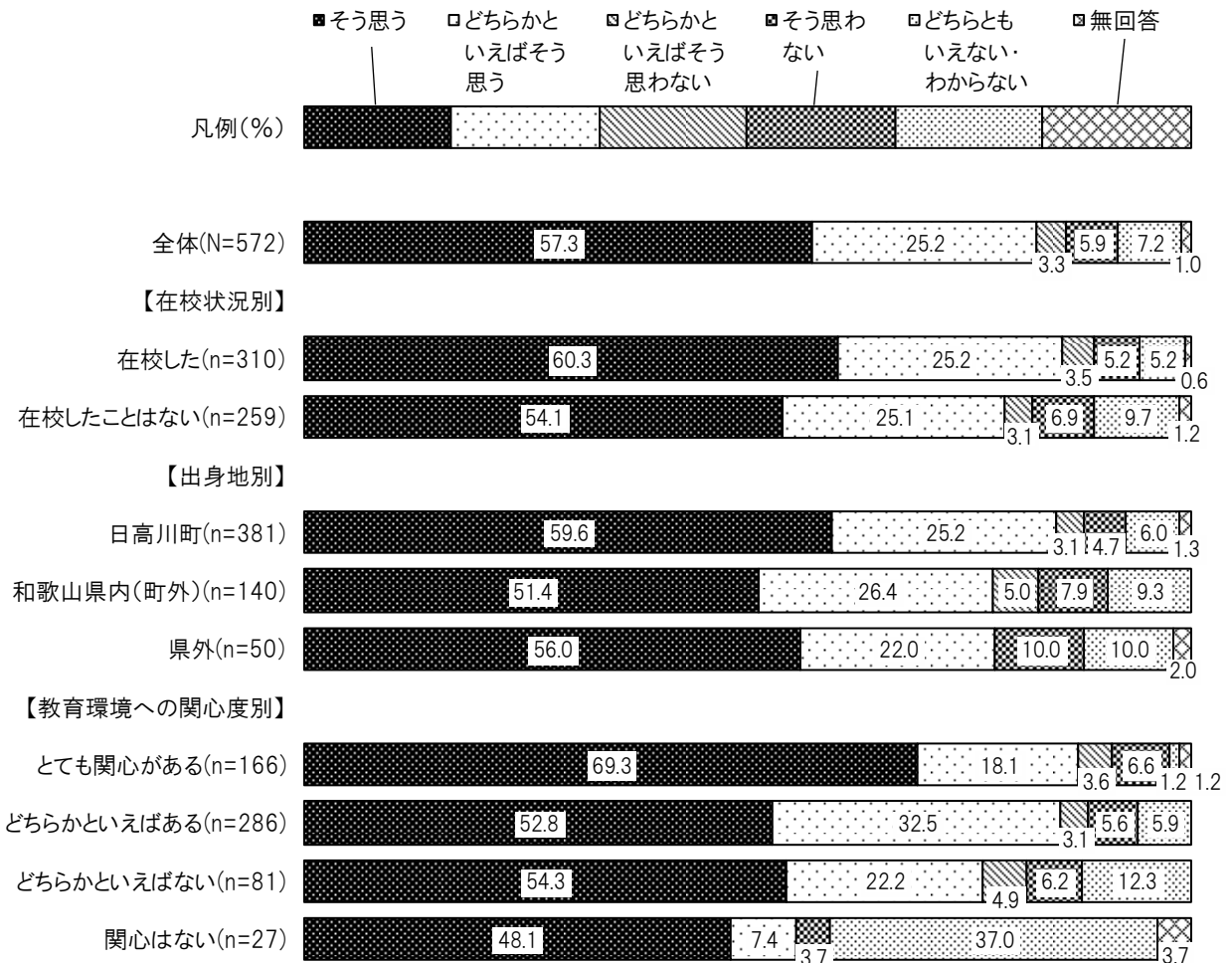
年齢別では、大きな差はみられない。



在校状況別（問2）では、在校した人は在校したことがない人に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。

出身地別では、日高川町で『そう思う（合計）』の割合が他の層に比べて高くなっている。

教育環境への関心度別（問8）では、とても関心がある層で「そう思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

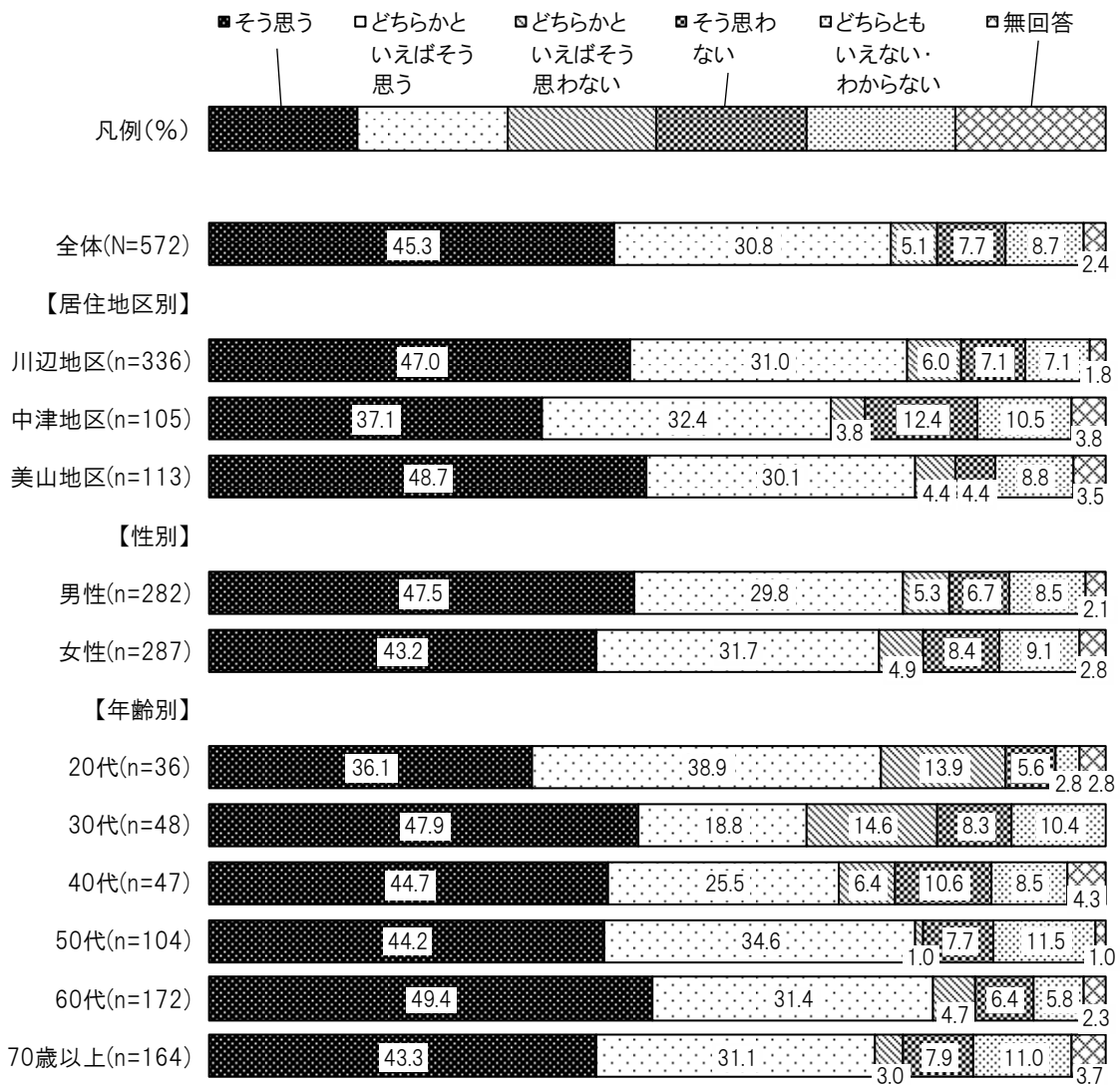


(2) 規模が小さな中学校が多いと感じる

「規模が小さな中学校が多いと感じる」については、「そう思う」が45.3%、「どちらかといえばそう思う」が30.8%で、合計76.1%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.1%)、「そう思わない」(7.7%)の合計は12.8%となっている。

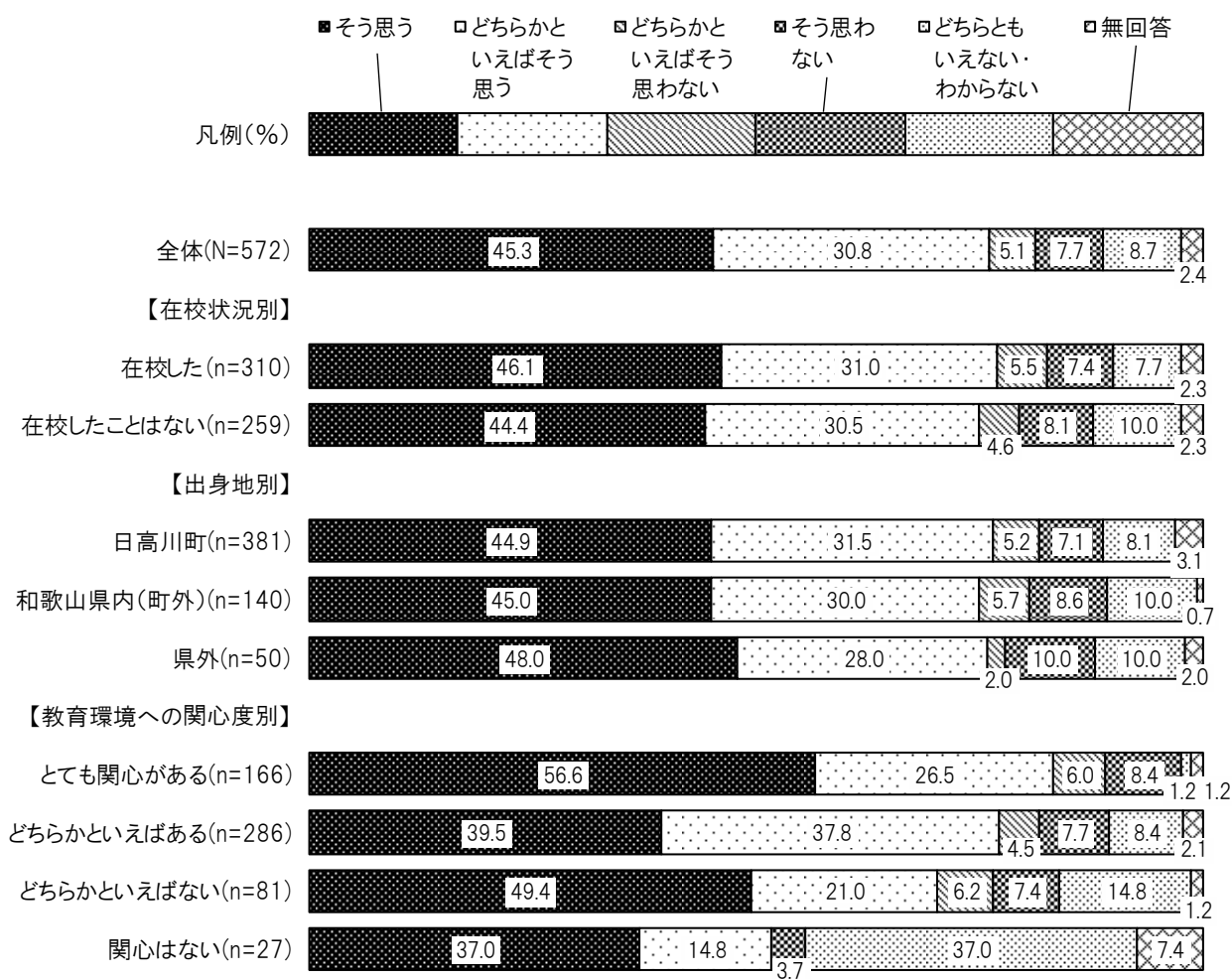
居住地区別では、中津地区で「そう思う」の割合が他の地区に比べて低くなっている。性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、20代で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。



在校状況別や出身地別では、大きな差はみられない。

教育環境への関心度別では、関心がある層ほど『そう思う（合計）』の割合が高くなっている。



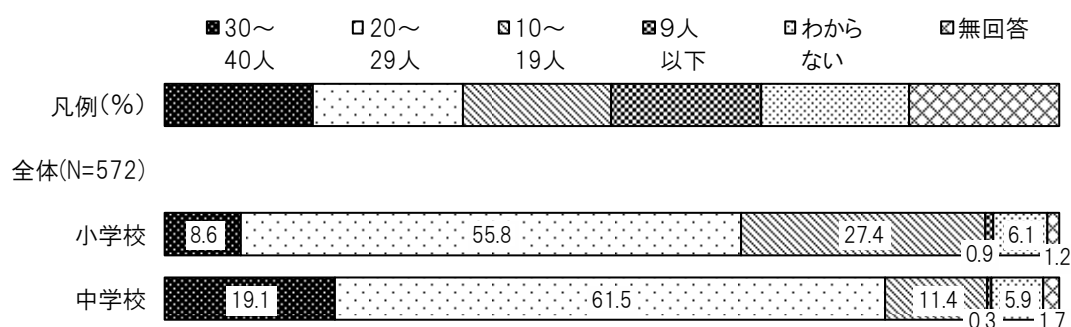
3 理想とする児童・生徒数、学級数

問 10 あなたが理想と思う1学級当たりの児童・生徒数、1学年当たりの学級数について、小学校、中学校別にお答えください。(○印1つずつ)

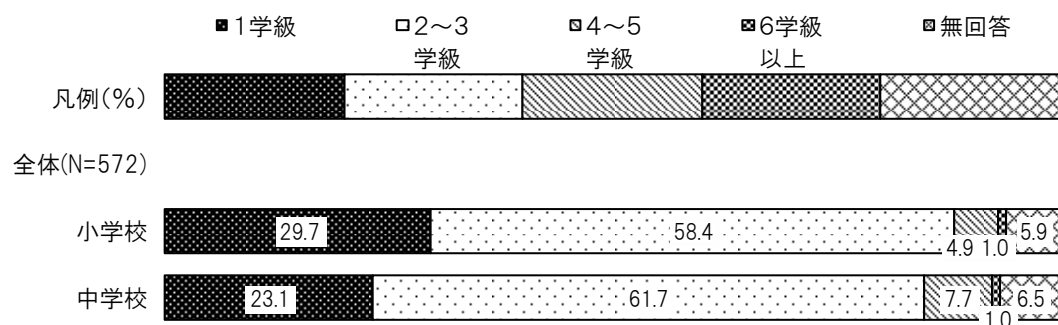
理想とする1学級当たりの児童・生徒数について、小学校、中学校共に「20～29人」の割合が最も高く、次いで小学校は「10～19人」、中学校は「30～40人」となっている。

理想とする1学年当たりの学級数について、小学校、中学校共に「2～3学級」が約6割を占めており、次いで「1学級」が続いている。

(1) 1学級当たりの児童・生徒数



(2) 1学年当たりの学級数



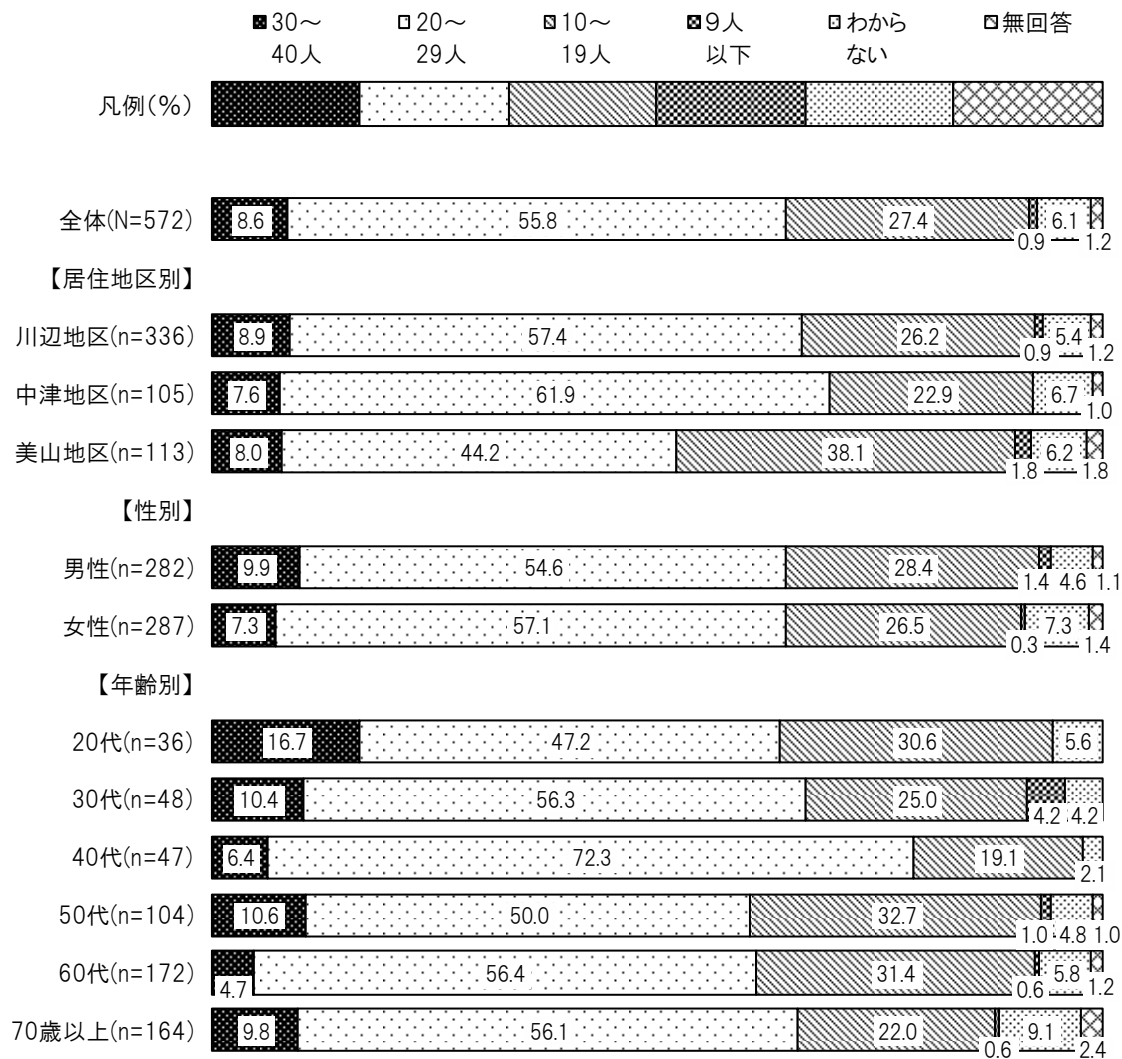
(1) 1学級当たりの児童・生徒数

<小学校>

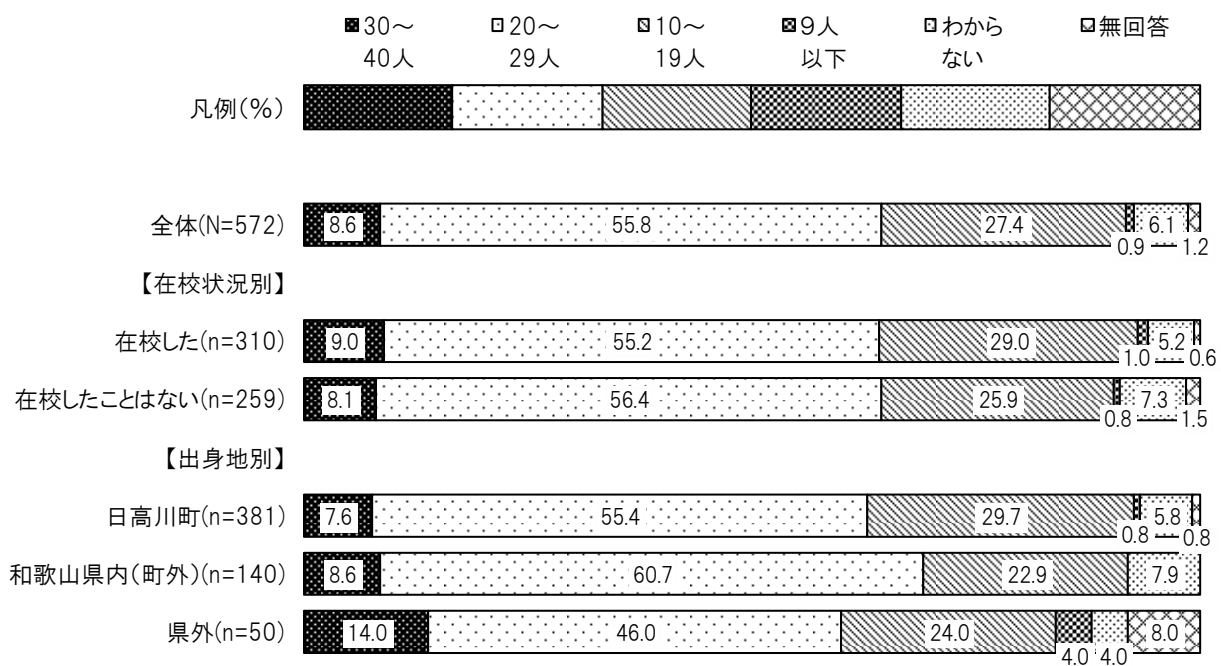
1学級当たりの児童数については、「20～29人」の割合が55.8%と最も高く、次いで「10～19人」(27.4%)、「30～40人」(8.6%)の順となっている。

居住地区別では、美山地区で「10～19人」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では40代で「20～29人」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



在校状況別では大きな差はみられないが、出身地別では県外で「30～40人」、日高川町で「10～19人」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



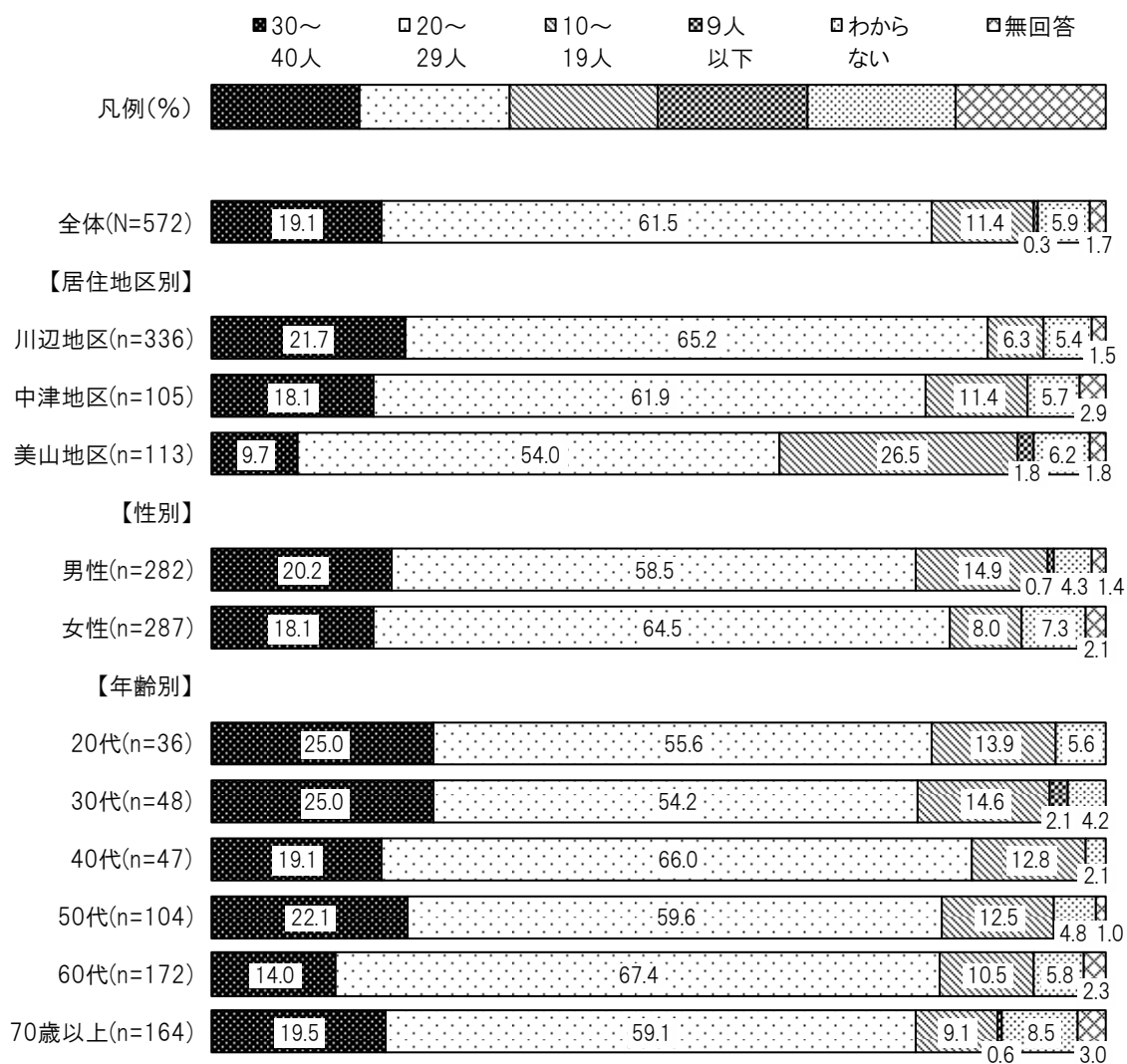
<中学校>

1学級当たりの生徒数については、「20～29人」の割合が61.5%と最も高く、次いで「30～40人」（19.1%）、「10～19人」（11.4%）の順となっている。

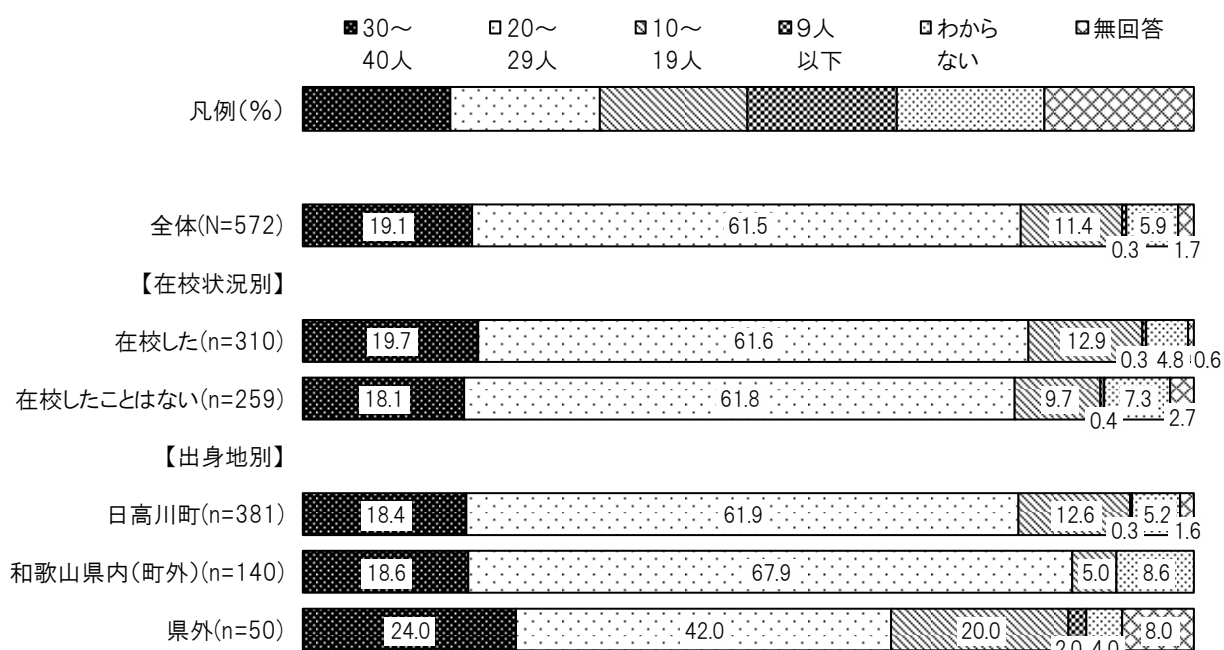
居住地区別では、美山地区で「10～19人」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「10～19人」の割合が高く、女性は「20～29人」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、40代や60代で「20～29人」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



在校状況別では大きな差はみられないが、出身地別では県外で「10～19人」の割合が他の層に比べて高くなっている。



(2) 1学年当たりの学級数

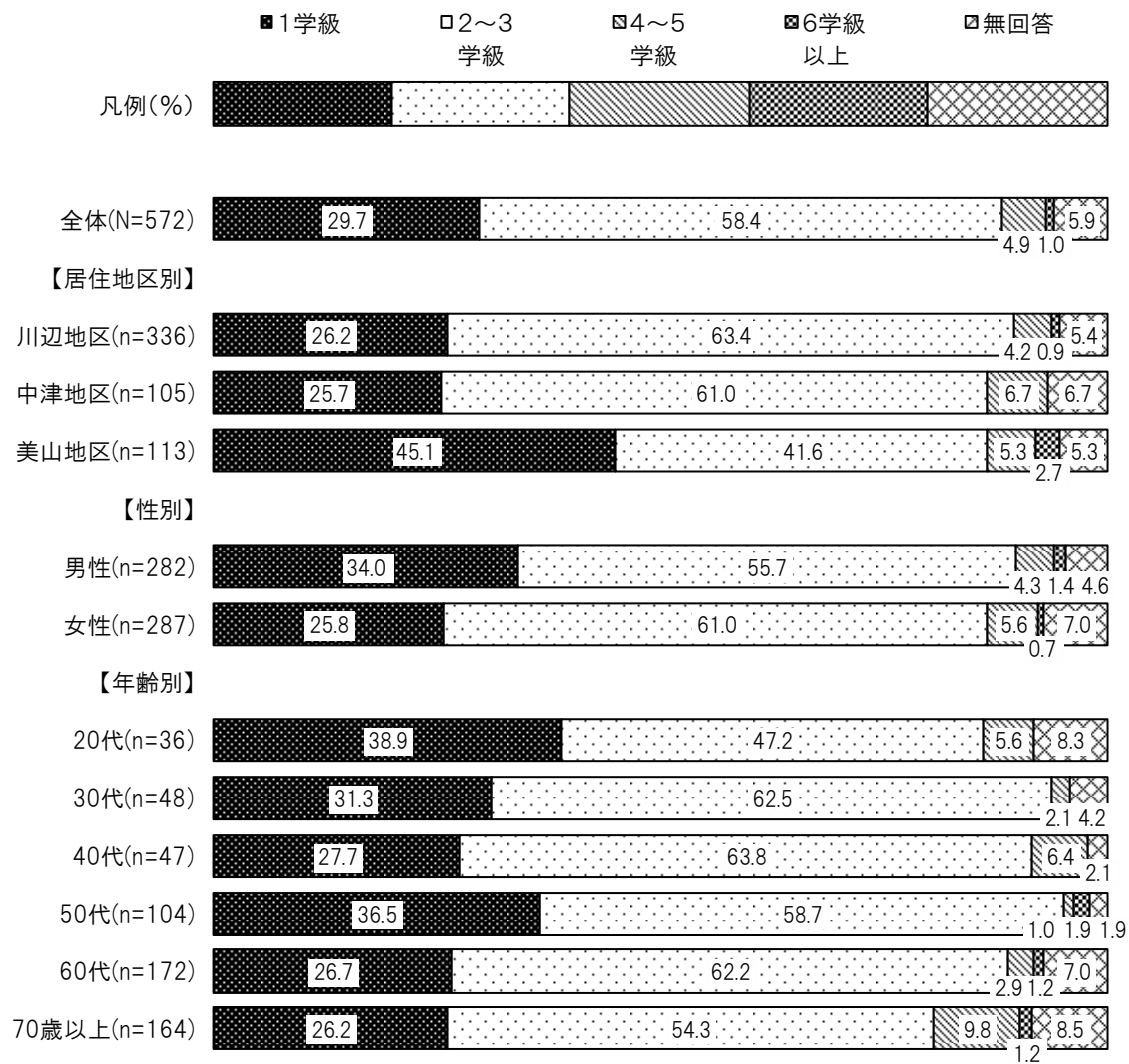
<小学校>

1学年当たりの学級数については、「2～3学級」の割合が58.4%と最も高く、次いで「1学級」(29.7%)、「4～5学級」(4.9%)の順となっている。

居住地区別では、美山地区で「1学級」の割合が他の地区を大きく上回っている。

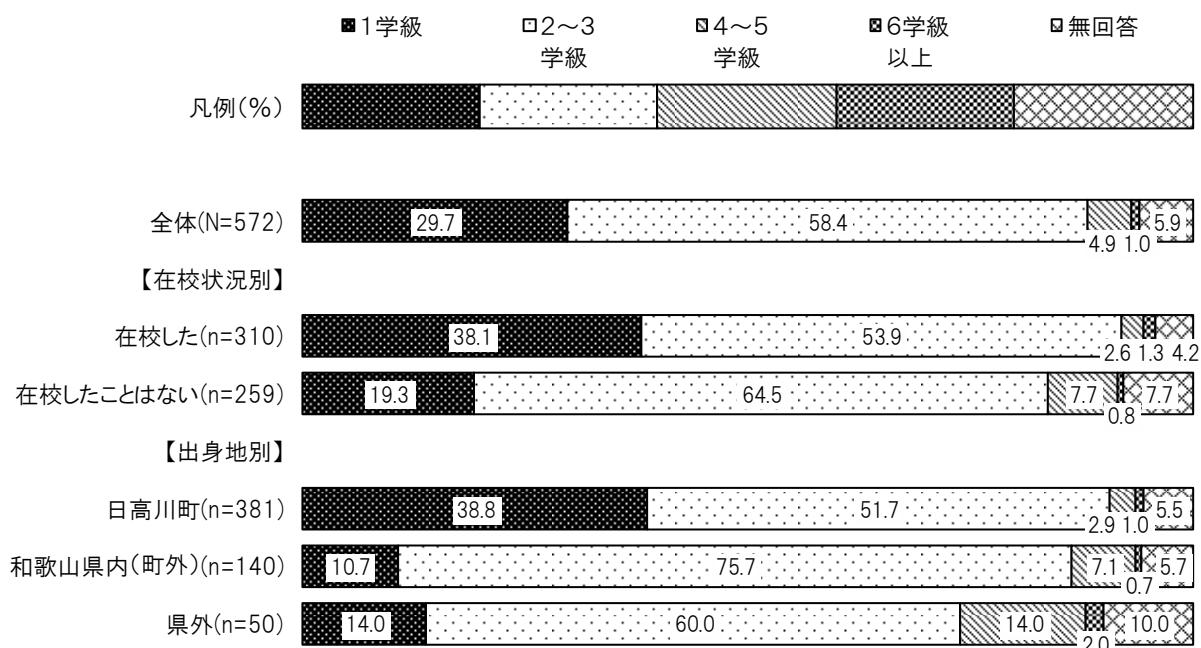
性別では、男性は女性に比べ「1学級」の割合が高くなっている。

年齢別では、20代や50代で「1学級」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



在校状況別では、在校した人は「1学級」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

出身地別では、日高川町で「1学級」の割合が他の層を大きく上回っている。



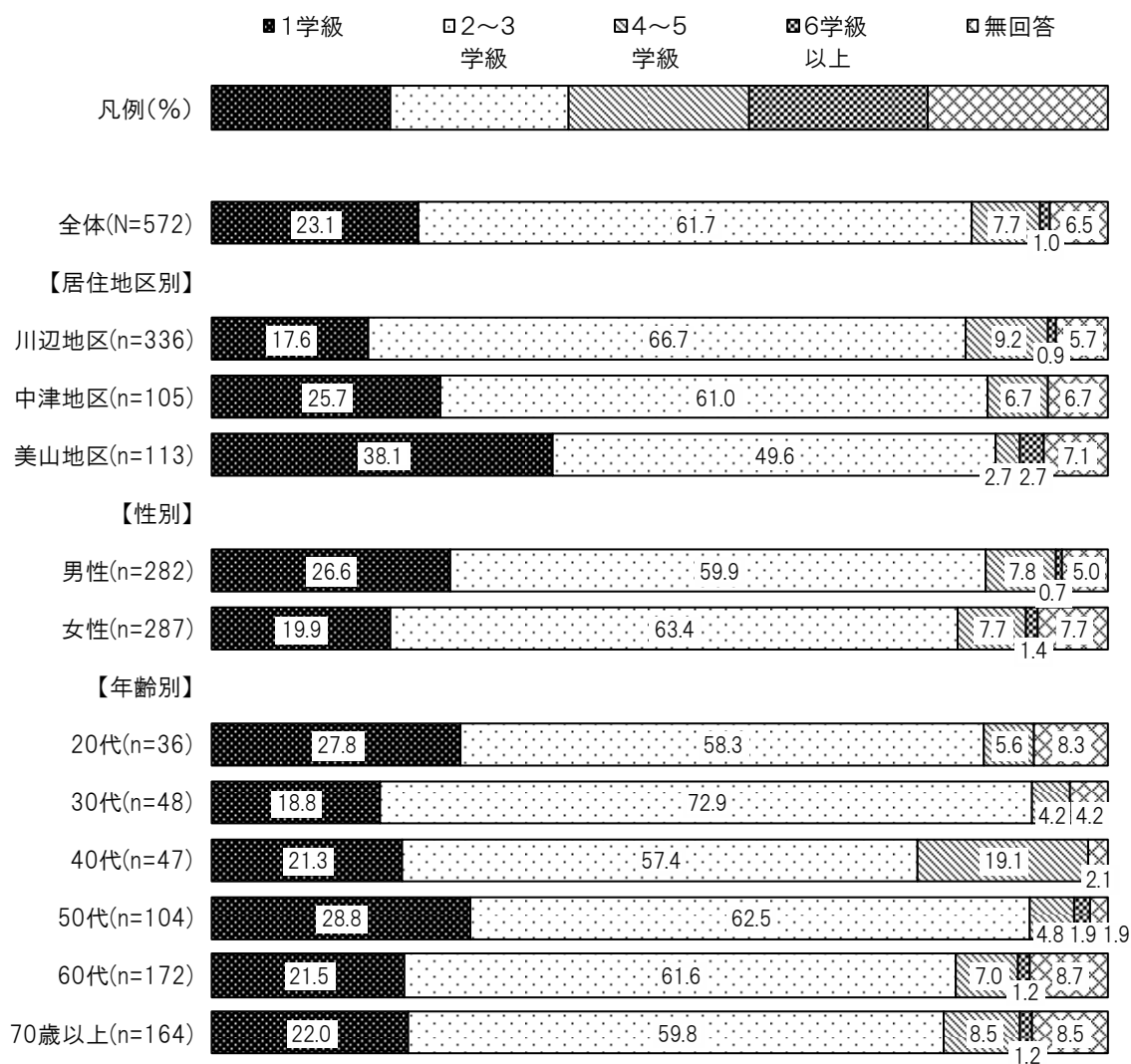
<中学校>

1学年当たりの学級数については、「2～3学級」の割合が61.7%と最も高く、次いで「1学級」（23.1%）、「4～5学級」（7.7%）の順となっている。

居住地区別では、美山地区で「1学級」の割合が他の地区を大きく上回っている。

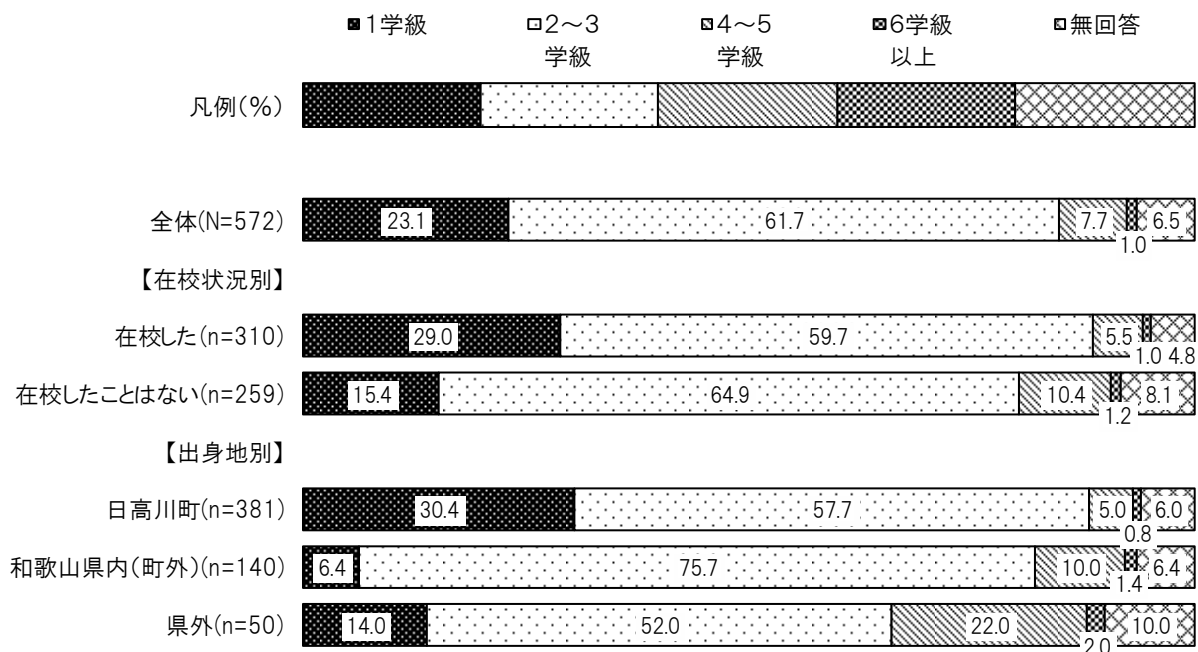
性別では、男性は女性に比べ「1学級」の割合が高くなっている。

年齢別では、20代や50代で「1学級」、30代で「2～3学級」、40代で「4～5学級」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



在校状況別では、在校した人は「1学級」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

出身地別では、日高川町で「1学級」、和歌山県内(町外)で「2～3学級」、県外で「4～5学級」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



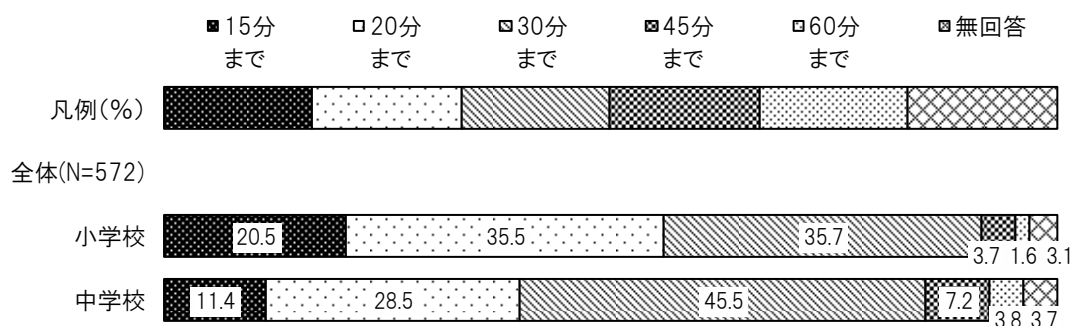
4 理想とする通学時間、通学方法

問 11 あなたが理想と思う、学校までの通学時間と方法について、小学校、中学校別にお答えください。（○印1つずつ）

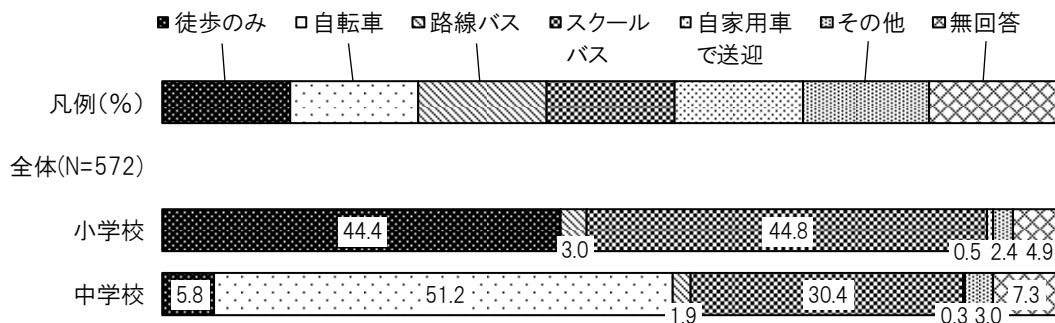
理想とする通学時間については、小学校は中学校に比べ「15分まで」「20分まで」の割合が高く、中学校は「30分まで」の割合が高くなっている。

理想とする通学方法については、小学校は中学校に比べ「徒歩のみ」「スクールバス」の割合が高く、中学校は「自転車」の割合が高くなっている。

(1)通学時間



(2)通学方法



注：小学校については「自転車」の選択肢はない。

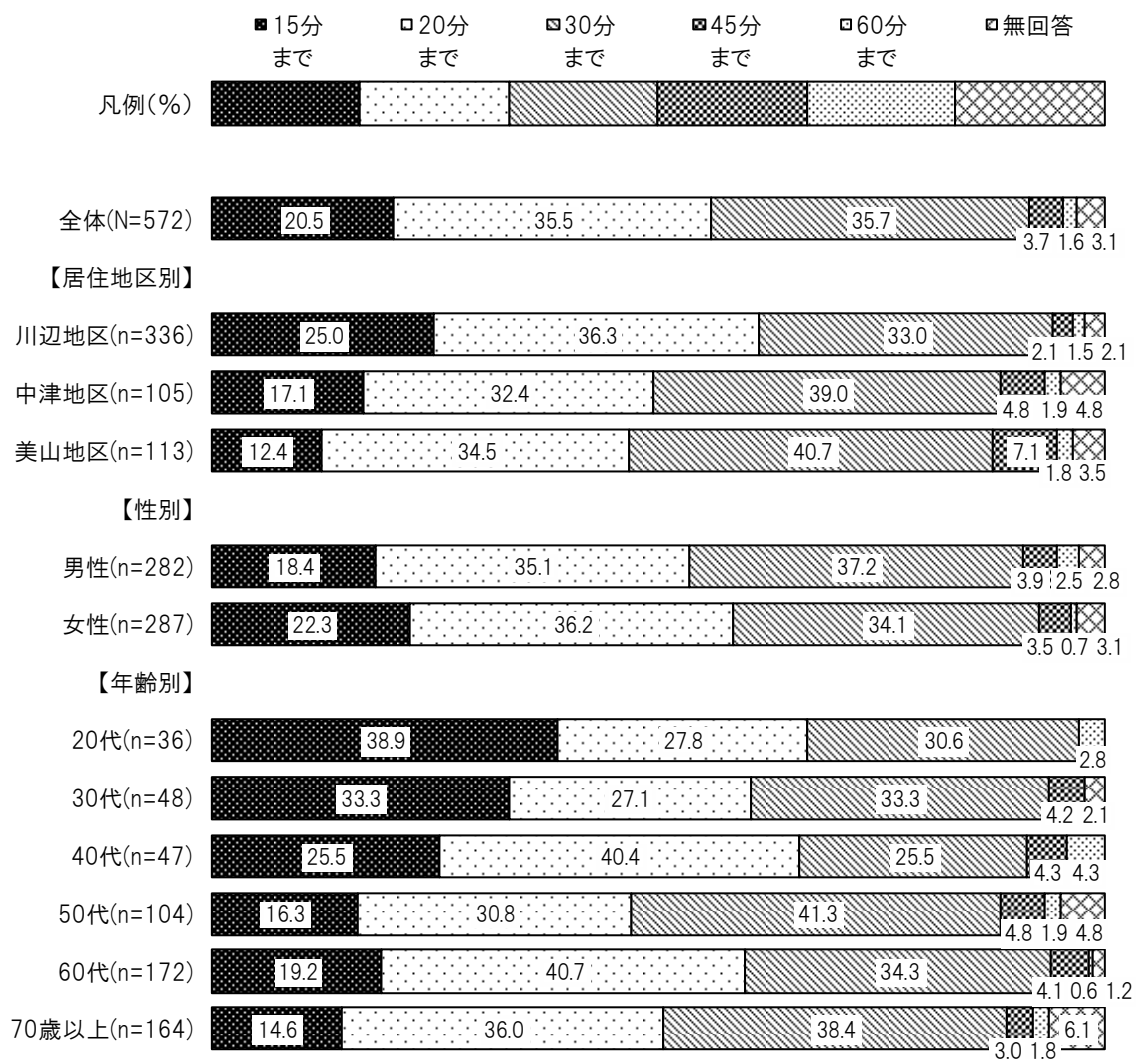
(1) 通学時間

<小学校>

通学時間については、「30分まで」の割合が35.7%と最も高く、ほぼ並んで「20分まで」(35.5%)が続き、「15分まで」は20.5%となっている。

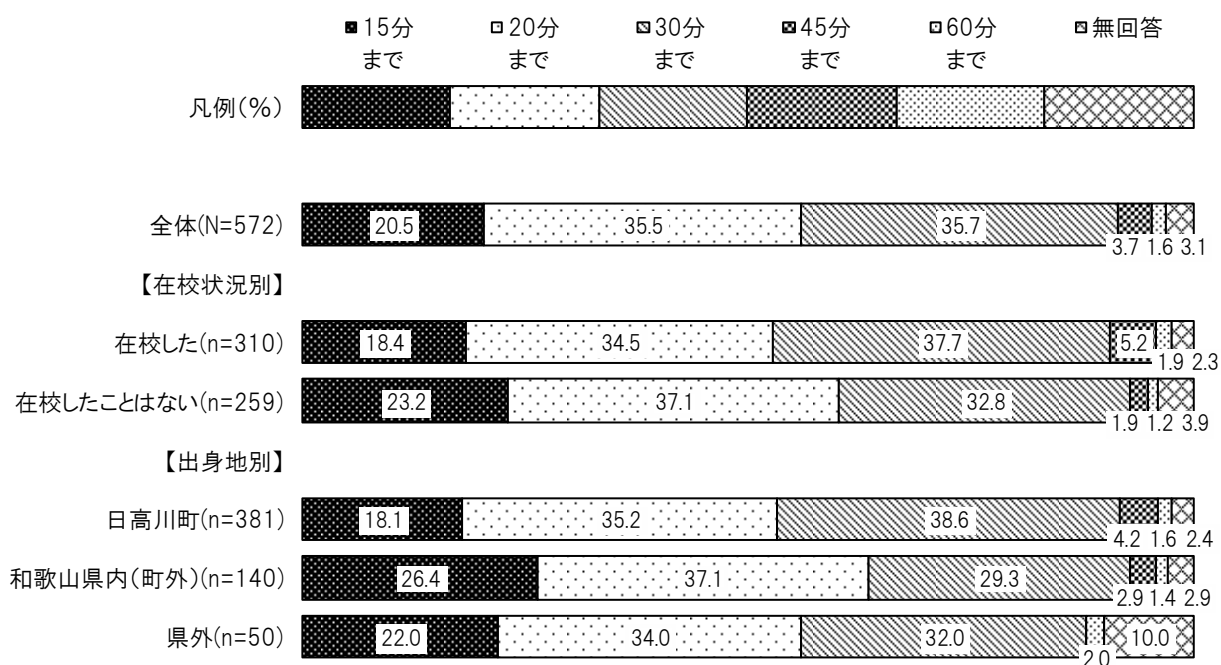
居住地区別では、川辺地区で「15分まで」の割合が他の地区に比べて高くなっている。性別では、女性は男性に比べ「15分まで」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「15分まで」の割合が高くなっている。



在校状況別では、在校した人は在校したことがない人に比べて「30分まで」の割合が高く、在校したことがない人は「15分まで」の割合が高くなっている。

出身地別では、和歌山県内（町外）で「15分まで」、日高川町で「30分まで」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

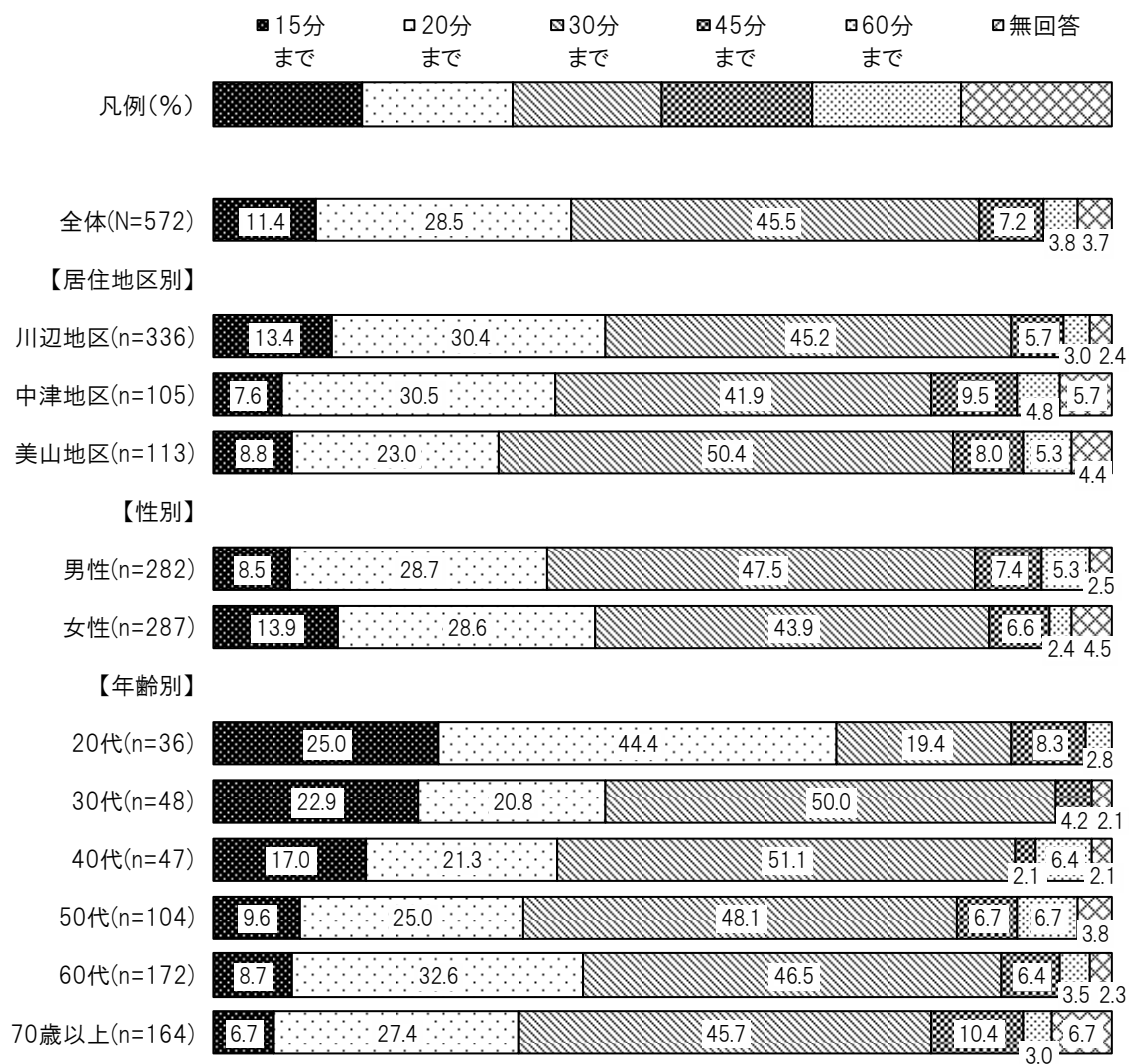


<中学校>

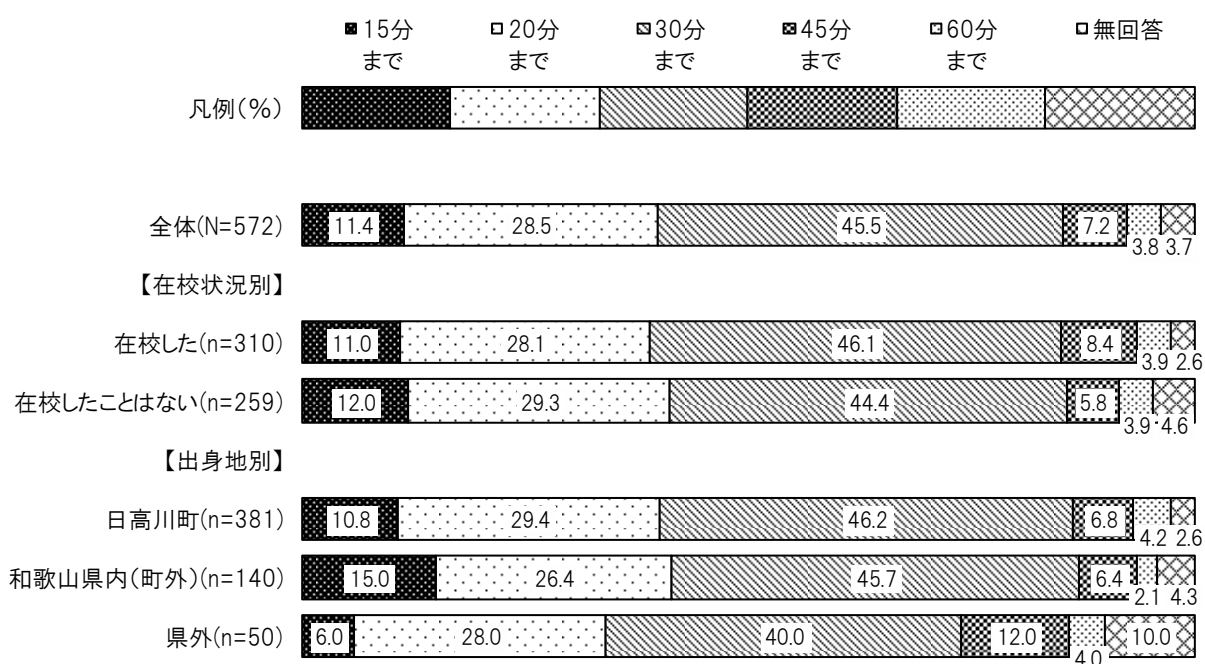
通学時間については、「30分まで」の割合が45.5%と最も高く、次いで「20分まで」(28.5%)、「15分まで」(11.4%)の順となっている。

居住地区別では、美山地区で「30分まで」の割合が他の地区に比べて高くなっている。性別では、女性は男性に比べ「15分まで」の割合が高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「15分まで」の割合が高く、20代で「20分まで」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



在校状況別では大きな差はみられないが、出身地別では和歌山県内（町外）で「15分まで」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



(2) 通学方法

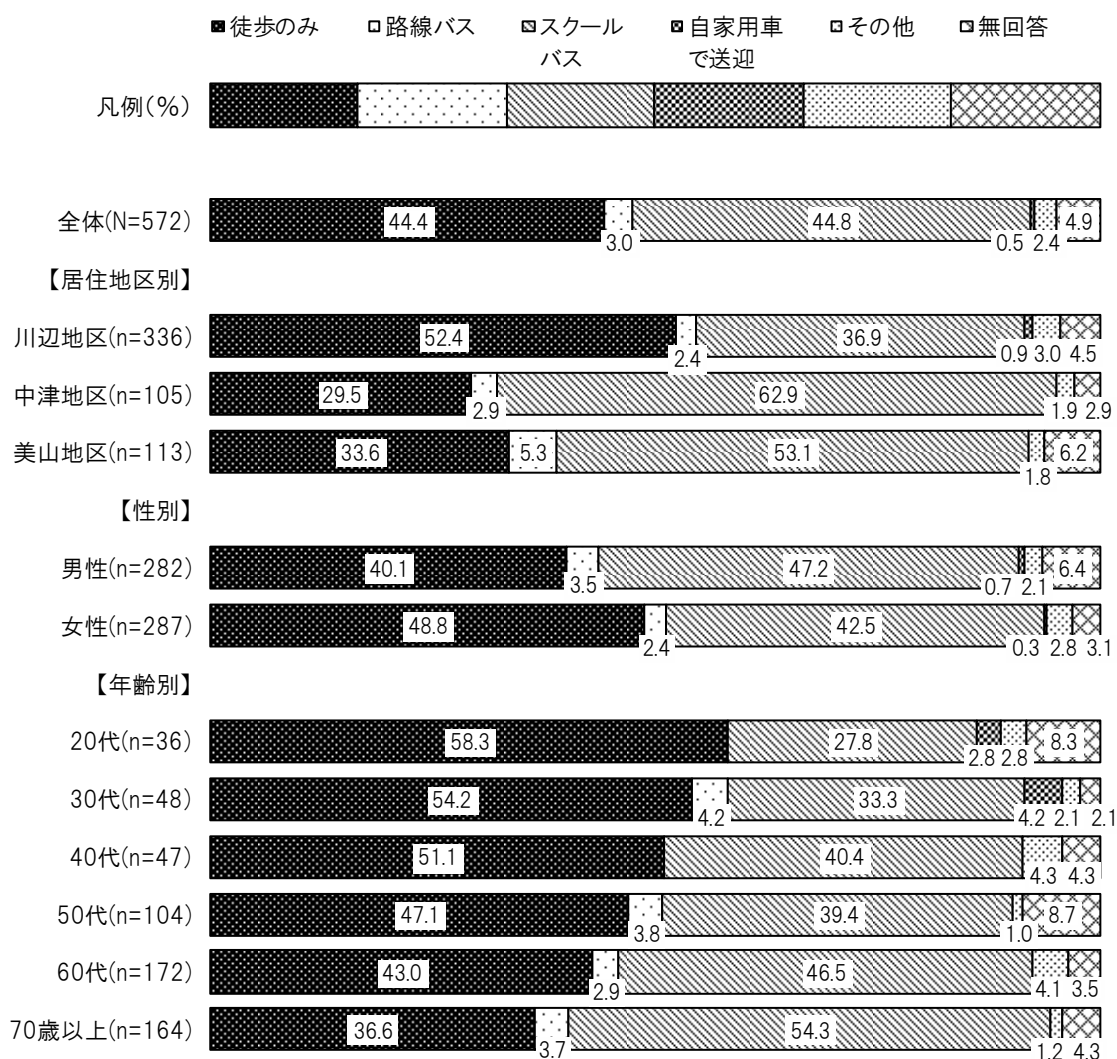
<小学校>

通学方法については、「スクールバス」の割合が44.8%と最も高く、ほぼ並んで「徒歩のみ」が44.4%となっている。

居住地区別では、川辺地区で「徒歩のみ」、中津地区で「スクールバス」の割合がそれぞれ他の地区を大きく上回っている。

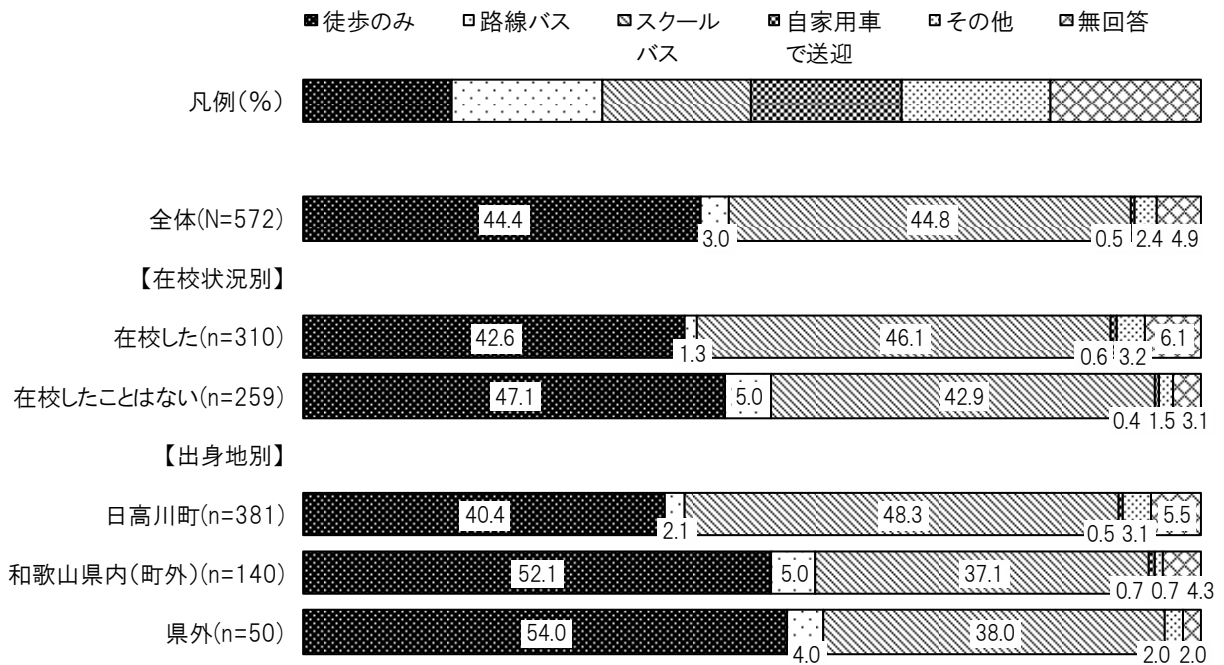
性別では、女性は男性に比べ「徒歩のみ」の割合が高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「徒歩のみ」の割合が高く、年齢が上がるほど「スクールバス」の割合が高くなっている。



在校状況別では、在校したことがない人は在校した人に比べて「徒歩のみ」の割合がやや高くなっている。

出身地別では、日高川町で「スクールバス」の割合が他の層を大きく上回っている。



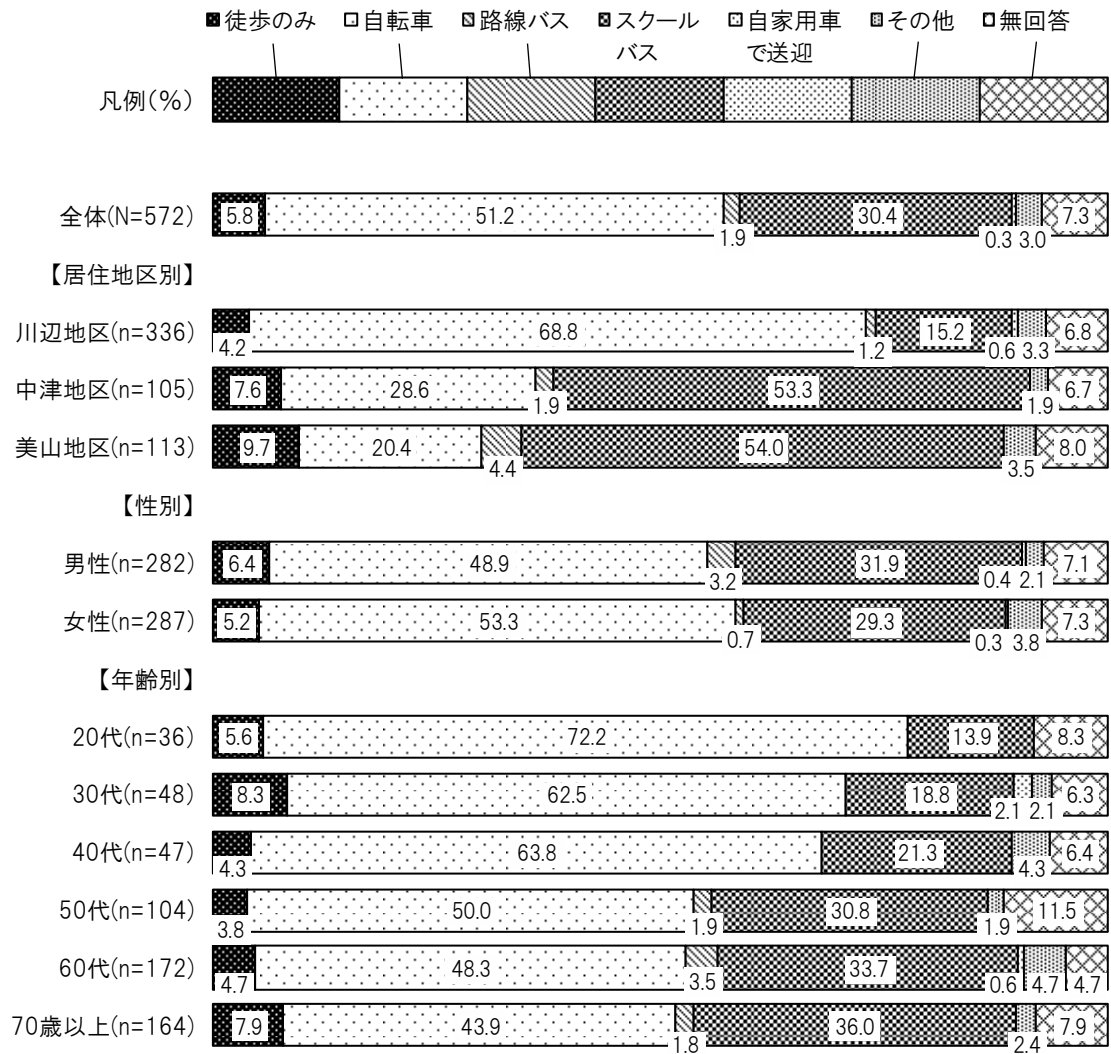
<中学校>

通学方法については、「自転車」の割合が51.2%と最も高く、次いで「スクールバス」(30.4%)、「徒歩のみ」(5.8%)の順となっている。

居住地区別では、川辺地区で「自転車」の割合が他の地区を大きく上回っている。

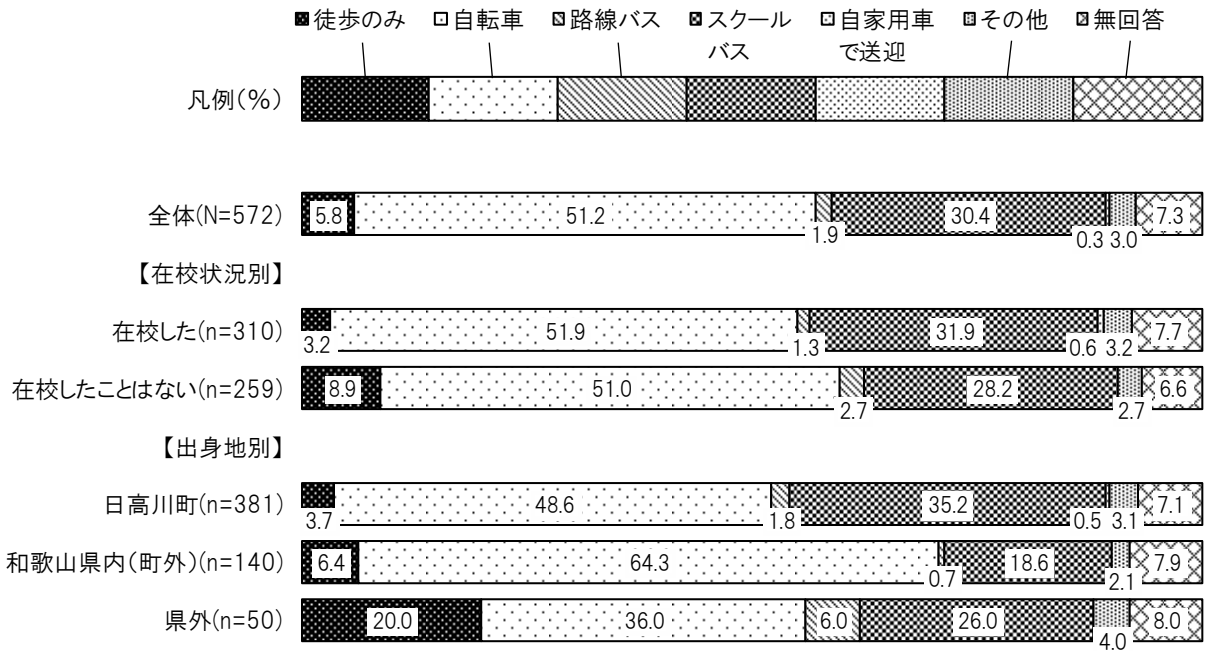
性別では、女性は男性に比べ「自転車」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、40代以下で「自転車」、50代以上で「スクールバス」の割合がそれぞれ高くなっている。



在校状況別では、在校したことがない人は在校した人に比べて「徒歩のみ」の割合が高くなっている。

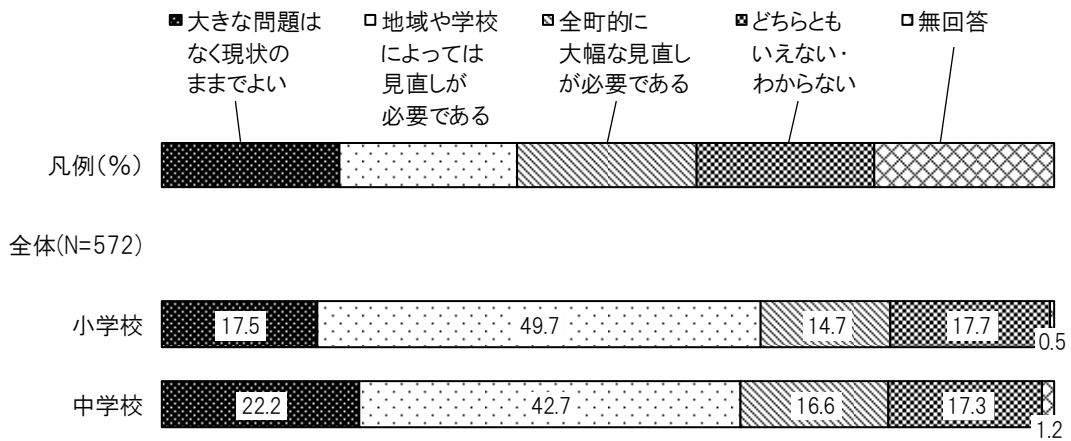
出身地別では、日高川町で「スクールバス」、和歌山県内（町外）で「自転車」、県外で「徒歩のみ」の割合がそれぞれ高くなっている。



5 小・中学校の配置について

問 12 あなたは、現在の日高川町における学校数や通学区の範囲など、小・中学校の配置は適正であると思いますか。小学校、中学校別にお答えください。
(○印1つずつ)

小・中学校の配置については、小学校、中学校共に「地域や学校によっては見直しが必要である」が4～5割を占めており、「大きな問題はなく現状のままでよい」は2割程度となっている。

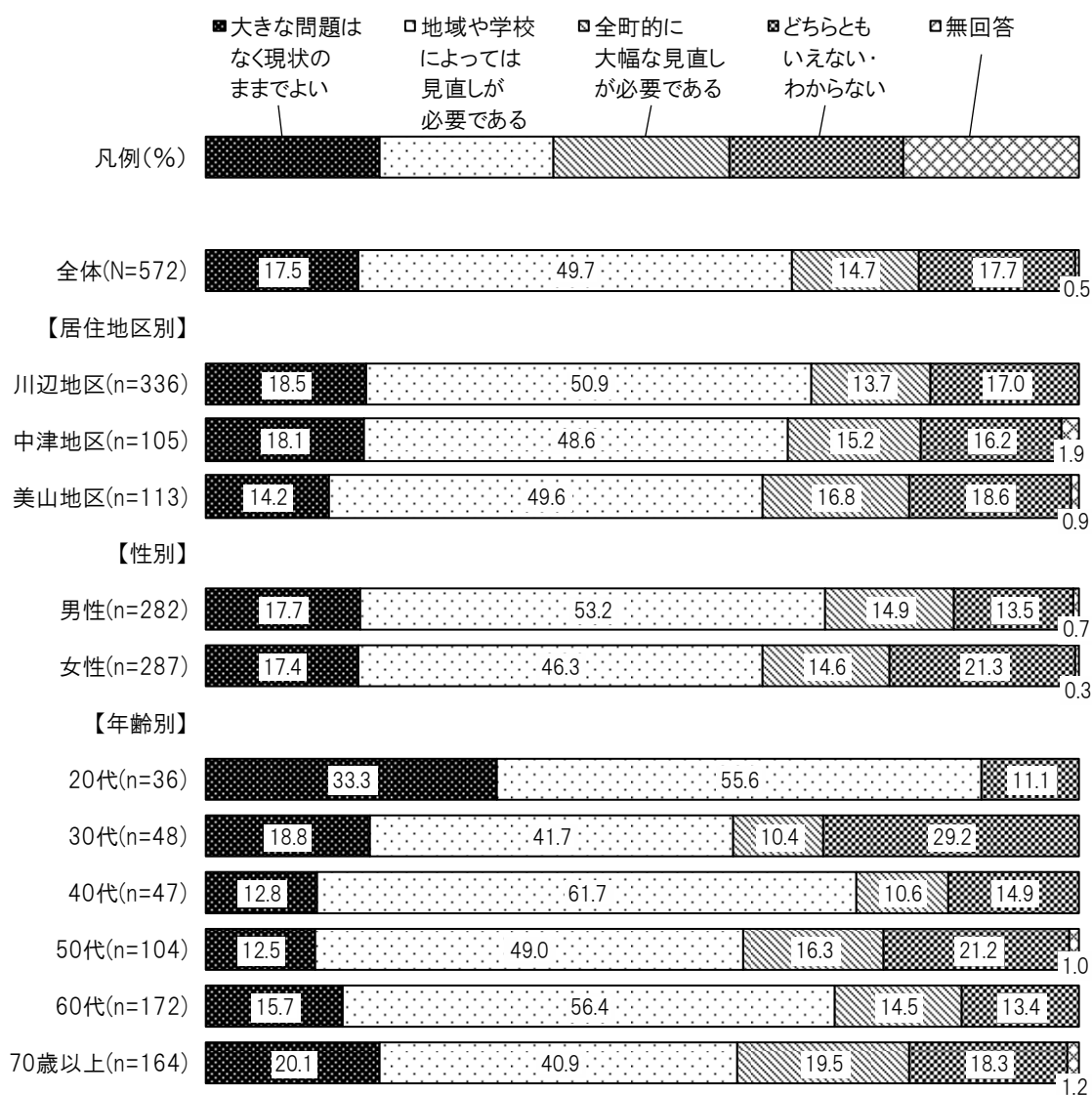


<小学校>

小学校の配置については、「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が49.7%と最も高く、次いで「大きな問題はなく現状のままでよい」(17.5%)、「全町的に大幅な見直しが必要である」(14.7%)となっている。

居住地区別では大きな差はみられないが、性別では男性は女性に比べ「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が高く、女性は「どちらともいえない・わからない」の割合が男性を上回っている。

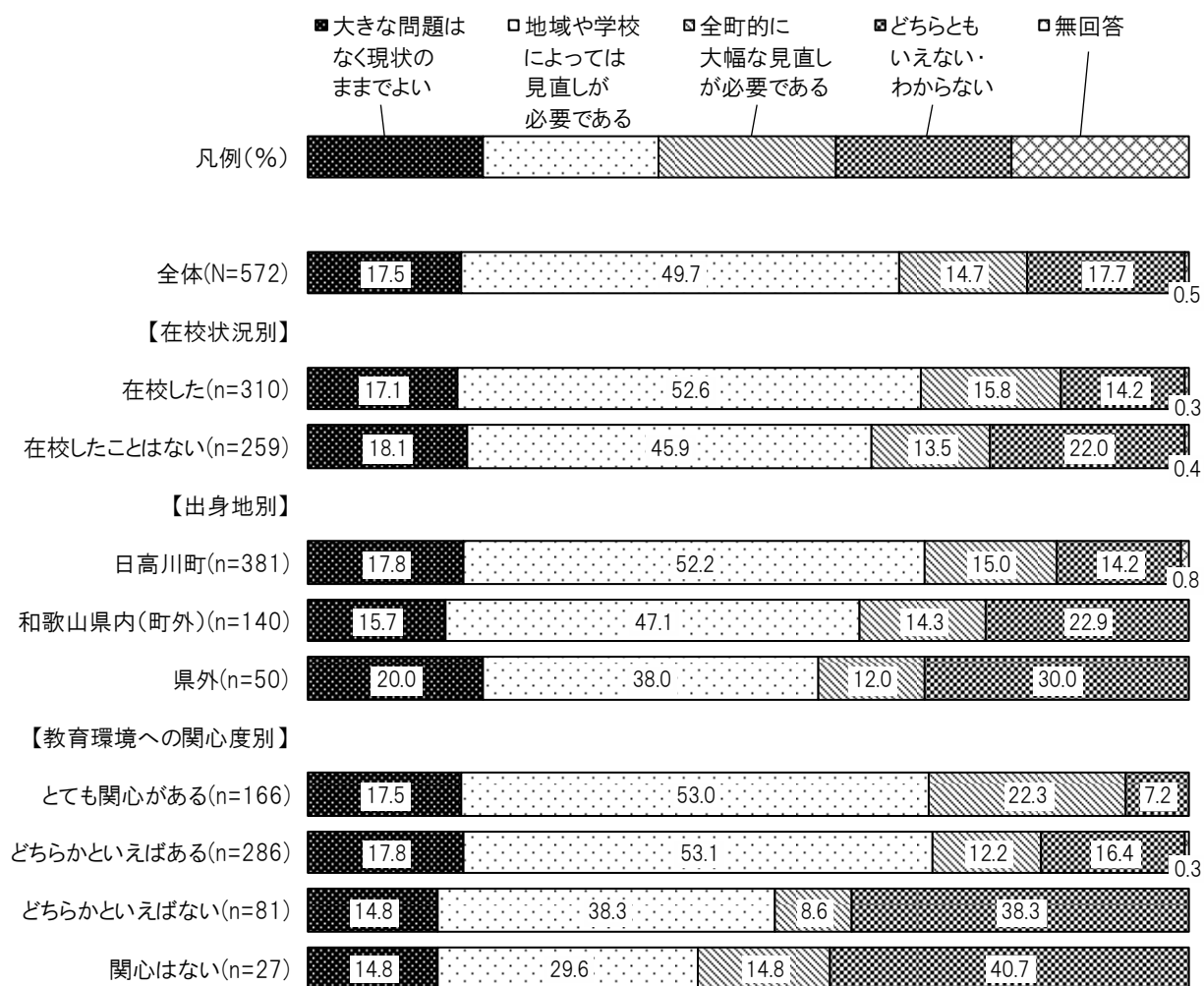
年齢別では、20代で「大きな問題はなく現状のままでよい」、30代で「どちらともいえない・わからない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



在校状況別では、在校した人は在校したことがない人に比べて「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が高くなっている。

出身地別では、日高川町で「地域や学校によっては見直しが必要である」、県外で「どちらともいえない・わからない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

教育環境への関心度別では、関心がある層で「地域や学校によっては見直しが必要である」、関心がない層で「どちらともいえない・わからない」の割合がそれぞれ高くなっている。

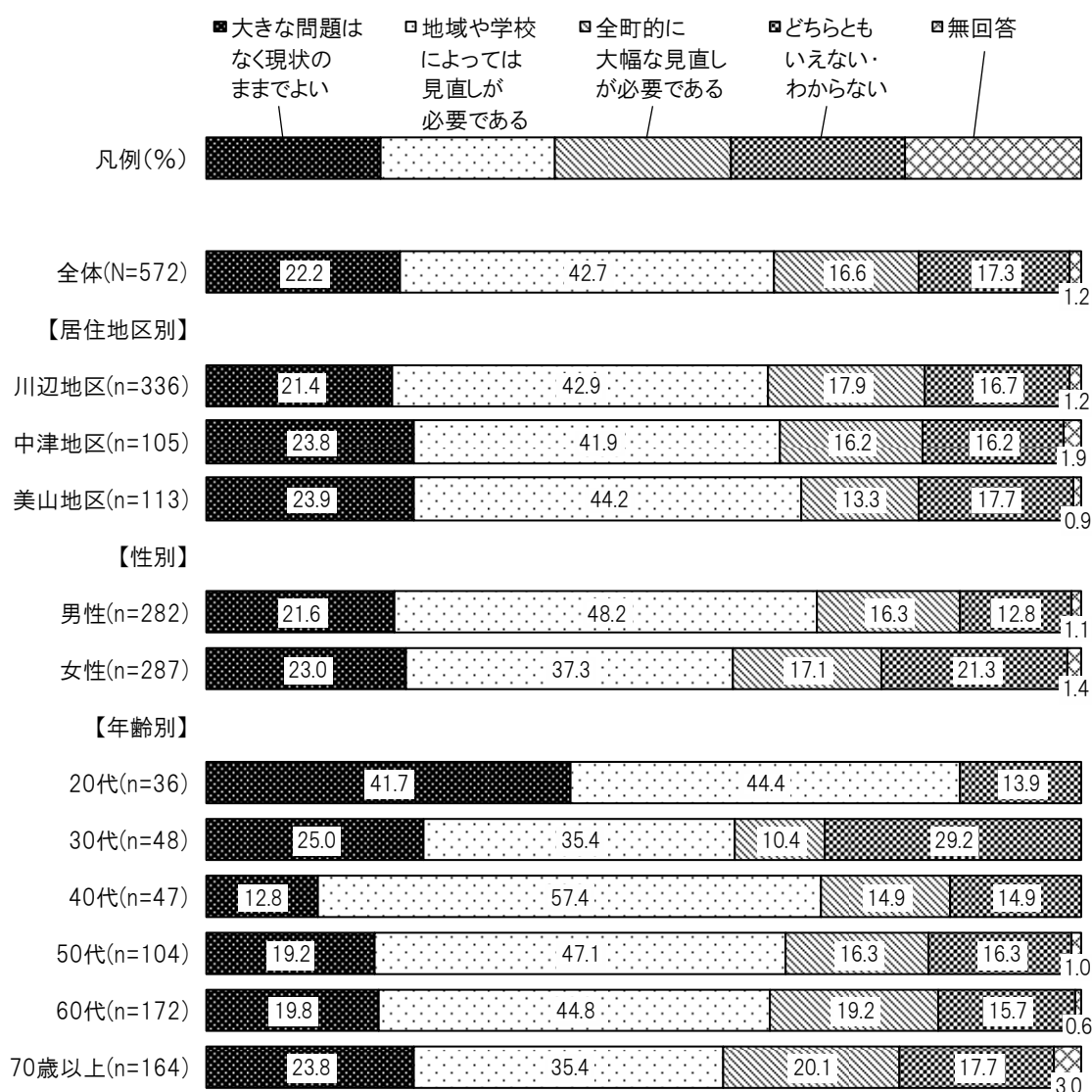


<中学校>

中学校の配置については、「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が42.7%と最も高く、次いで「大きな問題はなく現状のままでよい」(22.2%)、「全町的に大幅な見直しが必要である」(16.6%)の順となっている。

居住地区別では大きな差はみられないが、性別では男性は「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が女性を大きく上回っている。

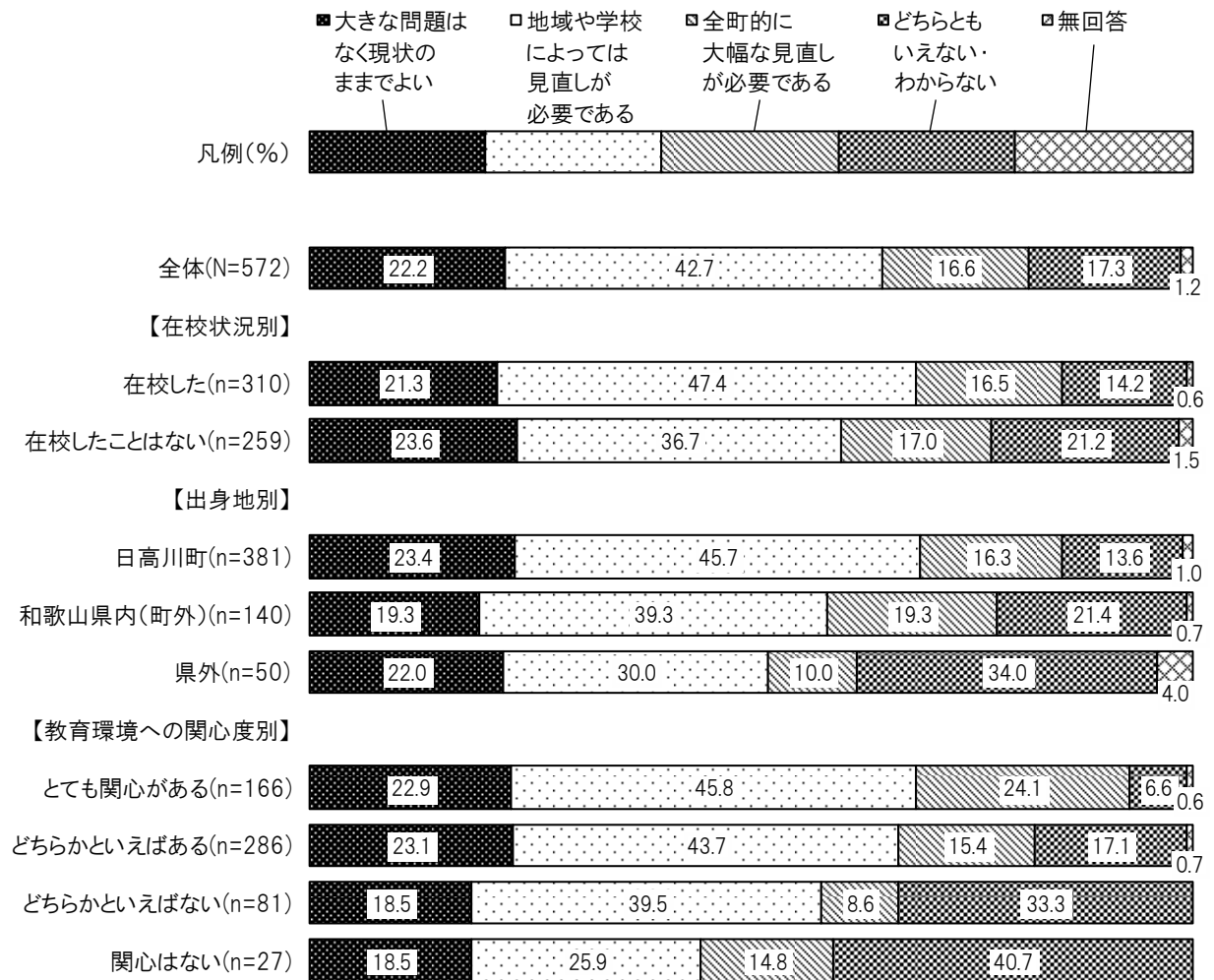
年齢別では、20代で「大きな問題はなく現状のままでよい」、30代で「どちらともいえない・わからない」、40代で「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



在校状況別では、在校した人は「地域や学校によっては見直しが必要である」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

出身地別では、日高川町で「地域や学校によっては見直しが必要である」、県外で「どちらともいえない・わからない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

教育環境への関心度別では、とても関心がある層で「全町的に大幅な見直しが必要である」の割合が高く、関心がない層ほど「どちらともいえない・わからない」の割合が高くなっている。



6 小学校の統廃合について

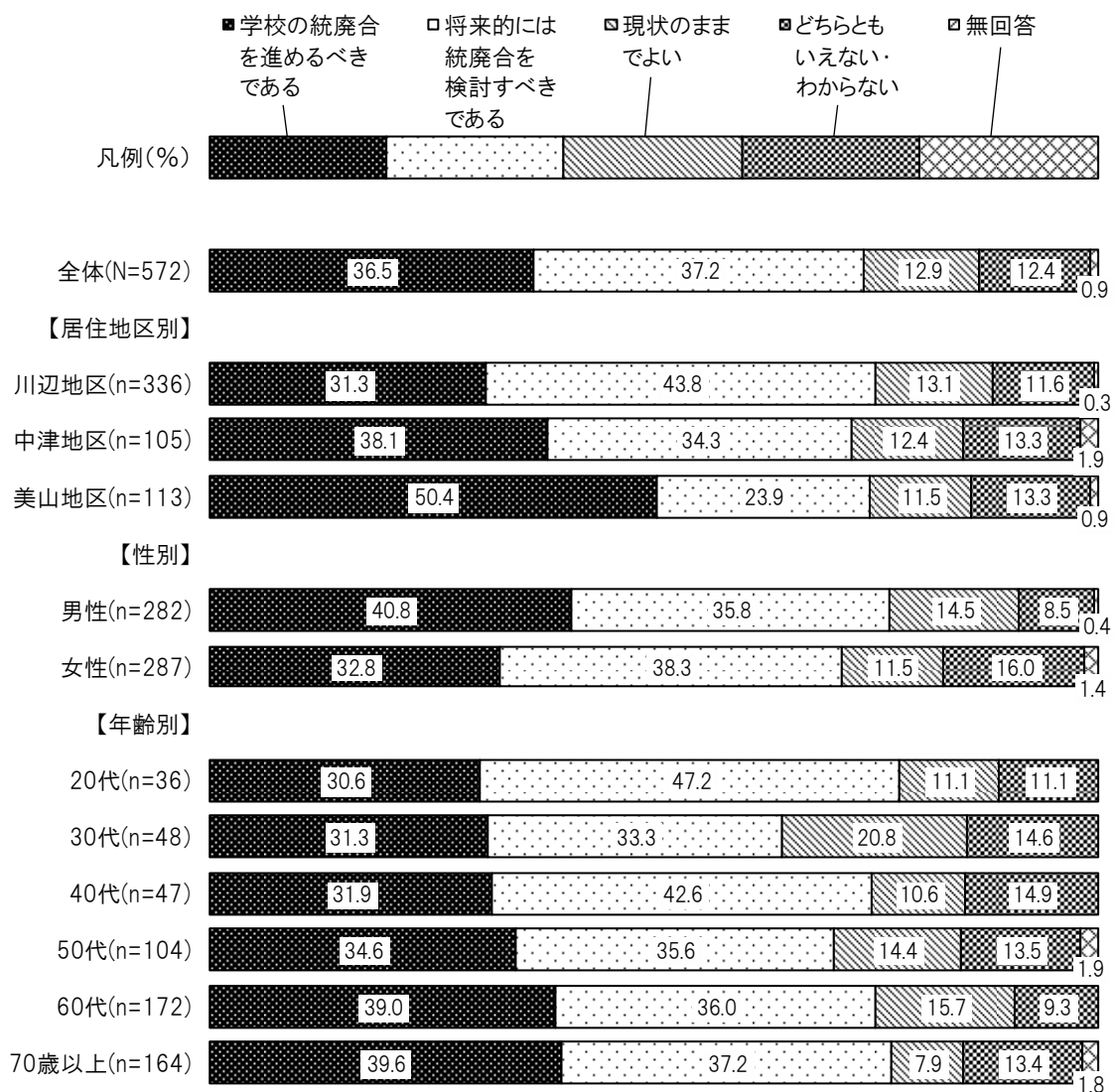
問 13 あなたは、小学校の統廃合について、どのように思いますか。（○印1つ）

小学校の統廃合については、「将来的には統廃合を検討すべきである」の割合が37.2%と最も高く、ほぼ並んで「学校の統廃合を進めるべきである」（36.5%）が続き、「現状のままでよい」は12.9%となっている。

居住地区別では、美山地区で「学校の統廃合を進めるべきである」、川辺地区で「将来的には統廃合を検討すべきである」の割合がそれぞれ他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「学校の統廃合を進めるべきである」の割合が高く、女性は「どちらともいえない・わからない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20代で「将来的には統廃合を検討すべきである」、30代で「現状のままでよい」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

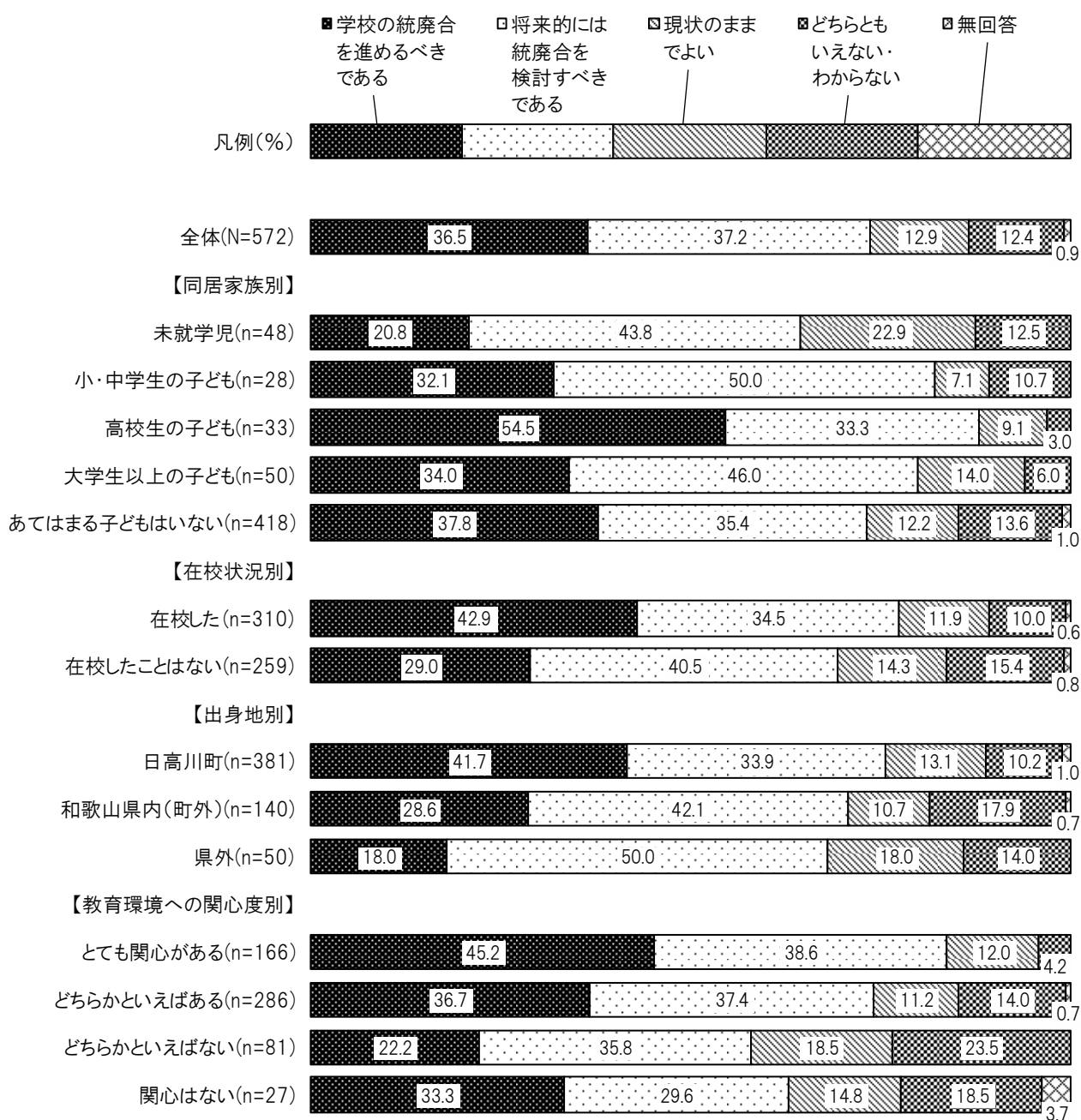


同居家族別では、未就学児で「現状のままでよい」、高校生の子どもで「学校の統廃合を進めるべきである」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

在校状況別では、在校した人は「学校の統廃合を進めるべきである」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

出身地別では、日高川町で「学校の統廃合を進めるべきである」、県外で「将来的には統廃合を検討すべきである」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

教育環境への関心度別では、とても関心がある層で「学校の統廃合を進めるべきである」の割合が高くなっている。



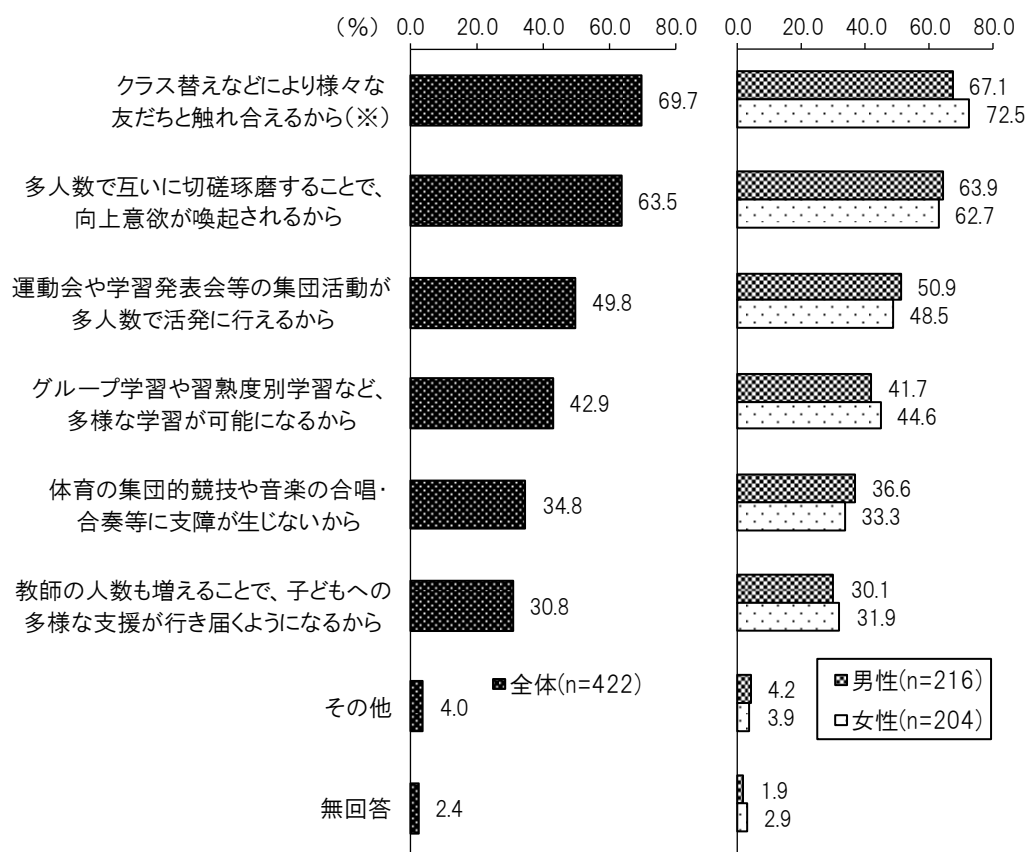
7 小学校の統廃合を進めるべきと思う理由

【問 13 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

問 14 統廃合を進める又は検討すべきと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

小学校の統廃合を進めるべきと思う理由については、「集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「多人数で互いに切磋琢磨することで、向上意欲が喚起されるから」（63.5%）、「運動会や学習発表会等の集団活動が多人数で活発に行えるから」（49.8%）、「グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから」（42.9%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから」の割合が高くなっている。



※集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから

居住地区別では、美山地区で「グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、20代で「体育の集団的競技や音楽の合唱・合奏等に支障が生じないから」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、小・中学生の子どもで「集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	から様々な友だちと触れ合えるよ	り化せ、中の人間関係が固定	るから、向上の意欲が喚起される	多人数で互いに切磋琢磨される	から活動が多人数で発表会等の集	運動会や学習発表会等の集	るから、多様な学習が可能な習	グループ学習や習熟度別に学	から、合唱・合奏等に支障が生じない	体育の集団的競技や音楽の合	届くようになると支障が	子どもへの多様な支援が行	教師の人数も増えること	その他
全体(n=422)	69.7	63.5	49.8	42.9	34.8	30.8	4.0							
【居住地区別】														
川辺地区(n=252)	70.6	61.1	46.4	41.3	31.7	33.3	5.6							
中津地区(n=76)	72.4	71.1	55.3	40.8	40.8	28.9	1.3							
美山地区(n=84)	66.7	66.7	57.1	48.8	40.5	23.8	1.2							
【年齢別】														
20代(n=28)	75.0	53.6	60.7	50.0	46.4	28.6	7.1							
30代(n=31)	77.4	54.8	51.6	51.6	35.5	32.3	0.0							
40代(n=35)	71.4	57.1	62.9	37.1	34.3	28.6	5.7							
50代(n=73)	69.9	71.2	46.6	50.7	37.0	28.8	4.1							
60代(n=129)	69.0	68.2	45.7	37.2	32.6	38.8	3.1							
70歳以上(n=126)	66.7	60.3	49.2	42.1	33.3	24.6	4.8							
【同居家族別】														
未就学児(n=31)	77.4	61.3	61.3	45.2	38.7	29.0	3.2							
小・中学生の子ども(n=23)	91.3	73.9	52.2	47.8	43.5	26.1	0.0							
高校生の子ども(n=29)	82.8	62.1	51.7	44.8	31.0	31.0	0.0							
大学生以上の子ども(n=40)	62.5	62.5	55.0	52.5	35.0	30.0	2.5							
あてはまる子どもはいない(n=306)	69.0	64.1	47.7	40.8	34.3	31.4	4.9							

8 小学校の統廃合の進め方

【問 13 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

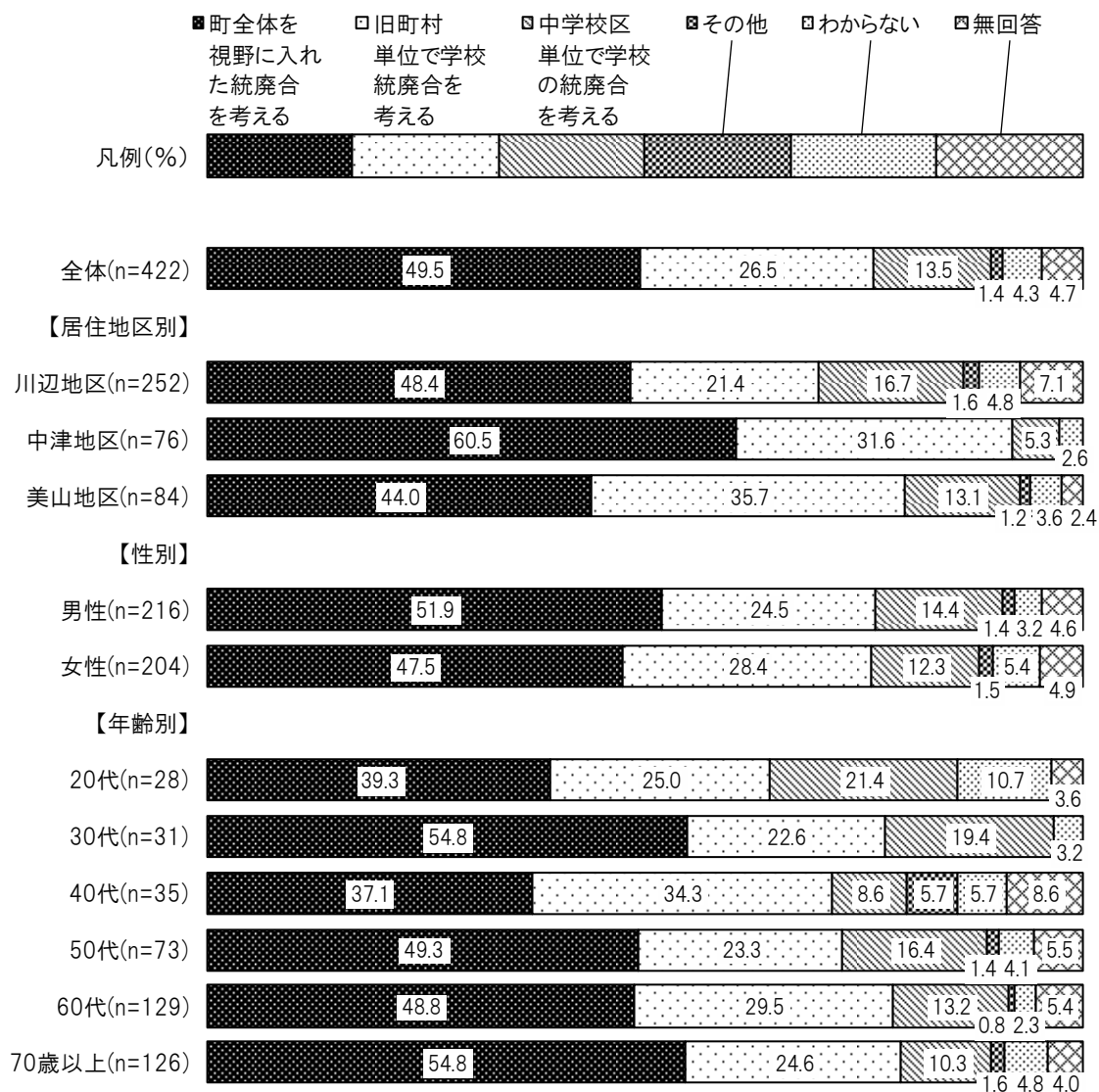
問 15 どのように統廃合を進めるべきだと思いますか。(○印1つ)

小学校の統廃合の進め方については、「町全体を視野に入れた統廃合を考える」の割合が49.5%と最も高く、次いで「旧町村単位で学校統廃合を考える」(26.5%)、「中学校区単位で学校の統廃合を考える」(13.5%)の順となっている。

居住地区別では、中津地区で「町全体を視野に入れた統廃合を考える」の割合が他の地区を大きく上回っている。

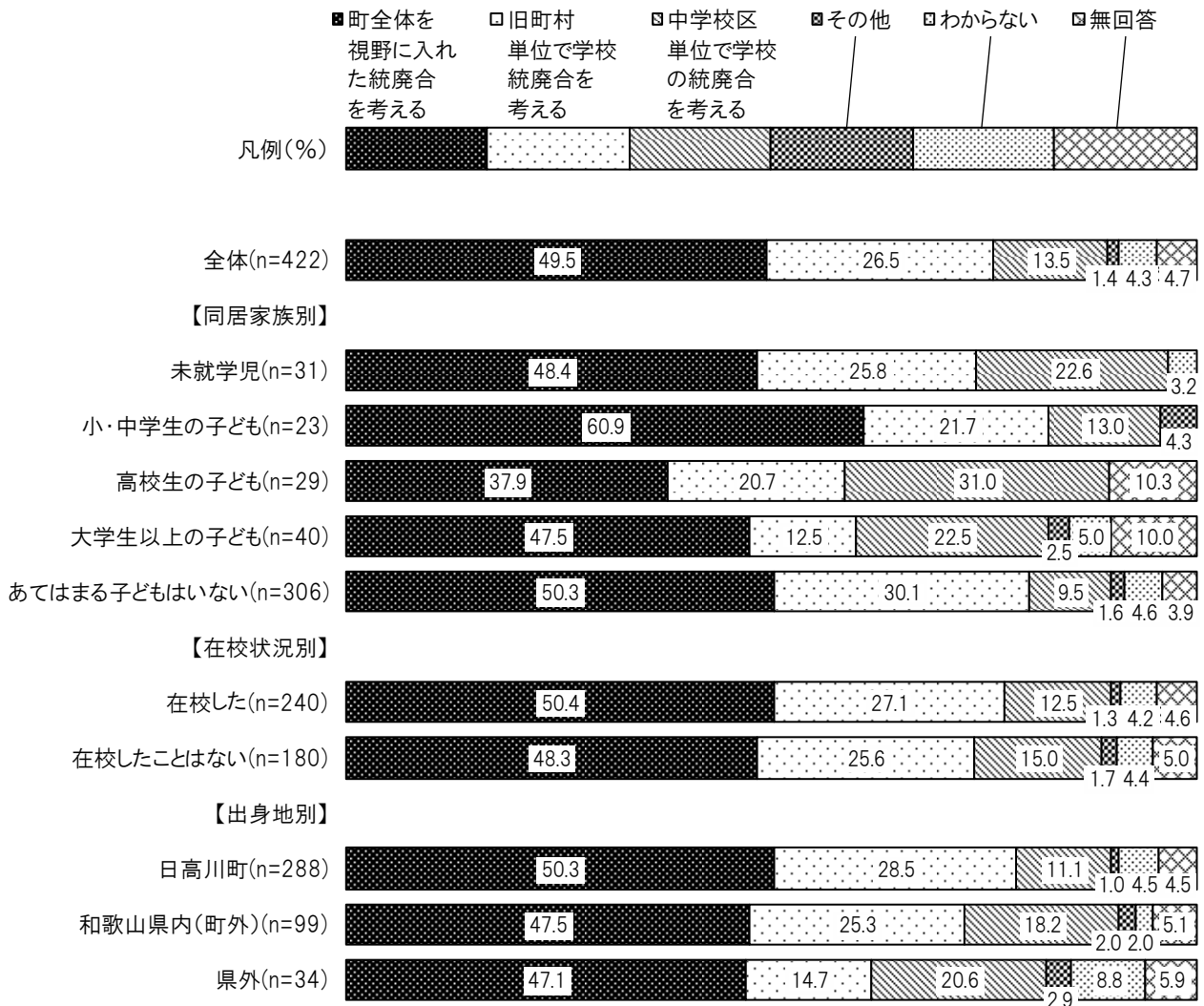
性別では、男性は女性に比べ「町全体を視野に入れた統廃合を考える」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、30代や70歳以上で「町全体を視野に入れた統廃合を考える」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



同居家族別では、小・中学生の子どもで「町全体を視野に入れた統廃合を考える」、高校生の子どもの「中学校区単位で学校の統廃合を考える」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

在校状況別では大きな差はみられないが、出身地別では日高川町や和歌山県内（町外）で「旧町村単位で学校の統廃合を考える」の割合が高くなっている。



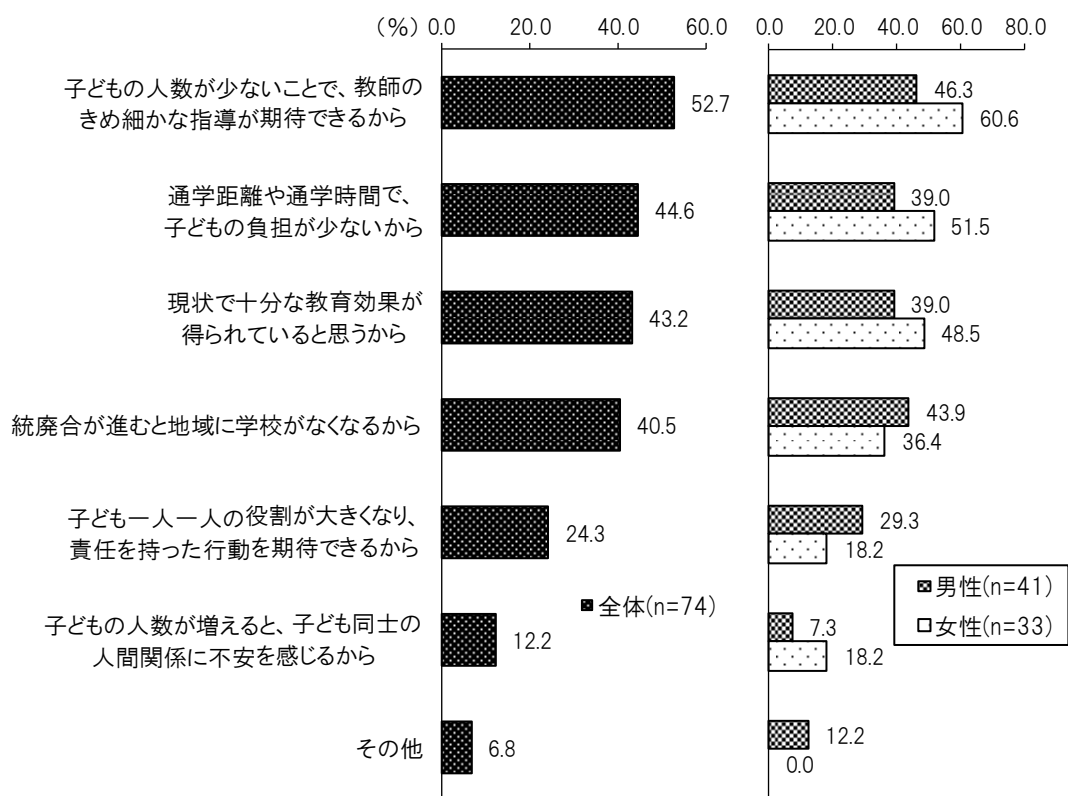
9 現状のままでよいと思う理由

【問 13 で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

問 16 現状のままでよいと思う理由は何ですか。(○印いくつでも)

現状のままでよいと思う理由については、「子どもの人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから」(44.6%)、「現状で十分な教育効果が得られていると思うから」(43.2%)、「統廃合が進むと地域に学校がなくなるから」(40.5%)の順となっている。

性別では、女性は「子どもの人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから」「通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから」などの割合が男性を大きく上回っている。



居住地区別では、川辺地区で「子どもの人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから」の割合が他の地区を大きく上回っている。

在校状況別では、在校した人は「統廃合が進むと地域に学校がなくなるから」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

単位 (%)	期待できるから 子ども教師の人数が きめ細かな指導が	も通学距離が 少ないから 子ども	現状で十分な 教育効果が 得られ	統廃合が進むと 地域に学校が なくなるから	期待できるから 子ども一人一人の 役割が大き	感じるところ から 子ども間の 関係に不安を 子	その他
全体(n=74)	52.7	44.6	43.2	40.5	24.3	12.2	6.8
【居住地区別】							
川辺地区(n=44)	61.4	52.3	45.5	40.9	22.7	15.9	6.8
中津地区(n=13)	38.5	46.2	46.2	38.5	23.1	7.7	7.7
美山地区(n=13)	38.5	15.4	38.5	38.5	30.8	7.7	0.0
【在校状況別】							
在校した(n=37)	54.1	40.5	37.8	45.9	24.3	8.1	10.8
在校したことはない(n=37)	51.4	48.6	48.6	35.1	24.3	16.2	2.7

10 中学校の統廃合について

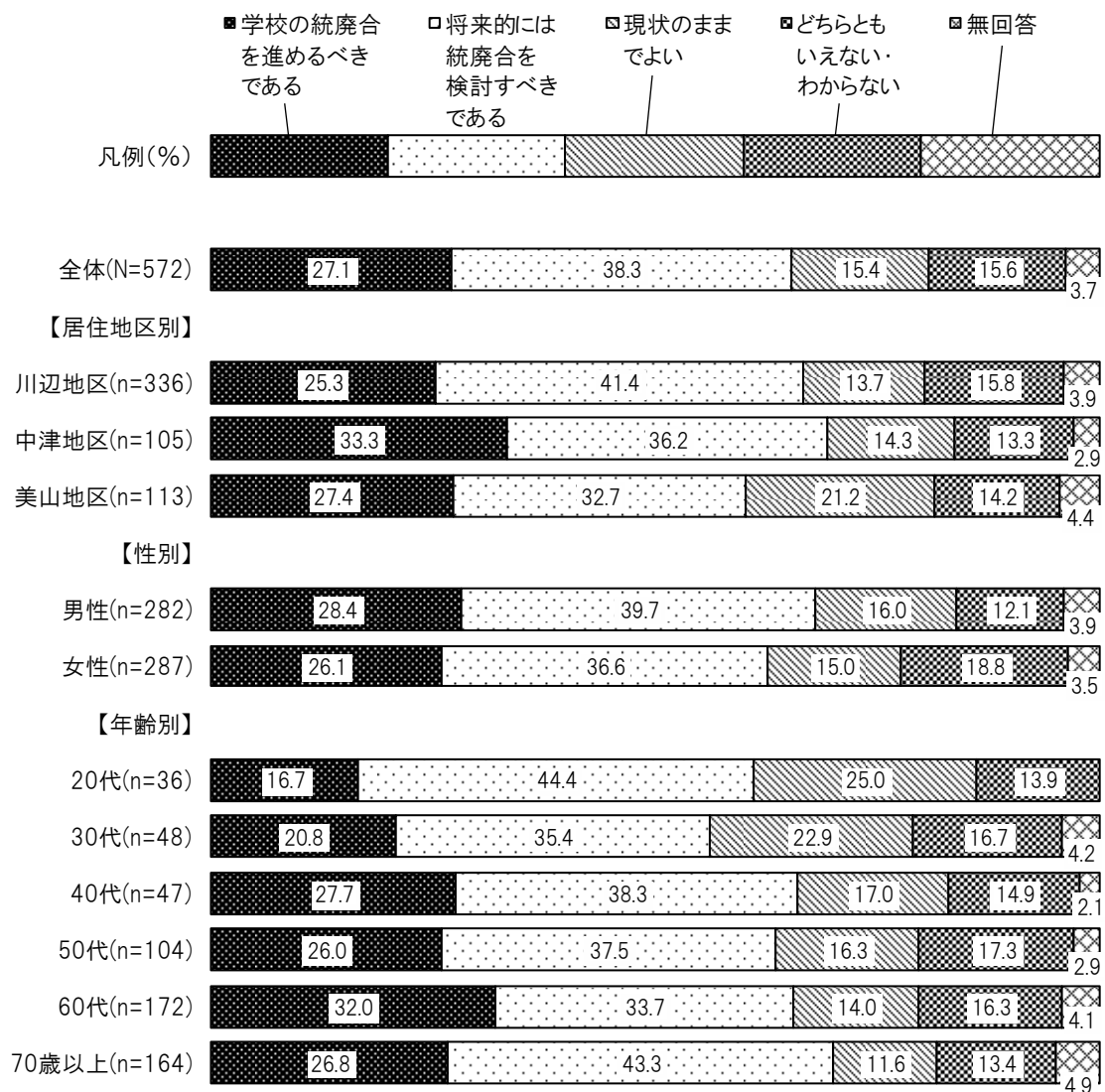
問 17 あなたは、中学校の統廃合について、どのように思いますか。（○印1つ）

中学校の統廃合については、「将来的には統廃合を検討すべきである」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「学校の統廃合を進めるべきである」（27.1%）、「現状のままでよい」（15.4%）の順となっている。

居住地区別では、川辺地区で「将来的には統廃合を検討すべきである」、中津地区で「学校の統廃合を進めるべきである」、美山地区で「現状のままでよい」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「どちらともいえない・わからない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30代以下で「現状のままでよい」、60代で「学校の統廃合を進めるべきである」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

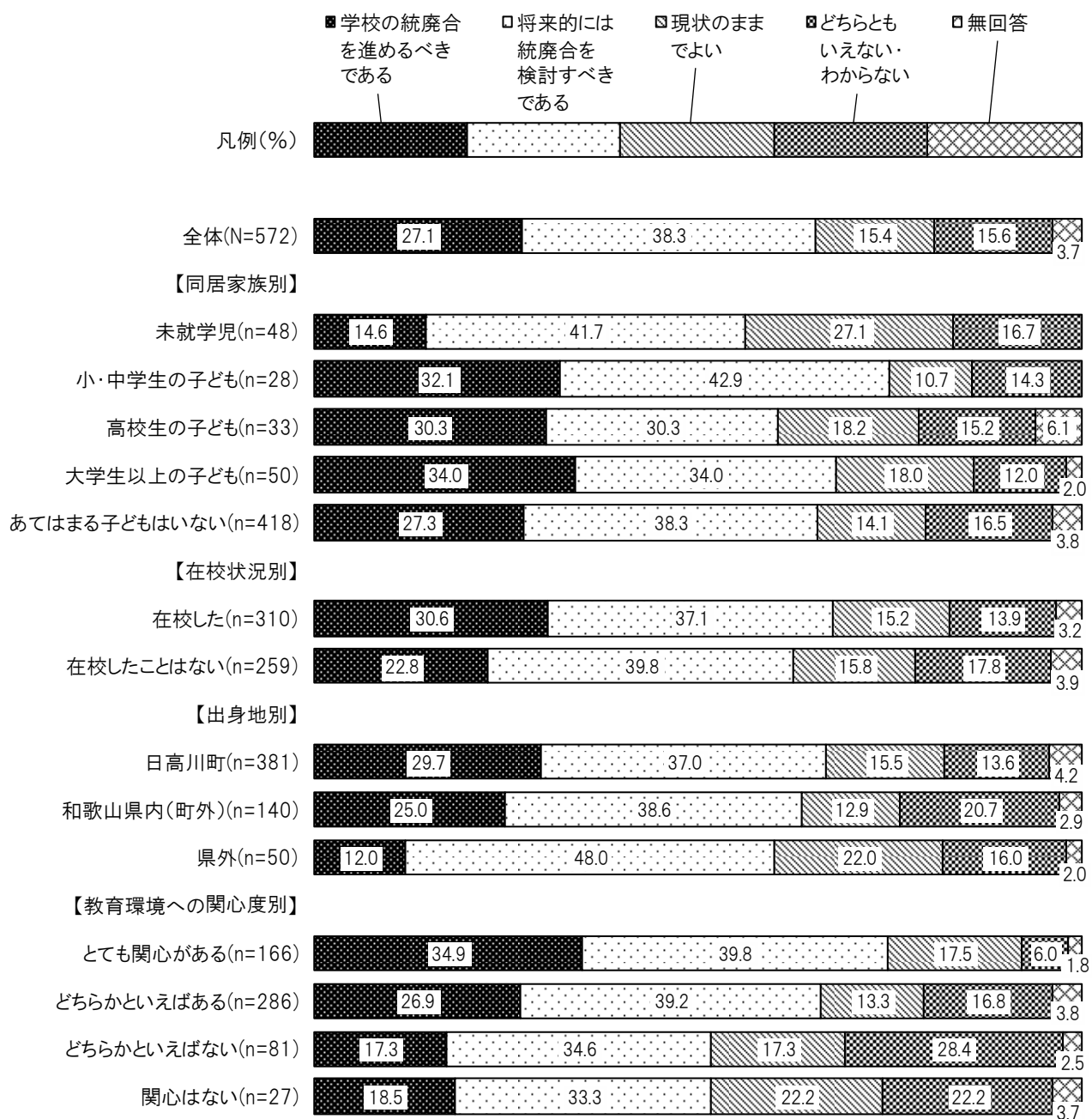


同居家族別では、未就学児で「現状のままでよい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

在校状況別では、在校した人は在校したことがない人に比べて「学校の統廃合を進めるべきである」の割合が高くなっている。

出身地別では、日高川町で「学校の統廃合を進めるべきである」、県外で「将来的には統廃合を検討すべきである」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

教育環境への関心度別では、関心がある層は関心がない層に比べて「学校の統廃合を進めるべきである」の割合が高くなっている。



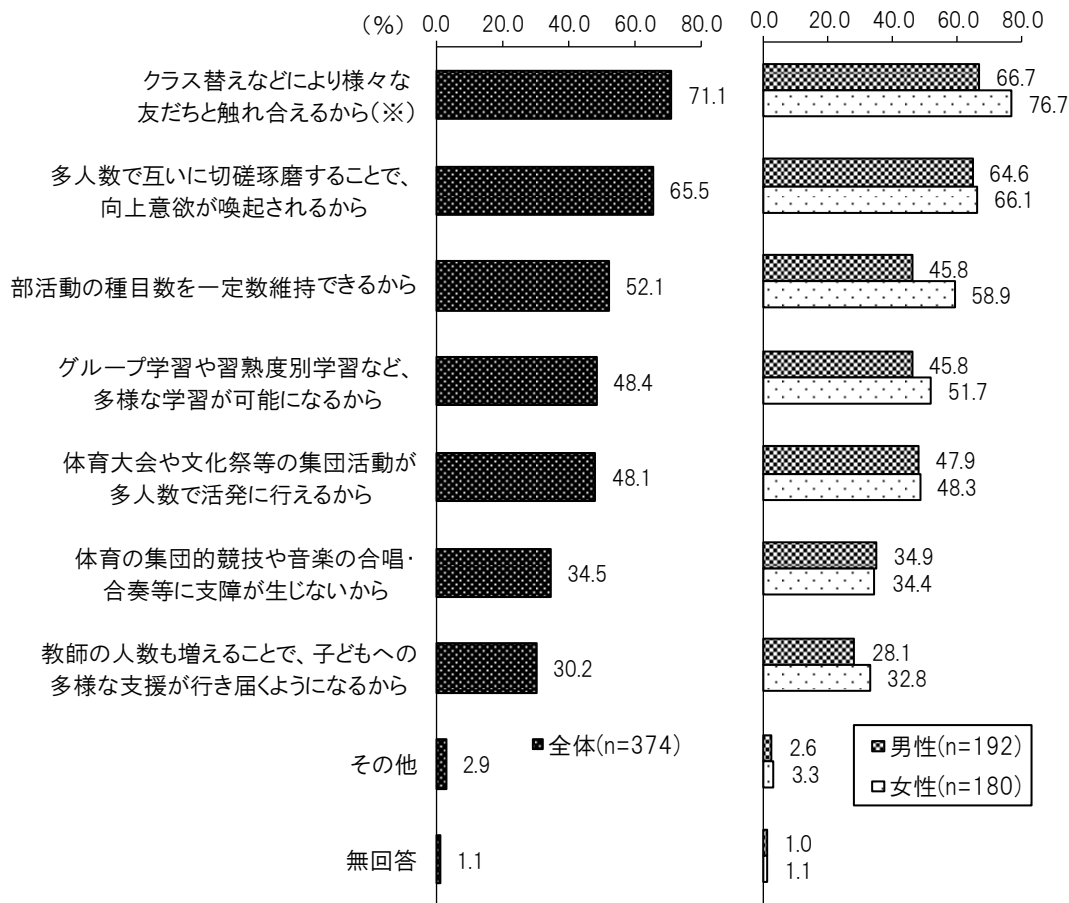
11 中学校の統廃合を進めるべきと思う理由

【問 17 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

問 18 統廃合を進める又は検討すべきと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

中学校の統廃合を進めるべきと思う理由については、「集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから」の割合が71.1%と最も高く、次いで「多人数で互いに切磋琢磨することで、向上意欲が喚起されるから」（65.5%）、「部活動の種目数を一定数維持できるから」（52.1%）、「グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから」（48.4%）の順となっている。

性別では、女性は「集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから」「部活動の種目数を一定数維持できるから」の割合が男性を大きく上回っている。



※集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから

居住地区別では、美山地区で「グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、20代で「部活動の種目数を一定数維持できるから」「体育大会や文化祭等の集団活動が多人数で活発に行えるから」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、高校生の子どもで「体育大会や文化祭等の集団活動が多人数で活発に行えるから」、大学生以上の子どもで「グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

単位 (%)	から様々 な友だち と触れ合 えるよ	化せ、中 で、人間 関係が固 定	集団の中 で、向上 意欲が喚 起される	こと、互 いに切磋 琢磨する	多人数で 向上意欲 が喚起さ れる	部活動の 種目数を 一定数維 持	できるか ら	など、多 様な学習 が可能な 学習	グルー プ学習 や習熟 度別に学 習	ら動 が育 大会 や文 化祭 に等 の集 団活	か ら・合 奏等 に支 障が 生じ ない 合	届くよ うにな るから	子ど もの多 様な支 援が行 き	教師の 人数も 増える ことで	その他
全体(n=374)	71.1	65.5	52.1	48.4	48.1	34.5	30.2	2.9							
【居住地区別】															
川辺地区(n=224)	72.3	62.9	50.4	46.0	43.8	31.7	31.3	3.6							
中津地区(n=73)	68.5	72.6	53.4	49.3	58.9	41.1	30.1	1.4							
美山地区(n=68)	70.6	69.1	58.8	57.4	52.9	39.7	25.0	1.5							
【年齢別】															
20代(n=22)	77.3	59.1	72.7	54.5	63.6	36.4	31.8	4.5							
30代(n=27)	77.8	63.0	55.6	59.3	51.9	37.0	33.3	0.0							
40代(n=31)	77.4	54.8	64.5	48.4	51.6	45.2	22.6	6.5							
50代(n=66)	69.7	71.2	60.6	60.6	48.5	39.4	28.8	1.5							
60代(n=113)	70.8	70.8	51.3	46.0	43.4	31.0	31.9	1.8							
70歳以上(n=115)	67.8	61.7	40.0	40.0	47.8	31.3	30.4	4.3							
【同居家族別】															
未就学児(n=27)	92.6	63.0	66.7	51.9	44.4	33.3	33.3	3.7							
小・中学生の子ども(n=21)	95.2	71.4	57.1	42.9	52.4	42.9	28.6	0.0							
高校生の子ども(n=20)	85.0	60.0	60.0	50.0	70.0	45.0	30.0	0.0							
大学生以上の子ども(n=34)	70.6	64.7	70.6	64.7	58.8	44.1	29.4	2.9							
あてはまる子どもはいない(n=274)	67.5	66.1	48.9	47.4	46.0	33.2	30.3	3.3							

12 中学校の統廃合の進め方

【問 17 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

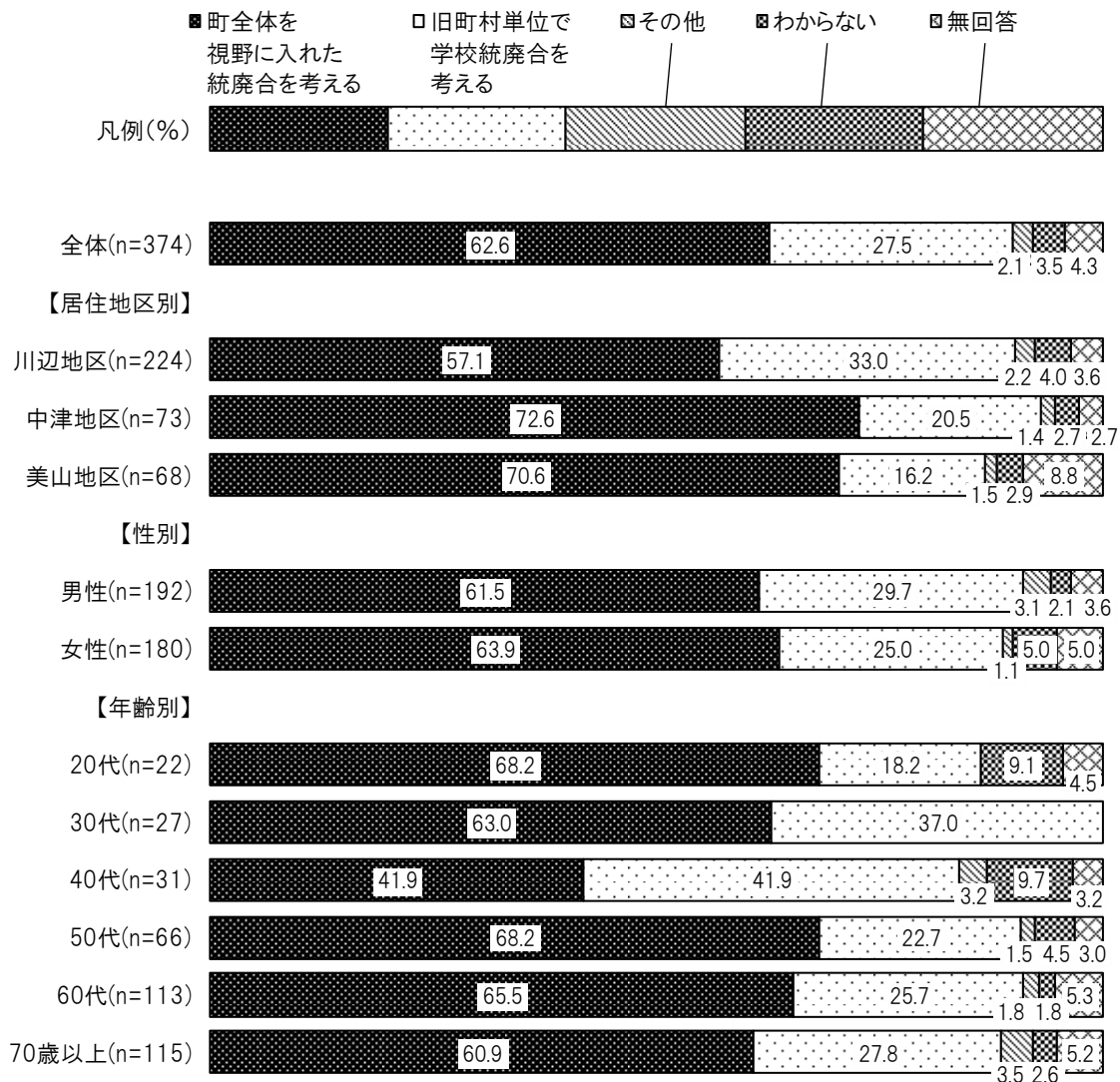
問 19 どのように統廃合を進めるべきだと思いますか。（○印1つ）

中学校の統廃合の進め方については、「町全体を視野に入れた統廃合を考える」の割合が62.6%と最も高く、次いで「旧町村単位で学校統廃合を考える」（27.5%）が続いている。

居住地区別では、川辺地区で「旧町村単位で学校統廃合を考える」の割合が他の地区を大きく上回っている。

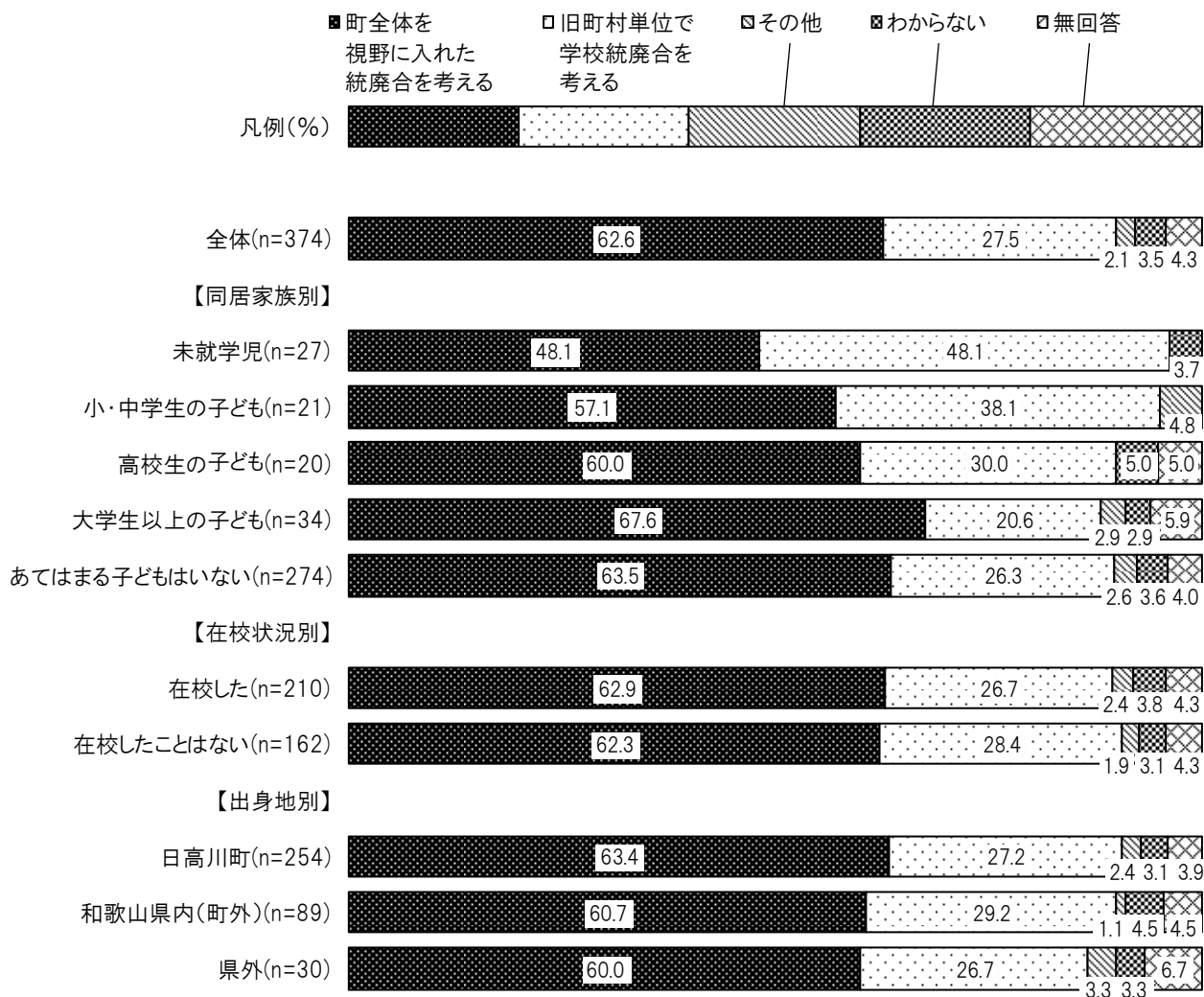
性別では、男性は女性に比べ「旧町村単位で学校統廃合を考える」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40代で「旧町村単位で学校統廃合を考える」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



同居家族別では、未就学児で「旧町村単位で学校統廃合を考える」の割合が他の層を大きく上回っている。

在校状況別や出身地別では、大きな差はみられない。



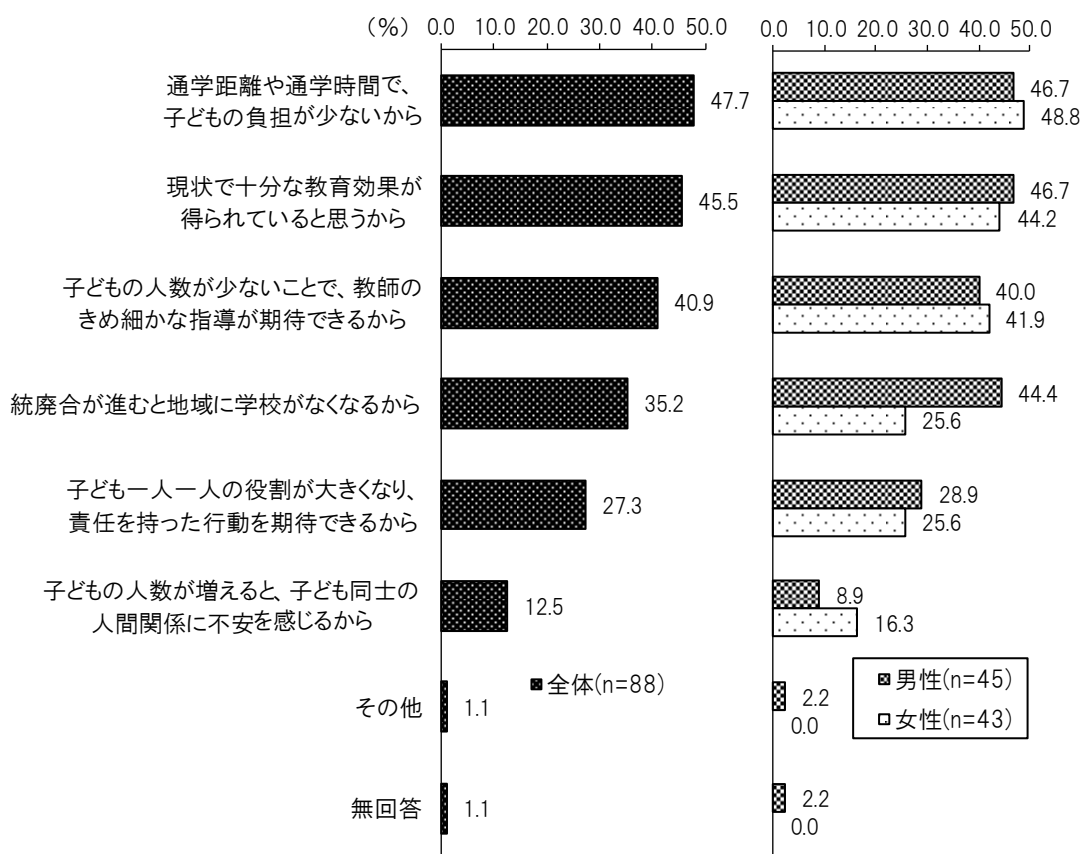
13 現状のままでよいと思う理由

【問 17 で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

問 20 現状のままでよいと思う理由は何ですか。(○印いくつでも)

現状のままでよいと思う理由については、「通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから」の割合が47.7%と最も高く、次いで「現状で十分な教育効果が得られていると思うから」(45.5%)、「子どもの人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから」(40.9%)、「統廃合が進むと地域に学校がなくなるから」(35.2%)の順となっている。

性別では、男性は「統廃合が進むと地域に学校がなくなるから」の割合が女性を大きく上回っている。



居住地区別では、美山地区で「子ども一人一人の役割が大きくなり、責任を持った行動を期待できるから」の割合が他の地区を大きく上回っている。

在校状況別では、在校した人は「通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから」「統廃合が進むと地域に学校がなくなるから」の割合が在校したことがない人を大きく上回っている。

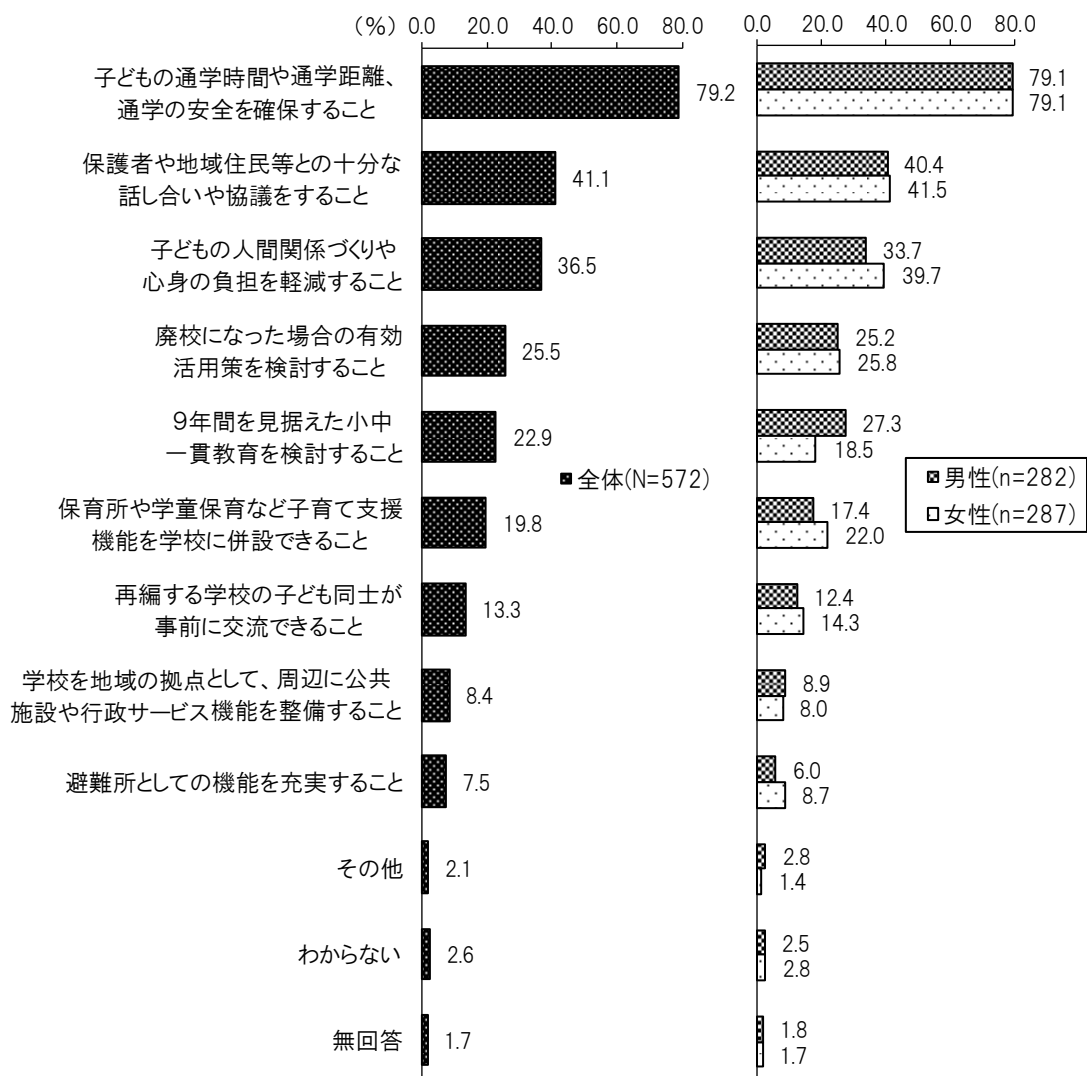
単位 (%)	子ども通学距離や通学時間から	現状で十分な教育効果が得られていると思うから	子ども教師の人数が少なくないこと	統廃合が進むと地域に学校	子ども一人一人の役割が大きくなり、責任を持つが大	子ども同士の人間関係に不安を感じるから	子どもが増え、	その他
全体(n=88)	47.7	45.5	40.9	35.2	27.3	12.5		1.1
【居住地区別】								
川辺地区(n=46)	39.1	45.7	45.7	39.1	23.9	13.0		2.2
中津地区(n=15)	60.0	46.7	40.0	33.3	26.7	13.3		0.0
美山地区(n=24)	54.2	41.7	29.2	29.2	37.5	12.5		0.0
【在校状況別】								
在校した(n=47)	55.3	44.7	38.3	40.4	25.5	8.5		2.1
在校したことはない(n=41)	39.0	46.3	43.9	29.3	29.3	17.1		0.0

14 統廃合を進める場合に配慮すべき点

問 21 今後、日高川町で学校の統廃合を進めることを想定した場合、どのような点に配慮すべきだと思いますか。（○印3つまで）

統廃合を進める場合に配慮すべき点については、「子どもの通学時間や通学距離、通学の安全を確保すること」の割合が79.2%と最も高く、次いで「保護者や地域住民等との十分な話し合いや協議をすること」（41.1%）、「子どもの人間関係づくりや心身の負担を軽減すること」（36.5%）、「廃校になった場合の有効活用策を検討すること」（25.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「9年間を見据えた小中一貫教育を検討すること」の割合が高く、女性は「子どもの人間関係づくりや心身の負担を軽減すること」の割合が男性を上回っている。



居住地区別では、川辺地区で「保護者や地域住民等との十分な話し合いや協議をすること」、美山地区で「再編する学校の子ども同士が事前に交流できること」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代で「廃校になった場合の有効活用策を検討すること」「保育所や学童保育など子育て支援機能を学校に併設できること」、60代以上で「9年間を見据えた小中一貫教育を検討すること」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、未就学児や小・中学生の子どもで「保育所や学童保育など子育て支援機能を学校に併設できること」、高校生の子どもで「廃校になった場合の有効活用策を検討すること」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

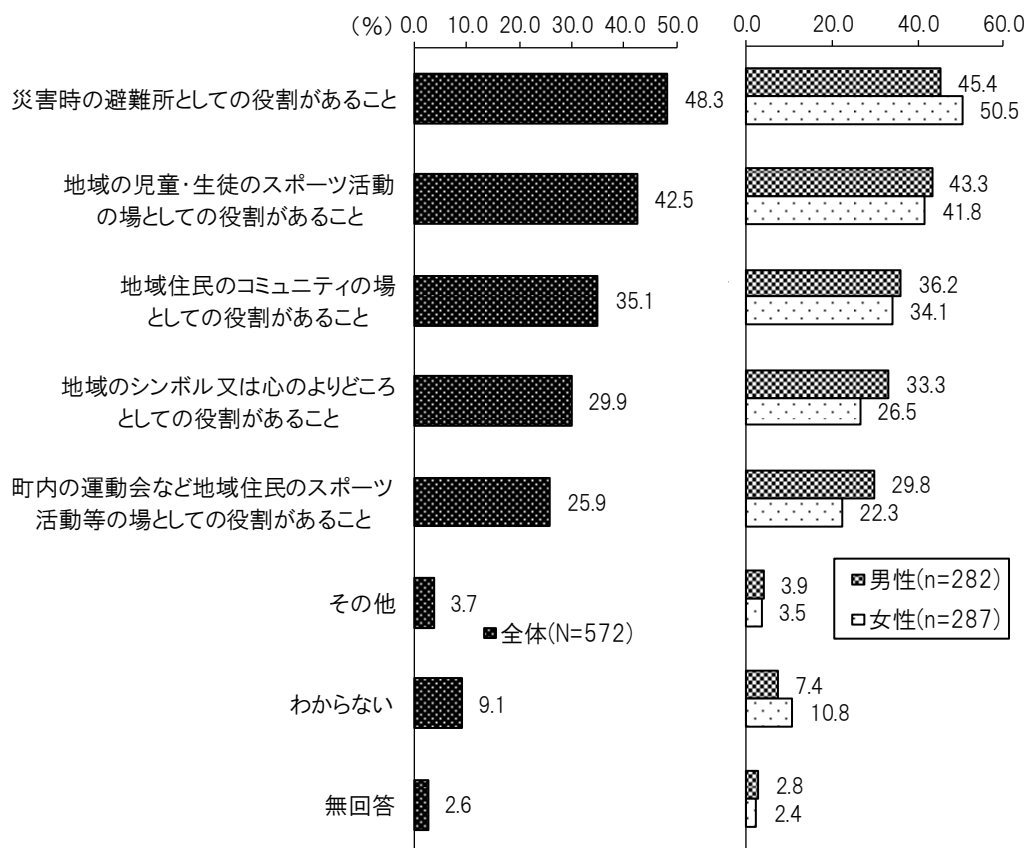
単位 (%)	こ と	離 子 と の 通 学 の 通 安 全 時 間 を 確 保 す る 距 離	分 こ と な 話 し 合 い や 協 議 を す る 十	保 護 者 や 地 域 住 民 等 と の 十	心 子 ど も の 負 担 を 軽 減 す る こ り や	用 廃 校 に な っ た 場 合 の 有 効 活 用 策 を 検 討 す る こ と	教 育 を 検 討 す る こ と	9 年 間 を 見 据 え た 小 中 一 貫	き る こ と	保 育 所 や 学 童 保 育 な ど 子 育 て 支 援 機 能 を 学 校 に 併 設 で き る こ と	再 編 す る 学 校 の 子 ど も 同 士 が 事 前 に 交 流 で き る こ と	再 編 す る 学 校 の 子 ど も 同 士 が 事 前 に 交 流 で き る こ と	ビ ジ ネ ッ ス 機 能 を 整 備 す る こ と	周 辺 に 公 共 施 設 や 行 政 サ ー ビス 機 能 を 整 備 す る こ と	学 校 を 地 域 の 拠 点 と し て の 機 能 を 充 実 す る こ と	避 難 所 と し て の 機 能 を 充 実 す る こ と	そ の 他	わ か ら な い	
全体(N=572)		79.2	41.1	36.5	25.5	22.9	19.8	13.3	8.4	7.5	2.1	2.6							
【居住地区別】																			
川辺地区(n=336)		78.3	45.8	37.5	26.2	21.4	19.3	11.9	8.3	7.7	2.1	2.4							
中津地区(n=105)		79.0	33.3	35.2	24.8	24.8	23.8	10.5	8.6	7.6	1.9	1.9							
美山地区(n=113)		84.1	32.7	36.3	23.9	25.7	17.7	20.4	9.7	5.3	1.8	2.7							
【年齢別】																			
20代(n=36)		88.9	41.7	50.0	16.7	16.7	13.9	11.1	8.3	8.3	2.8	0.0							
30代(n=48)		83.3	31.3	45.8	35.4	16.7	33.3	16.7	8.3	8.3	2.1	0.0							
40代(n=47)		72.3	29.8	48.9	27.7	10.6	19.1	19.1	8.5	10.6	2.1	2.1							
50代(n=104)		78.8	38.5	41.3	26.0	19.2	25.0	20.2	7.7	5.8	3.8	1.9							
60代(n=172)		80.8	44.2	32.6	25.0	28.5	22.1	8.7	8.7	8.1	2.9	2.3							
70歳以上(n=164)		76.2	45.1	28.0	24.4	26.2	11.6	11.6	8.5	6.7	0.0	4.9							
【同居家族別】																			
未就学児(n=48)		87.5	31.3	45.8	18.8	10.4	35.4	16.7	6.3	12.5	4.2	0.0							
小・中学生の子ども(n=28)		75.0	50.0	25.0	17.9	17.9	32.1	17.9	7.1	10.7	7.1	3.6							
高校生の子ども(n=33)		87.9	54.5	42.4	36.4	18.2	21.2	18.2	6.1	6.1	0.0	0.0							
大学生以上の子ども(n=50)		76.0	48.0	46.0	18.0	22.0	18.0	14.0	4.0	4.0	4.0	2.0							
あてはまる子どもはいない(n=418)		79.2	40.0	35.4	26.8	24.4	17.5	12.0	9.3	7.4	1.7	3.1							

15 小・中学校が地域に果たす役割について

問 22 あなたは、小・中学校が地域に果たす役割について、どのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

小・中学校が地域に果たす役割については、「災害時の避難所としての役割があること」の割合が48.3%と最も高く、次いで「地域の児童・生徒のスポーツ活動の場としての役割があること」(42.5%)、「地域住民のコミュニティの場としての役割があること」(35.1%)、「地域のシンボル又は心のよりどころとしての役割があること」(29.9%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「地域のシンボル又は心のよりどころとしての役割があること」「町内の運動会など地域住民のスポーツ活動等の場としての役割があること」の割合が高くなっている。



居住地区別では、川辺地区で「地域住民のコミュニティの場としての役割があること」、中津地区で「地域の児童・生徒のスポーツ活動の場としての役割があること」、美山地区で「町内の運動会など地域住民のスポーツ活動等の場としての役割があること」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代で「地域の児童・生徒のスポーツ活動の場としての役割があること」、60代で「地域のシンボル又は心のよりどころとしての役割があること」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、未就学児で「地域住民のコミュニティの場としての役割があること」の割合が他の層を大きく上回っている。

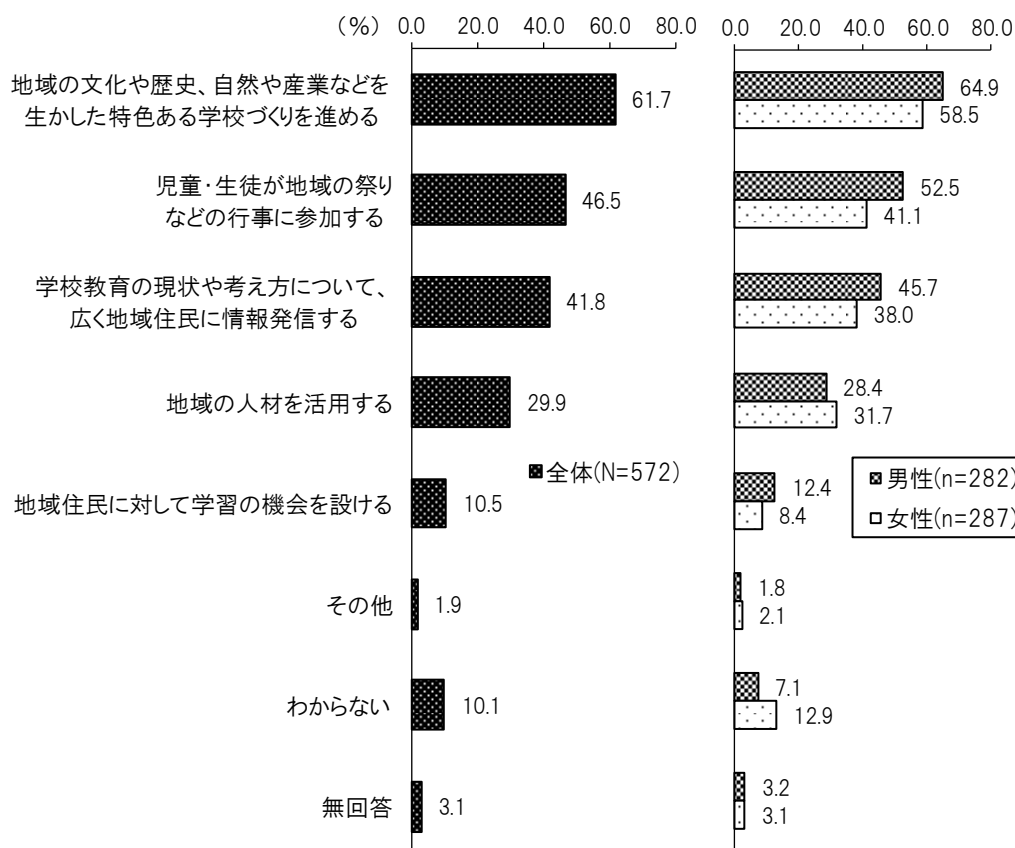
単位 (%)	災害が ある時 避難所 としての 役割	地域の 児童・ 生徒の スポーツ 活動の 場としての 役割	地域の シンボル 又は心の よりどころ としての 役割	地域の コミュニティ の場としての 役割	地域の シンボル 又は心の よりどころ としての 役割	町内の 運動会 など この 地域の 住民 の役割 がある こと	その他	わからない
全体(N=572)	48.3	42.5	35.1	29.9	25.9	3.7	9.1	
【居住地区別】								
川辺地区(n=336)	50.0	42.6	38.7	28.0	25.9	4.2	8.3	
中津地区(n=105)	46.7	52.4	25.7	32.4	19.0	5.7	8.6	
美山地区(n=113)	44.2	35.4	32.7	34.5	33.6	0.9	9.7	
【年齢別】								
20代(n=36)	38.9	47.2	44.4	25.0	33.3	0.0	5.6	
30代(n=48)	50.0	54.2	37.5	25.0	16.7	6.3	4.2	
40代(n=47)	51.1	46.8	34.0	17.0	19.1	4.3	12.8	
50代(n=104)	43.3	42.3	31.7	26.9	26.0	4.8	13.5	
60代(n=172)	45.3	39.5	39.5	37.8	26.7	4.1	8.7	
70歳以上(n=164)	55.5	40.2	30.5	29.3	28.0	1.8	7.9	
【同居家族別】								
未就学児(n=48)	43.8	41.7	52.1	25.0	22.9	4.2	6.3	
小・中学生の子ども(n=28)	50.0	42.9	25.0	39.3	17.9	0.0	14.3	
高校生の子ども(n=33)	45.5	42.4	30.3	18.2	24.2	3.0	15.2	
大学生以上の子ども(n=50)	50.0	32.0	38.0	32.0	18.0	4.0	18.0	
あてはまる子どもはいない(n=418)	47.8	42.8	33.5	30.4	27.0	4.1	8.6	

16 小・中学校と地域との関わりについて

問 23 あなたは、小・中学校と地域との関わりについて、どのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

小・中学校と地域との関わりについては、「地域の文化や歴史、自然や産業などを生かした特色ある学校づくりを進める」の割合が61.7%と最も高く、次いで「児童・生徒が地域の祭りなどの行事に参加する」（46.5%）、「学校教育の現状や考え方について、広く地域住民に情報発信する」（41.8%）、「地域の人材を活用する」（29.9%）の順となっている。

性別では、男性は「児童・生徒が地域の祭りなどの行事に参加する」の割合が女性を大きく上回っている。



居住地区別では、川辺地区で「学校教育の現状や考え方について、広く地域住民に情報発信する」、美山地区で「児童・生徒が地域の祭りなどの行事に参加する」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、20代や40代で「児童・生徒が地域の祭りなどの行事に参加する」、60代で「地域の文化や歴史、自然や産業などを生かした特色ある学校づくりを進める」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、大学生以上の子どもで「地域の人材を活用する」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	産地 学業 校な づく りを か進 めし た特 色あ や	ど の 児 童 行 事 に 徒 が 参 加 す る 祭 り な	報 つ 学 校 教 育 の 現 状 や 考 え 方 に 関 心 す る	地 域 の 人 材 を 活 用 す る	会 地 域 住 民 に 対 し て 学 習 の 機 会 を 設 け る	そ の 他	わ か ら な い
全体(N=572)	61.7	46.5	41.8	29.9	10.5	1.9	10.1
【居住地区別】							
川辺地区(n=336)	58.6	42.3	46.1	31.3	9.8	2.1	10.4
中津地区(n=105)	64.8	50.5	31.4	33.3	13.3	1.9	7.6
美山地区(n=113)	68.1	57.5	37.2	23.0	10.6	1.8	9.7
【年齢別】							
20代(n=36)	36.1	58.3	38.9	36.1	13.9	2.8	13.9
30代(n=48)	50.0	43.8	43.8	41.7	10.4	0.0	10.4
40代(n=47)	59.6	55.3	23.4	27.7	6.4	2.1	14.9
50代(n=104)	63.5	44.2	39.4	28.8	10.6	2.9	14.4
60代(n=172)	70.3	44.8	41.9	32.0	13.4	2.9	8.1
70歳以上(n=164)	61.6	45.7	48.8	24.4	7.9	0.0	7.3
【同居家族別】							
未就学児(n=48)	54.2	45.8	43.8	27.1	16.7	2.1	10.4
小・中学生の子ども(n=28)	60.7	39.3	39.3	21.4	14.3	0.0	21.4
高校生の子ども(n=33)	63.6	48.5	36.4	27.3	6.1	0.0	15.2
大学生以上の子ども(n=50)	64.0	38.0	46.0	38.0	2.0	4.0	14.0
あてはまる子どもはない(n=418)	62.2	46.9	41.4	30.4	10.3	1.9	9.8

17 学校規模の適正化について（自由記述回答）

問 24 日高川町における学校規模の適正化について、ご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。

学校規模の適正化について、意見・要望等を自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、誤字等の修正を除き、原文に基づいて小学校区別に掲載している。

川辺西小学校区

- ・子どもたちが多くの人たちと交流できればと思っています。（男性 20 代）
- ・小中学校等の問題（課題）もそうだが、高校も生徒数の確保や維持が難しいかもしれないが、和佐、蛇尾、中津地区だと日高高校や中津分校、紀央館に通うには少し遠く、通学が大変に思えることもあるのではないだろうか。同級生で美山からバスで通っていた友人は、毎月バスの定期券がめちゃくちゃ高かったと言っていた。自分は蛇尾地区から日高高校まで自転車で通学を付属中学校を含め 6 年間通学したが、坂道が多かったり、今は少し増えたが以前は街灯なども少なく、真っ暗な中を通学したこともあった。新しく高校を建てるとなると難しい話だと思うが、安全に時間も金も少なくて済むような通学手段の検討もしていいのではないかと思う。（男性 20 代）
- ・近年は教職員の多忙がよく取り上げられており、付近の学校でも夜 9 時を過ぎても電気がついてお仕事をされているようです。他の設問でも学校と地域や統合についてのものがありますが、そのようなことを考える前に教職員一人一人の多忙を解消してあげることが最優先ではないでしょうか。このままでは適正な教育が行われるのか不安です。（男性 30 代）
- ・設問にも記入しましたが、参考資料では令和 9 年度までの児童・生徒数の推移がありますが、その先においても増加が見込めないように思います。そのため、長期的視野に立ち、統廃合を進めていただきたいです。町合併から十数年経過しており、旧町村という地域で町全体として考えていただきたいです。（男性 40 代）
- ・いろいろ大変でしょうが頑張ってください。（男性 50 代）
- ・子どもがいないため、学校の現状について耳にする機会はあまりありません。資料を見て、中津地区は早くに小中とも統合し、これだけ児童・生徒数がいて成功しているのだなと感じました。20～30 年先まで見通した大きな統廃合が必要ではないでしょうか。東西に広い日高川町。通学方法の問題や放課後の子どもたちの安全など、検討しなくてはいけないことがたくさんあり、難しいですが、このようにアンケートで一住民の声を拾っていただけるのはありがたいです。中津地区で長距離バス通学の保護者の方のご苦労や喜んでいる点を聞いてみたいと思いました。（男性 50 代）
- ・児童、生徒を第一に考えた適正化が専らになればと思います。（男性 50 代）
- ・1 学級ある程度の人数（20 人とか）で 2 学級位で、小中学校のある程度の人数構成が適正だと思います。しかし地域的に学校までの通学距離が遠くなる生徒も出てくるため、スクールバス対応は、やむを得ないと思う。（男性 50 代）

- ・小学校から中学校への進学では、別々の中学校にならないようにすること。一部地域で小学校から中学校への進学の際、別々の中学校への進学があった。大成中学校のあり方を考えてほしい。（大成中ができた経緯は知らないが）御坊市の子どもとの交流は賛成だが、日高川町の生徒も減っている中、わざわざ御坊市の子どもと一緒に中学校にするのはどうかと思う。（男性 50 代）
- ・学業でもクラブ活動でも競争相手があるのとないのでは、かなりの差が出ると思います。私はバレーボールを通じて県で優勝し国体出場の体験をしました。中学校の部員は 20 人程度でしたが、上手な選手を選ぶ必要からある程度の数が必要です。学校規模の適正にどれだけ答えられたか分かりませんが、ある程度の競争ができる規模ですね。（男性 60 代）
- ・今年複数の学校（中）を訪問し、授業を参観しました。10 人以下と 30 人の学級でしたが、授業の活気が全く違い、適正規模があると感じました。子どもたちは、それぞれ違った考え方があり、授業の中でもその考えを出し合い、“練り合い”をし、良い答えを見出していくものです。いろいろな意見、答えが飛び交う授業が理想と考えます。（男性 60 代）
- ・①小学校、中学校の統廃合により、学生の学習意欲等を活発化する必要があり、将来のことを見据えた人間同士の関わり合い及び思いやり等をより進めていく必要性を感じる。②学生数が少ないと競争心が育ちにくい実情があると思う。（男性 60 代）
- ・現在の日高川町の小中学校で行われている教育活動は、各学校が創意工夫し、地域の教育力を活用しながら適切に行われていると思います。また、子どもたちを見ても、他の地域に負けない成果が出ていると思います。いろいろな考え方があると思いますが、学校規模を他地域と同じにするのではなく、日高川町の良さを継続させ、どんな人を育てるのかを地域や保護者と話し合い、児童や生徒のために行われることを願います。（男性 60 代）
- ・体力、精神力、コミュニケーションが強い子ども、正しいことと悪いことが区別できる子どもを育てていく社会をつくろう。（男性 60 代）
- ・適正な学校の規模ということについては、これが正解という答えはないと思いますが、小さくても大きくても弊害は出ると考えます。ただあまりに少人数の中での教育は、集団での活動や競争意欲を育むといった点で支障が出て来そうに思います。学校の統廃合は必ず進めなければならない問題であり、子どもたちの安全や通学時間を良く考えた上でなら賛同を得られると考えます。このままの状態を放置すれば被害をこうむるのは子どもたちです。子どもというものは、大人が考えるより新しい環境に適応する力を持っているものです。これ以上大人の都合を子どもたちに押し付けるようなことは慎みたいものです。（男性 60 代）
- ・日高川町が広すぎるからいろいろ問題が出てくると思います。川辺のほうは現状でいいと思うが、中津、美山地区で様々な問題が出るので地域住民、学校関係者の話し合いが必要だと思います。（男性 60 代）
- ・現在の社会情勢を考えると町の学校は、それぞれ 1 校にすべき。日常における通学事情などの負担が重荷になる場合は、サテライト化し、集合学習、Web 学習により、より質の高い教育環境にしたほうが良いと考える。今はその時期である。強いリーダーシップで教育の場の改革を実行し、町の活性化に挑んでほしい。（男性 70 歳以上）

- ・私は、70 歳を過ぎた老人ですがこの町に生まれて育ち、生まれた家で去ることになりますが、人生の中で小学校、中学校と友達が多いほど良い。特に同級生は人生様々、20 年ぶり 30 年ぶりに会ってもいいものだ。小学校 51 名、中学校 117 名、楽しい人生を過ごしたと思う。1 人でも多くの同級生ができる大きな学校であってほしい。コロナが終息したら、また同級会を持ちたい。（男性 70 歳以上）
- ・教育方針の差別化により学区を越えて自由に学校を選択できるほうが有意義と思われる。（女性 20 代）
- ・日高川町にかかわらず 1 学級 10～25 人程度、2～3 クラスあるほうが子どもたちが過ごしやすく、また学びの場として社会性を身につける場としても良いのではないかと思う。またそれにより様々な大人の目があることによって、問題をすばやく発見し、多方面からアプローチできると思う。でも規模が大きくなることによって職員 1 人あたりの負担が増えるので少人数学級にもメリットはあり難しいと思う・・・。（女性 20 代）
- ・主旨の違う回答になってしまうかもしれませんが、子どもの通う学校で、リストカットが流行したときがあり、カッターを持ち込んだが生徒と流血事件のような出来事があったと近所の住人から聞きました。うちの子どものはその話を知りませんでした。噂話なのか本当のことかは分からないままですが、そのような場合、学校から説明が何もないのは通常なのでしょうか。リストカットが流行したのは事実のようですが、こちらから聞かなければ話はありませんでした。リストカットもナイーブな問題だとは思いますが、書面でなり、何か説明があってもいいのではないかと思いました。（女性 30 代）
- ・極端に人数の少ない学校は統合を進めてほしいと前から思っております。気の合う友達が学校にいないなどの声も聞きますので、それが理由で学校が楽しくないと感じる子どもがかわいそうだと思います。（女性 40 代）
- ・中学校の統廃合について、私どもの地区は特殊な地区です。小学校は川辺西小学校、中学校は早蘇中学校に行かなければならず、中学進学するときには川辺西小学校でつくった多くの友達と離れなければなりません。このことについては、私どもの地区で親にとっても頭の痛い問題で長い間、そして今も悩まされています。どうか、中学校の統廃合は小学校区単位で考えてください。無理ならば大成中か早蘇中どちらか選べるようにしていただきたいです。（女性 40 代）
- ・統廃合には反対する人はもちろんいると思いますが、子どもたちのことを考えると、やはり多人数で学べることは多いと思います。実際に少ない所で良い面、多い所での良い面はあると思いますが、少人数だとコミュニケーションの場、明るい子はどこでもなじめるけど、女子だと 3 人だけとなると、2 人で仲良くされたら行き場がなくなるとよく聞く。たまたまおとなしいってこともあります。たくさんの中ではおとなしい子、明るい子、自分に合った子を見つけやすくなるのでは！！確かに地域で、学校がなくなるのは寂しいと思います。学校がなくなると若い人がいなくなるとか聞きますが、その地区が好きであれば学校あるなし関係なく、その地区に住むのではないのでしょうか。統廃合、賛成・反対、皆が賛成ということはないのですから、統合によっての話し合いを進め、なるべく良い方向になるよう意見も取り入れていたら良いと思う。ちなみに日高川町は、統合に向けて動いているのでしょうか。とても難しい問題だと思いますが、地域全体が良くなるように。早蘇で住んでいると、早蘇中学校から年に一度 2000 とか集金されると聞きます。もちろん、うちは特に問題なく支払っています。

地域みんな支払っているみたいに聞きましたが、なんでと言う人もちらほらあるのかなって。早蘇中学校だけなのかよく分かりませんが。（女性 40 代）

- ・奥に長い日高川町の少子化に伴う、小中学校の統廃合には難しい面があります。小学校で一緒だった子どもたちが中学校で別々になったりするのは、かわいそうに思います。どこの町でもそうですが、少子化によって地域の学校がなくなって、子どもたちの声や姿が見かけられなくなるのは寂しい限りですが、小人数での学校の勉強や運営も大変だと思います。通学にもよりコストがかかるとは思います、これからの子どもたちのことを考えて、少しずつより良い教育環境を進めていってほしいです。（女性 50 代）
- ・川辺西小学校在中の孫がおります。高学年になると教室が狭いようで、授業参観等に親が見に行くと、大人が教室に入るスペースがないようです。それぐらい密集しているので、少人数クラスで2クラスなどにしたほうがいいような気がします。（女性 60 代）
- ・統合すると子どもの人数が多くなり活気が出てくるとは思います。クラブ活動もいろんなクラブができ、良いと思います。友達もたくさんできるので良いと思いますが、現在、不登校の子どもたちが多くなっています。その子たちが気軽に行けるような場所が日高川町にあればと思います。それと小学校の友達と同じ中学校に行けるようにしてほしいと思います。（女性 60 代）
- ・亡くなった義父の話によると、今 63 歳の長男が小学校 6 年生の頃、川辺西小に統廃合されました。当然、大成中に進学すると思ったそうですが「校区が違う」という理由で早蘇中に進学、説明は十分されていたのですが、保護者側にはうまく伝わっていませんでした。町村合併で日高川町は広くなり、各地区の皆様の考え方は異なるので困難で長期にわたると思いますが、子どもたちの未来のために統廃合の話を進めていただきたいと思います。（女性 60 代）
- ・子どもたちが少なくなることを恐れるよりは、地域の大人の方々が、大いに智慧を出し合って、子どもと大人のコミュニケーションの場をつくって、魅力ある日高川町になっていってください。環境や育てていくことは、大切なことです。私どもの所では、県内県外からも子どもが来て学んでいます。将来有望な大人になっていくよう運強い大人に育ててくださるよう指導しています。（女性 70 歳以上）
- ・質の良い学習の向上と思いやりのある生徒に育てていただきたいと思います。（女性 70 歳以上）

和佐小学校区

- ・統合を進めるのであれば、地域はもちろんですが、それより保護者や親世代の声を大切にしてほしいと思います。小中一貫なのか義務教育学校なのか分かりませんが、小中 9 年間の学校が良いと思います。（男性 40 代）
- ・適正化とは、何かを慎重に考える時期は来ており、また町民の要望もある程度（メリット等は何か）汲み上げることも考える必要があると思います。まずは、児童・生徒第一で考えていただけたらと思います。（男性 50 代）
- ・統廃合を考えるよりも、若い人たちが住んでくれるまちづくりを考えてほしい。日高町のように・・・増やすこともできると思う。（男性 50 代）

- ・旧町村単位の枠を捨てること・・・町が元に戻ることはない。統廃合を進めるということに決定したら、目標年次を早めに決め実現すること。いろいろな考えを持つ人、それぞれの意見に耳を傾けながらも、全ての人の理解を得ることは困難であり、強いリーダーシップが求められる。（男性 60 代）
- ・学校の規模が小さくても大きくてもそれぞれメリット、デメリットがあるかと思います。統廃合を考える上で次の点に考慮することが必要かと思います。各学年に 1 クラス以上維持できる。（1 クラスに 10 名以上）通学に負担が少なく安全である。（スクールバスが運行できるなど）（男性 60 代）
- ・十分に協議して子どもたちが大きく育つ環境をつくっていただきたい。（男性 60 代）
- ・我が家の近所の子どもたちは 30 分以上かけて、歩いて登下校されています。子どもは小さいときからのしっかりとした身体づくりが大切だと思います。朝早く起きないといけません、皆さんの協力でしっかり子どもたちを応援して、現状をキープしていただけたら、私たちも励みになります。心身共に健康な人間づくりをよろしくお願いします。（男性 60 代）
- ・イジメが発生しないことが重要。将来に影響するため。（男性 70 歳以上）
- ・県内市町村の中で本町が一番遅れている。（男性 70 歳以上）
- ・将来的に統廃合を検討すべきではあるが、第一に子どもの通学のことを考えるべきである。スクールバスを利用しても 30～45 分位で行けるよう、考えるべきである。1 時間以上通学にかかるようであれば、とても勉強どころではないと思う。（男性 70 歳以上）
- ・35 年前、私が小学生だった頃も和佐小は 20 人未満の学級でした。今の少人数や複式学級の児童を見ても、伸び伸びと授業を受けている印象で雰囲気がいいと思いました。ですので、個人的には小学校はそれほど大人数を目指さなくても良いように思います。中学校は、部活や趣味など個性も出てくるので、人間関係など選択肢は多いほうが良いと考えます。学習面で適正な人数は分かりませんが、子どもたちが楽しく学びの多い学校生活を送れるように皆さんが、検討された結果に賛成します。（女性 40 代）
- ・今は昔と違って、子どもたちがとても繊細になっているように感じます。家庭では親が見てるでしょうが、学校ではやはり先生方に頼らざるを得ません。お忙しいことは分かりますが、少しの変化に気付いて声をかけていただければとても嬉しいです。子どもは笑顔で過ごしてほしいです。表情のない子どもに気を配っていただければとても嬉しいです。学校規模問題も大事ですが、楽しい学校生活をしたいと思います。（女性 50 代）
- ・少人数の学校の良さはたくさんあると思います。地域の人たちに可愛がってもらい、やさしい大人になれると私は思っています。勉強も少人数のほうが、先生の目が届き良いと思います。ただ中学校まで少人数だと高校、大学と人数が多くなったときのコミュニケーションの取り方だったり苦労も多いように思いました。あとスポーツや文化祭なども人数が少ないとかわいそうでした。一長一短だと思います。子育て世代の人にアンケートをしたほうが良いと思います。（女性 50 代）
- ・私は小学校の頃、京都から川辺町に引っ越し、町内の小学校に転校しました。その頃も都会の小学校に比べ、生徒数もかなり少なくびっくりしたことを覚えています。今はかなり減少していますね。子どもがいないので、教育については全く興味がありませんが、危機感を持ちます。子どもの事故、事件が多いですが、皆が安全で学校へ行くのが楽しいと思うような環境にしてあげてください。少子高齢化で大変深刻です。

日高川町で子育て、日高川町町内の学校に通学したいと思うような学校づくり（画期的なこと）したらどうですか？そのためなら税金をたくさん支払います。コロナもあり、財政難だと思います。統合も仕方ないと思います。日本の将来の宝である子どもたちのため、より良くしてあげてください。（女性 50 代）

- ・過去にとらわれることなく、一人一人の個性を伸ばせる生徒主役で改革に取り組んでください。日本人としての誇りを成就できる教育、そんな場であってほしいです。（女性 60 代）
- ・小学校については、地域で学ぶ良さを日頃から感じています。少人数ならではの良さ、課題についても、もっと研究していく必要があります。（女性 60 代）
- ・適正化で今までより良い環境になればいいと思います。生徒が負担にならないよう願っています。（女性 60 代）

江川小学校区

- ・私自身、成人した人間に「理想の 1 学級の人数」を尋ねても何も解決や改善につながらないと思う。また、子どもを持っていない身として、少し想像し難い質問もあったので、子持ちの人の中で無作為にアンケートをすれば良いと思った。（男性 20 代）
- ・学生には学力に合った教育が必要です。受験生にはクラス別の補習授業ができるような教育サポートをしてあげてほしいです。塾が必要なくなるよう勉強させてあげてください。小規模な学校では世間（社会）が学べません。子どもの精神的成長に影響を生じます。（男性 50 代）
- ・少人数の良さもあると思うが、行事ができなくなる等は、避けるべきと思う。（男性 60 代）
- ・大成中学校は御坊市と合併ですか。今回のアンケートに入っていないんですがどうなっていますか。（男性 60 代）
- ・地域から小中学校がなくなることは、地域住民にとっては寂しい限りであるが、子どもたちのことを考えると、学校統合もやむを得ないと思う。川辺西小学校があるのだから、山野小、江川小、和佐小、三百瀬小を統合して、和佐の若者広場に小中学校を設置すべきだと思う。現在ある学校の活用を考えることは、反対派を利することになると考える。是非、検討されたい。（男性 70 歳以上）
- ・問 11 について、理想は印のとおりだが、統合した場合、通学時間が長くなる学生がでてくるだろうから、スクールバスが必要だと思う。小学校の複式はかわいそう。早急に考えてほしい。（女性 50 代）
- ・様々な考え方がありますが、子どもは一定の人数の中で育つほうが良いと思うことと、地域住民がコミュニケーションを取れることも住みやすいことにつながると 생각합니다。統廃合するのであれば、みんなに少しでもメリットがあることと、子どもたちにとって何が良いかとデメリットも改善案をつけるなどして、オープンに考える条件を正直に伝えることが大切かと思っています。町民が減っていかないように、住みやすい町になるように魅力ある提案があると嬉しいです。（女性 50 代）
- ・時代とともに統合すべきかもしれませんが、私どもも小学校時代よりは人数が少ないでしょうが、このままの環境で過ごしてほしいと希望します。（女性 50 代）

- ・教師の若年化により、学力の差ができてるのが現状で、中学入学時に足並みが揃っていません。江川小学校においては、3年続けて新卒者が入り、6年生の担任であることに不安があります。職員の配置を考えてほしいと思います。（女性60代）
- ・小学校、中学校を共に、早く統合するべきだと思います。（女性60代）
- ・全てにおいて、理想と現実は違うので答えは難しいと思いますが、過疎化を防ぐことも踏まえて、スクールバスをうまく利用できる通学方法も良いのではないのでしょうか？もちろん、子どもたちが楽しく過ごせる学校生活が望ましいことです。御坊市内においても「子ども」の姿は昔を思うと全く寂しいもので、「声」を聞かない日常だと思います。私も含めて、気がつくとも老人ばかりです。日高川町が、良いお手本になるような形になれば嬉しいです。（女性60代）
- ・丹生地区では江川小学校の児童数が今後、特に減少していきます。経験の少ない若い先生方が多い中、複式での授業で学力をしっかり身につけて、中学校へ進学していただけるのかという不安があります。統廃合を進めていく場合、学校間で学力差が大きくなるようでは困るので、各校独自の取組はもちろん大切ですが、教師同士の交流を深め、共通の取組も大切にしていってほしいです。中学校でのスタート地点から差が出ることはないようにしてほしいです。（女性60代）
- ・子どもたちの健やかな心身の成長、発達が促される教育環境を考えると、ある一定の児童・生徒数が必要だし、大切な要素だと思います。その意味で学校の統合は、一番早い解決の方策であることは理解できます。一方、学校がなくなるということは、地域住民にとって非常に辛い気持ちがあります。子どもたちの学びがより良く進むことを願うのは、保護者も住民も同じ思いです。しかし、子どもたちの通学する姿は、地域住民に元気と安心を与えてくれるものです。学校がなくなるということは、少子化、過疎化に一層拍車がかかるのではと心配しています。（女性70歳以上）

山野小学校区

- ・現状の子どもの数から考えて統合する必要性はあると感じます。ただ、通学面の整備や緊急時の下校手段の安全性の確保、地域格差をできるだけ減らすなどの対応が十分に考えられなければ、地域から不平不満が出てしまうと思います。また、統合した場合、児童・生徒の数が増える子どもたちの交流は活発になるメリットはあるが、児童・生徒1人あたりにつく教師の数が減ることを懸念される方もいるかもしれないので、十分な教師の数が配置されると地域の人々は安心するかもしれないと思いました。（男性30代）
- ・丹生地区の出身者として、丹生地区の小学校は一つにまとめるほうが良いと思います。スクールバス等の問題はありますが。（男性30代）
- ・現在も河川の土木工事が行われているが、これを持続していったほうが良いと思われる。たまに道路の陥没箇所が見られるので、早期対応していただきたい。（男性50代）
- ・僕ははっきり言って、学校規模の適正化など子どもたちにとって何の意味もない大人的な考えだと思っている。大事なのは、教育の場が子どもたちにとって意味のある魅力的な場所であることだと思う。（男性50代）

- ・①地域住民との交流、歴史の継承が必要だと思う。②統合すれば生徒数は増加するが、地域の活気等が減少。③山間地ならではの行事、伝統がある。なくしたくない。④保育所統合により、近所の子どもたちの声が聞こえなくなったように思う。ますます活気がなくなっている。⑤地域密着型を含めて、今後検討願いたい。⑥生徒数減少だけで、統合はやめてほしい。（男性 60 代）
- ・私たち大人には、地域の学校で育った「故郷」を持っています。子どもたちは今、学校を統合することで、それぞれの地域から慣れるため、地域に密着した「故郷」を失うのではないかと心配します。「故郷」は人の心の根源として、その後の生きる節目で作用するものと思われ、この喪失を心配します。子どもたちは、それなりに成長しますが、私たちと異なった成長となるかもしれません。統合される場合、どのような子どもを育てるのか等、示していただけたらと願います。（男性 60 代）
- ・子どもたちにとって、より良い学習の場となるようにしていただきたいです。また、教員数減になってしまうことのないよう、子どもたちも働く教職員にとってもより良い場となってほしいです。（女性 30 代）
- ・学校の統合は、いたしかたないかなとも思いますが、統合後の子どもの心理的側面にしっかり寄り添ってあげることが大切だと思います。廃校後の建物の再利用もできれば、地域がさびれた感じがしなくていいのではと思います。（女性 60 代）

三百瀬小学校区

- ・小中学校の子どもたちの少なさはかなり深刻であると思った。やはり、統廃合しかないのかなと思う。（男性 50 代）
- ・学校の統合は避けて通れないところと考えられます。今後、取組を検討されていく上で、今からでも学校間の授業時間の交流等を推進し、前向きに良いところ、悪いところを詳しく調査していただきたい。ご苦労様です。（男性 70 歳以上）
- ・小学校、中学校の 8 年間の児童・生徒数の推移を見ると、小学校においては、現在でも 10 人前後の学校があり、令和 9 年度では、現在の半数近くに減少する小学校があります。こうした小学校は、統廃合を含めて今後検討する必要性を感じます。中学校については、令和 9 年度で小学校のように減少はしないものの、現状で 20 人を切っている学校は、今後統廃合を含めて検討する必要性を感じます。ただ、学校は地域のコミュニティ、子どもたちを通じた地域住民のつながりの大切な場であるという大きな役割も合わせて考えることが大切だと思います。（男性 70 歳以上）
- ・私自身、県内最大級の中学校に通っていたこともあり、町内の小規模な学校の様子をうらやましく感じることもあります。高校、大学、社会に出れば、多くの人に出会う機会もあるので、小中学校の間は小規模の良さを生かした教育を受けられるのも良いのではと思います。が、部活動や学校行事は人数が必要なことも多く、少人数では物足りない、不十分ということもあるのでしょうか。どちらが良いのか「適正化」とは何か、難しいですね。（女性 40 代）
- ・人数の少ない学校では、保護者も心配していることと思います。なので迅速な対応が必要であると思います。このアンケートを行って、その後何も変わらないままでいないことを願います。（女性 50 代）

- ・「井の中のかわず」にならないように、外に目を向け自分の進みたい道を見つけ、たくさんの方と話し、いろいろな考えがあることを、子どものときから気付いてほしいです。一日一日を大切に生きていく大人になってほしいです。（女性 70 歳以上）
- ・地域に学校がなくなるのは活気がなくなり寂れる一方であると思うが、子どものことを考えると合併せざるを得ない。小学校は旧村に 1 校、中学校は中津、美山、早蘇の一つではどうでしょうか。少子高齢化の進む中ではあるが、町として働く場所の確保を何とかできないものでしょうか。若者の流失に歯止めを。帰りたくても働くところがないから帰れない。悪循環に思います。（女性 70 歳以上）

中津小学校区

- ・旧中津村エリアは統合しており、今回の検討にあたり、町内全域を対象とすることで、全体最適を実現できるものとされたい。（男性 20 代）
- ・アンケートが一定の答えを求めている内容に感じるので、参考にならない気がします。（男性 40 代）
- ・現在子どもはおりません。よく分かりません。（男性 40 代）
- ・有田市は中学校統廃合されるようで、すごい学校が建てられるみたいです。視察されてはどうでしょうか。（男性 60 代）
- ・子どもは多くの人の中で育てこそ、個々に大きくなれると思います。是非はともかく、町長のビジョンに沿って、町民として子どもを育てられる場、将来、県外（都会）に出ても故郷として、懐かしく自慢できる町であってほしいと思います。（男性 60 代）
- ・児童・生徒数の減少にこだわらず、子どもたちの学習環境として、何がベター、ベストなのかを考えて進めるべき。日本の学校教育の中での検討が全てではなく、広く世界に目を向け、将来を見据えた上で検討すべき。（男性 60 代）
- ・日本全体が少子高齢となっている時代でもありますが、日高川町の人口が増えるような体制をつくっていただきたい。若い人たちが増えれば活性化し、少しずつでも人口は増えていくと思います。（男性 60 代）
- ・人数のみで統廃合を急ぐのではなく、特に児童・生徒の特性を（例えば、特に支援を要する児童・生徒等）踏まえ、ご父兄の意見を充分尊重しつつ、今後の少子化対応のために、小中一貫教育を考えてはどうか。基本的には、旧町村単位で、まず小学校と中学校の統廃合を進めて、その後、小中一貫教育を進めてはどうかと思う。（男性 60 代）
- ・小学校は、日高川町 2 校。（川辺地区 1 校、中津、美山地区 1 校）中学校は、町内 1 校。今後の児童・生徒数の推移から見て、上記が望ましいと思う。（男性 70 歳以上）
- ・統廃合は速やかに実施すべき。（男性 70 歳以上）
- ・美山地区の小学校生徒数の減少が気になります。子どもたちの意見が一番大切ですが、統合が検討されることを願います。（女性 20 代）
- ・子どもたちの学びにとって何が最適なのかを第一に考えてほしい。“地域に学校がなくなるとさみしい”という年配の方の意見が通ったという話を聞いたことがあるが、一番大切なのは、これからを担う子どもたちにとってどうなのかだと思うので。（女性 30 代）
- ・学年で一人などがある場合、早く統合を考えたほうが良いと思います。（女性 40 代）

- ・子どもは将来の日高川町のためにも大切です。そのためにも、教育環境が重要だと思います。頑張ってください。お疲れ様です。（女性 50 代）
- ・中津地区で小中学校の統合を経験しました。地域的には反対の声も多かったですが、子どもたちにとっては良い方向に進められたと思います。今後の子どもたちのためにも、早期に進めていただきたいと思います。（女性 50 代）
- ・私には在学中の子どもはおりませんが、まずは子どもがいる家族がこの日高川町に移住してくれることも考えて、何か魅力ある町になってほしいです。話はずれてしまうかもしれませんが、この町に住み続けたい、結婚したらこの町に来たいと思えるような場所であるならば、子どもも増えて少しでも統合する学校数を減らせる。「日高川町って何も得がないね」と他の町と比べられている気がします。大変難しいことですが、町に頑張ってください。（女性 50 代）
- ・生徒を増やす取組（案）。県外からの生徒を受け入れるべく、ユニークな取組を検討する。取り入れることで、生徒の向上心や自主性が養われる。（女性 60 代）
- ・旧町村の枠を取っ払って、通学に負担のかからない新しい学校区を考える。統合するとしても、本町は広く、通学距離の問題もあり、どの学校も同じ規模というのは無理なので、児童数、地域性に応じた特徴のある校風をつくる。今後の日高川町を担う子どもたちのために、学力も大切だが「日高川町が大好き」という気持ちを持てるような学校づくりをしてほしい。支離滅裂ですみません。（女性 60 代）
- ・子どもが、どんどん少なくなってきました。働く場所もそうですが、子どもが急に熱が出たりしても、家に誰もいないとバイトにしても何日も休めません。そういう場所がほしいと思います。学童保育は多少ありますが。（女性 60 代）
- ・子どもたちが一人でも多くの友達との関わりを持って、強く、たくましく、豊かに成長できますよう願っています。（女性 60 代）
- ・生徒数の推移を見ますと統廃合を考えてほしいと思います。1 学級 30 人ぐらいが良いと思います。統廃合には地域住民保護者等の意見を聞いて、進めていくと思いますので、時間がかかりますが少しでも早く進めてください。9 年間を見据えた小中一貫教育方針でお願いしたいです。（女性 60 代）
- ・それぞれの地域の方々からは、廃校になると寂しい等、感情的な意見があり、また合併するときの通学方法、校舎の改造などかかる費用の問題もあるため、実現には難しいとなるのですが、生徒数の推移を見ますと待ったなしの状況だと思います。旧町村の枠を取り払って近距離の学校同士で合併するのも一案だと考えます。子どもの数が極端に少ない地域は合併するのは難しいように思いますが、それでも保護者の方々の意見を取り入れつつ、子どもたちの学ぶ環境を少しでも早く改善していただけますよう、子どもたちに勉学の機会均等が実現されることを願っています。（女性 60 代）
- ・問いにも答えましたが、旧町村での統合が良いと思います。（女性 60 代）
- ・どうすれば子どもを増やしていくことができるか、考えるべきでは？親が安心して子育てができ、学力など他校とは違った方法を。できれば両親が日高川町で働き、住みたいと思えるような……。私も子どもたちに帰って来てほしいと思うが、仕事がなく魅力がない地元には、住むことができないようです。帰りたいたいと思えるようにしてほしいです。私も日高川町には住みたくないですね。（女性 60 代）

- ・統合しかありえませんが同時に、廃校となった後の活用は、町としてもっと積極的に取り組んでほしいです。（女性 60 代）
- ・美山地区は、美山小、美山中でいいと思います。（女性 60 代）
- ・今後更に生徒数の減少を迎えると思いますので、十分な学校規模の適正化の検討を願います。（女性 70 歳以上）
- ・土日になると生徒さんの声が聞こえないし、寂しいです。車の音もなく人も出歩かない。家にいる人がいないので、少人数の生徒さんでもいてほしいです。（女性 70 歳以上）
- ・このアンケートは少し答えにくかった。統廃合を前提としている感じがした。子どもが減少すれば統廃合するのが良いのかもしれないが、廃校となった地域はものすごく廃れるし、子どもがいる家庭は学校に近いところに引っ越す、または移住（町外へ）するので、ますます地域の過疎化が進み、老人ばかりの地域、町になってしまう。学校があることによる他のメリットを提示し、人を家族を町に招くようにする考えはないのでしょうか？（女性、年齢不明）

川原河小学校区

- ・10 年程前から話が出ているので、子どものためにも早く話が進み、まとまれば良いと思います。（男性 20 代）
- ・小学校も中学校も美山地区と中津地区を一緒にしないといけないレベルになっていると思います。自分が小学校のときにも、美山地区の小学校の統合の話は出たけど、寒川地区の人が反対していると聞きました。地区のことより子どものことを考えてほしいと思います。複式も悪くはなかったけど、もう少し人数があっても良かったと思いました。高津尾ぐらいならバスで余裕で通えると思います。（男性 20 代）
- ・中学校の統廃合については、限界を感じます。現在の 4 校から統廃合を進めるならば、美山、中津地区を見捨て、子どものいる家庭は、住むなら川辺地区と割り切った形で、考えていく必要が将来的にはあるのかと思いました。ですがそうなる前に若者が、子連れであろうと、単身であろうと住みやすい、移住しやすい町にする必要がまずあるのかなと思います。（男性 30 代）
- ・親のエゴを考えず、これからの子どものこと、都会に出て苦勞することがないよう、教育をしていただきたいと思います。（男性 50 代）
- ・VRを活用した合同授業等、バーチャルなクラス化での学校運営を考えられませんか。もちろんリアルな合同授業を織り交ぜることも必要だと思いますが、そうすればギリギリまで、統合化をセーブできると思います。（男性 60 代）
- ・統合は必要。しかし、通学に 1 時間もかかることは子どもには負担ではないか？（男性 60 代）
- ・日高川町は 3 地区が合併した町、川辺地区から美山（寒川）地区までは距離 40 km、時間 50 分と移動に時間を要する。基本、小学校は旧町村単位、川辺 2 校、中津 1 校、美山 1 校、中学校はできれば旧町村単位に 1 校（川辺は 2 校）美山 1 校、中津 1 校、最悪美山と中津で 1 校とできないか。御坊市日高川町学校組合立大成中学校は日高川町ではない？（男性 60 代）

- ・町全体を視野に入れた統廃合を望むが、何よりも子どもを中心としたものとしてほしい。特に通学時間や通学距離等どこの地域に住んでいても、できるだけ平等になるよう学校の設置場所を考えてほしい。地域エゴとならないよう子どもを中心とした統廃合をお願いします。（男性 60 代）
- ・①通学時間を考えて統合する。なお、通学にはスクールバスを運用する。（事故防止のため）美山、中津地区で小学校、中学校 1 校ずつ。川辺地区で小学校、中学校 1 校ずつ。要望としては、小中一貫校にして、1 年生から 9 年生まで一緒に勉強する。②近代的な学校＋多目的で伸び伸びと学べるような構造にする。③統合後の旧校舎は地域住民のために再利用する。（男性 70 歳以上）
- ・学校統合やむなしと考えますが、まず保護者の意見を第一に尊重していただきたいです。そして今現在思うのは、各旧村単位で一校を残すように望みます。（男性 70 歳以上）
- ・人数は多ければ多いほど良いと思う。（女性 50 代）
- ・今まで学校を支えてきた地域の住民の意見を聞くことも大切であるが、学校教育の主人公は、あくまでも学校で学ぶ児童・生徒である。学習するために、より適した環境（施設、設備だけでなく、児童・生徒・教職員の数、通学距離、方法）を整備したり、配慮したりすることが重要であると考えます。アンケートの選択肢については、災害時の避難所は安全な土地に安全な建物があり、それなりの設備（トイレなど）があればいいのであり、学校である必要はない。避難が長引く場合は、学校でないほうがいい。地域住民のコミュニティの場としては、私が子どもの頃は学校を活用していたが、今は町の公民館や集会所がある。地域のよりどころ、シンボルではあるので、学校の統廃合により子どもの姿、声を見聞きする機会が減るのは寂しい限りである。これが本音であるか？やむを得ない。学校が遠くになると、住民がますます減っていくのではないかと。小学校の間は、できるだけ学校の近くに住みたいのではないかと。情と理で、私一人でも悩む大きな問題である。教育行政を担う方々は、何倍ものご心労だと推察します。大慌てで記入した次の朝（11/21）の朝日新聞和歌山版に加太小学校・中学校の記事が掲載されていた。参考にはなるが、町も地域も、多忙が問題になっている教職員も、どこまで覚悟ができるかということが課題であろう。乱雑な文・字を判読していただき、ありがとうございました。（女性 60 代）
- ・子どもの数が減少していく中で、学校数を確保していくのは無理があると思いますが、統合するとなると、通学手段や通学にかかる時間にどのように配慮できるかが大変だろうと思われまます。ある程度の児童数、生徒数は必要だと思いますが、少人数でもできる学校運営を考えていかなければいけないと思います。子どもが少ないからという理由で町部に家を建てる人も多くいることも事実です。（女性 60 代）
- ・私の小中学校のときは、まあまあ人数も多く、運動会、クラブ活動もいろいろあった。楽しかったです。でも自分の子どものときは、人数も少なくクラブ活動など何もできず、かわいそうでした。だから一日も早く統合するほうがいいと思います。（女性 60 代）

笠松小学校区

- ・同級生の友人関係は、多くの人のバリエーションがあったほうが得るものが多いと感じます。少人数では見つけられなかった、本当に気の合う友達に会える可能性に期待できます。反面、大人数になることによる人間関係のトラブルも考えられます。児童、生徒さんの心に寄り添ったケアを教育委員会様に要望します。また統合することにより学力の低下はみられないか、数値のチェックを行い、都度対応いただきたく思います。良い学校づくりを期待します。（男性 30 代）
- ・統廃合を進めるとしたら段階的にせずに、日高川町に小中学校共に 1 校ずつにすればよい。（男性 50 代）
- ・住民流出を止めるには学校存続が望ましい。魅力ある地域づくり、地域活性と平行して考えていく必要があると思う。（男性 60 代）
- ・美山地区、3 小学校の統廃合は急務だと思う。小中一貫校も検討しつつ早急に推進していただきたい。（男性 60 代）
- ・子どものために一番に考えて、早急に進めてほしい。（女性 50 代）
- ・小中一貫校にして、特色ある学校をつくれればと思う。新しい試みを。（女性 50 代）
- ・ここ何年かで児童数がうんと少なくなって来ています。難しいと思いますが、美山地区 3 校の統合を希望します。（女性 70 歳以上）

寒川第一小学校区

- ・川辺地区の人は、所詮他人ごとにししか思っていないのだろうと思う。統廃合を実施するにあたっては、何でもかんでも下を中心に考えるのではなく、竜神のように真ん中に建設するなどの配慮が必要である。スクールバス等での通学となった場合、乗り物酔いをする子どもに配慮すべきである。中学校の統廃合を進めるのであれば、大成中の廃校を行うべきである。人数が少ないから統廃はおかしい。今頃遅い！（男性 50 代）
- ・少人数になってしまう現状は資料を見て、理解できました。田舎の子どもは、高校になると地元を離れ、他の地域での生活を余儀なくされる子どももいます。幼い頃から、朝早く登校する子どもたちがそうになっていく子どもだと思います。せめて少ない人数になっても複式だったりを活用し、地元生まれ育った私たちのように、地元の学校にせめて残れるようにはできないものかと思ったりもします。子どもの負担（送迎等）、送り出す親の負担も少し考えてあげてほしいと思います。町と田舎の子どもが平等にならないものかな・・・と思ったりもします。（男性 50 代）
- ・小学校は規模の大小にかかわらず各地域に存在することが適正と考えます。（男性 60 代）
- ・少子高齢化が進む中、特に奥地区は児童・生徒数が激減しています。統合は避けては通れないと思います。統合後、環境の変化により、子どもたちは良いことばかりではなく、ストレス等もたまり、はけ口にいじめ等もあります。先生方はそういうところを特に注意していただきたいと思います。（男性 60 代）
- ・学校の統合により、子どもたちが生徒数が少ないことにより経験できなかったこと、また部活動など選択肢が増えることは良いことだと思います。息子が在籍していた頃についても感じていましたので、書かせていただきました。（女性 40 代）

- ・今後、人口減少を見据え、町全体でコンパクトシティ計画を検討すべきと考えます。その一貫として、学校規模の適正化を持ち込む必要があると考えます。（女性 70 歳以上）

学校区不明

- ・子どもの多い地区の学校へ統合する従来の発想は捨て、日高川町の端から均等に近い場所へ小中の設備の整った校舎を新設し、子どもたちが切磋琢磨でき、より大きな集団が保障できる学校の創設が望ましいと思う。教員も、いろいろな教科、専門を持った多人数が望まれる。（男性 60 代）
- ・将来、合併は避けられないと思う。外国のようにオンライン授業も入り、登校する日も少なくなったりする時代が来るかも。（男性 70 歳以上）
- ・スクールバスで 40 分以内で通学できる位の小中学校の統合を検討してはどうですか。（男性 70 歳以上）
- ・町長、教育長へのお願い。小中学校適正配置決定をする前に、町民に町の細部基本方針を報告願いたい。（男性 70 歳以上）
- ・日高川町に住んでいる期間が短く、現状を分かっておらず、具体的な意見を書けませんでした。今年出産しましたが、支援などありがたかったです。（女性 40 代）

児童・生徒のより良い教育環境づくりのための 町民アンケート

～ご協力をお願い～

町民の皆様には、日頃から町教育行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本町では、児童・生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進んでいます。将来に向けて、子どものより良い教育環境を維持していくためには、学校規模の適正化を考えていく必要があります。

これからの学校規模の適正化を考えていくに当たっては、保護者のみでなく、地域にお住まいの方々のご意見をお伺いすることも重要であり、この度、本町が、今後取り組むべき施策を検討する上での基礎的な資料とさせていただくことを目的として、標記のアンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、20歳以上の町民の皆様の中から無作為に抽出した方に、小・中学校の規模や地域との関わりなどに関するご意見等をお伺いするものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

日高川町立小・中学校の適正配置に関する検討委員会

ご記入に当たってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
 - 2 回答は、当てはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある(○印1つ)(○印いくつでも)などに注意して記入してください。
- ※ 回答は無記名であり、統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することはありません。

調査に関する問い合わせ先

日高川町 教育委員会

〒649-1323 和歌山県日高郡日高川町小熊 2416 番地

電話 (0738) 22-8816 FAX (0738) 24-0154

メール kyouiku@town.hidakagawa.lg.jp

この調査票は、**11月30日(火曜日)**までに、同封の返信用封筒に入れて、返送してください(切手は不要です)。

問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。（○印1つ）

※（ ）内は通学区の小学校です。

- 1 鐘巻、土生、小熊、入野、若野、千津川、中津川（川辺西小学校）
- 2 玄子、早藤、蛇尾（川辺西小学校）
- 3 和佐、松瀬（和佐小学校）
- 4 江川（江川小学校）
- 5 山野（山野小学校）
- 6 平川、三百瀬、伊藤川、藤野川（三百瀬小学校）
- 7 船津、西原、高津尾、高津尾川、姉子、三十木、原日浦、三十井川、佐井、坂野川、大又、老星、三佐、田尻、小釜本、下田原、上田原（中津小学校）
- 8 川原河、皆瀬、熊野川下村、上の段、上越方、浅間、上初湯川、弥谷、愛川（川原河小学校）
- 9 滝頭、初湯川、上初湯川(妹尾)、串本、熊野川友測、竿本（笠松小学校）
- 10 寒川、串本、船原（寒川第一小学校）

問2 あなたは、現在お住まいの地区の小学校に在籍しましたか。（○印1つ）

- 1 在籍した
- 2 在籍したことはない

問3 あなたの性別※をお答えください。（○印1つ）

- 1 男性
- 2 女性

※ 性別を選択することに違和感がある方は、回答いただかなくても構いません。

問4 あなたの年齢をお答えください。（○印1つ）

- 1 20～29 歳
- 2 30～39 歳
- 3 40～49 歳
- 4 50～59 歳
- 5 60～69 歳
- 6 70 歳以上

問5 あなたの出身地はどちらですか。（○印1つ）

- 1 日高川町
- 2 日高川町以外の和歌山県内
- 3 県外

問6 あなたの世帯構成をお答えください。（○印1つ）

- 1 独り暮らし世帯
- 2 夫婦のみの世帯
- 3 親と子の二世帯世帯
- 4 親と子と孫の三世帯世帯
- 5 その他（ ）

問7 現在、あなたの同居家族の中に、次の方はいますか。（○印いくつでも）

1 小学校入学前の子ども	4 高校生の子ども
2 小学生の子ども	5 専門学校生・大学生以上の子ども
3 中学生の子ども	6 あてはまる子どもはいない

問8 あなたは、本町の小・中学校の教育や児童・生徒が育つ環境のことに興味がありますか。（○印1つ）

1 とても関心がある	3 どちらかといえば関心はない
2 どちらかといえば関心がある	4 関心はない

問9 日高川町の小・中学校における学校数や学校の規模（児童・生徒数や学級数など）について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○印1つずつ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	どちらともいえない わからない
(1) 規模が小さな小学校が多いと感じる	1	2	3	4	5
(2) 規模が小さな中学校が多いと感じる	1	2	3	4	5

問10 あなたが理想と思う1学級当たりの児童・生徒数、1学年当たりの学級数について、小学校、中学校別にお答えください。（○印1つずつ）

	(1) 1学級当たりの児童・生徒数		(2) 1学年当たりの学級数	
小学校 →	1 30～40人	4 9人以下	1 1学級	3 4～5学級
	2 20～29人	5 わからない	2 2～3学級	4 6学級以上
	3 10～19人			
中学校 →	1 30～40人	4 9人以下	1 1学級	3 4～5学級
	2 20～29人	5 わからない	2 2～3学級	4 6学級以上
	3 10～19人			

問 11 あなたが理想と思う、学校までの通学時間と方法について、小学校、中学校別にお答えください。（○印1つずつ）

	(1) 通学時間		(2) 通学方法	
小学校 →	1 15分まで	4 45分まで	1 徒歩のみ	4 自家用車で送迎
	2 20分まで	5 60分まで	2 路線バス	5 その他
	3 30分まで		3 スクールバス	()
中学校 →	1 15分まで	4 45分まで	1 徒歩のみ	5 自家用車で送迎
	2 20分まで	5 60分まで	2 自転車	6 その他
	3 30分まで		3 路線バス	()
			4 スクールバス	

問 12 あなたは、現在の日高川町における学校数や通学区の範囲など、小・中学校の配置は適正であると思いますか。小学校、中学校別にお答えください。（○印1つずつ）

小学校 →	1 大きな問題はなく現状のままでよい
	2 地域や学校によっては見直しが必要である
	3 全町的に大幅な見直しが必要である
	4 どちらともいえない・わからない
中学校 →	1 大きな問題はなく現状のままでよい
	2 地域や学校によっては見直しが必要である
	3 全町的に大幅な見直しが必要である
	4 どちらともいえない・わからない

問 13 あなたは、小学校の統廃合について、どのように思いますか。（○印1つ）

1 学校の統廃合を進めるべきである
2 将来的には統廃合を検討すべきである
3 現状のままでよい → 問 16 へお進みください
4 どちらともいえない・わからない → 問 17 へお進みください

問 14 【問 13 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

統廃合を進める又は検討すべきと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

- 1 集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから
- 2 体育の集団的競技や音楽の合唱・合奏等に支障が生じないから
- 3 運動会や学習発表会等の集団活動が多人数で活発に行えるから
- 4 グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから
- 5 多人数で互いに切磋琢磨することで、向上意欲が喚起されるから
- 6 教師の人数も増えることで、子どもへの多様な支援が行き届くようになるから
- 7 その他（ ）

問 15 【問 13 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

どのように統廃合を進めるべきだと思いますか。（○印1つ）

- 1 町全体を視野に入れた統廃合を考える
- 2 旧町村単位で学校統廃合を考える
- 3 中学校区単位で学校の統廃合を考える
- 4 その他（ ）
- 5 わからない



次は問 17 へお進みください

問 16 【問 13 で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

現状のままでよいと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

- 1 現状で十分な教育効果が得られていると思うから
- 2 子ども一人一人の役割が大きくなり、責任を持った行動を期待できるから
- 3 子ども的人数が増えると、子ども同士の人間関係に不安を感じるから
- 4 子ども的人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから
- 5 通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから
- 6 統廃合が進むと地域に学校がなくなるから
- 7 その他（ ）

問 17 あなたは、中学校の統廃合について、どのように思いますか。（○印1つ）

- 1 学校の統廃合を進めるべきである
- 2 将来的には統廃合を検討すべきである
- 3 現状のままでよい → 問 20 へお進みください
- 4 どちらともいえない・わからない → 問 21 へお進みください

問 18 【問 17 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

統廃合を進める又は検討すべきと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

- 1 集団の中で、人間関係が固定化せず、クラス替えなどにより様々な友だちと触れ合えるから
- 2 体育の集団的競技や音楽の合唱・合奏等に支障が生じないから
- 3 体育大会や文化祭等の集団活動が多人数で活発に行えるから
- 4 グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習が可能になるから
- 5 部活動の種目数を一定数維持できるから
- 6 多人数で互いに切磋琢磨することで、向上意欲が喚起されるから
- 7 教師の人数も増えることで、子どもへの多様な支援が行き届くようになるから
- 8 その他（ ）

問 19 【問 17 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

どのように統廃合を進めるべきだと思いますか。（○印1つ）

- 1 町全体を視野に入れた統廃合を考える
- 2 旧町村単位で学校統廃合を考える
- 3 その他（ ）
- 4 わからない



次は問 21 へお進みください

問 20 【問 17 で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

現状のままでよいと思う理由は何ですか。（○印いくつでも）

- 1 現状で十分な教育効果が得られていると思うから
- 2 子ども一人一人の役割が大きくなり、責任を持った行動を期待できるから
- 3 子ども的人数が増えると、子ども同士の人間関係に不安を感じるから
- 4 子ども的人数が少ないことで、教師のきめ細かな指導が期待できるから
- 5 通学距離や通学時間で、子どもの負担が少ないから
- 6 統廃合が進むと地域に学校がなくなるから
- 7 その他（ ）

問 21 今後、日高川町で学校の統廃合を進めることを想定した場合、どのような点に配慮すべきだと思いますか。（○印3つまで）

- 1 子どもの通学時間や通学距離、通学の安全を確保すること
- 2 子どもの人間関係づくりや心身の負担を軽減すること
- 3 9年間を見据えた小中一貫教育を検討すること
- 4 再編する学校の子ども同士が事前に交流できること
- 5 保育所や学童保育など子育て支援機能を学校に併設できること
- 6 廃校になった場合の有効活用策を検討すること
- 7 避難所としての機能を充実すること
- 8 学校を地域の拠点として、周辺に公共施設や行政サービス機能を整備すること
- 9 保護者や地域住民等との十分な話し合いや協議をすること
- 10 その他（）
- 11 わからない

問 22 あなたは、小・中学校が地域に果たす役割について、どのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

- 1 災害時の避難所としての役割があること
- 2 町内の運動会など地域住民のスポーツ活動等の場としての役割があること
- 3 地域の児童・生徒のスポーツ活動の場としての役割があること
- 4 地域住民のコミュニティの場としての役割があること
- 5 地域のシンボル又は心のよりどころとしての役割があること
- 6 その他（）
- 7 わからない

問 23 あなたは、小・中学校と地域との関わりについて、どのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

- 1 児童・生徒が地域の祭りなどの行事に参加する
- 2 地域の文化や歴史、自然や産業などを生かした特色ある学校づくりを進める
- 3 地域の人材を活用する
- 4 学校教育の現状や考え方について、広く地域住民に情報発信する
- 5 地域住民に対して学習の機会を設ける
- 6 その他（）
- 7 わからない

問 24 日高川町における学校規模の適正化について、ご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

児童・生徒のより良い教育環境づくりのための町民アンケート
報告書

発 行 / 令和4年1月

発 行 者 / 日高川町 教育委員会

〒649-1323 和歌山県日高郡日高川町小熊 2416 番地

電 話 (0738) 22-8816

FAX (0738) 24-0154

E - M a i l / kyouiku@town.hidakagawa.lg.jp
